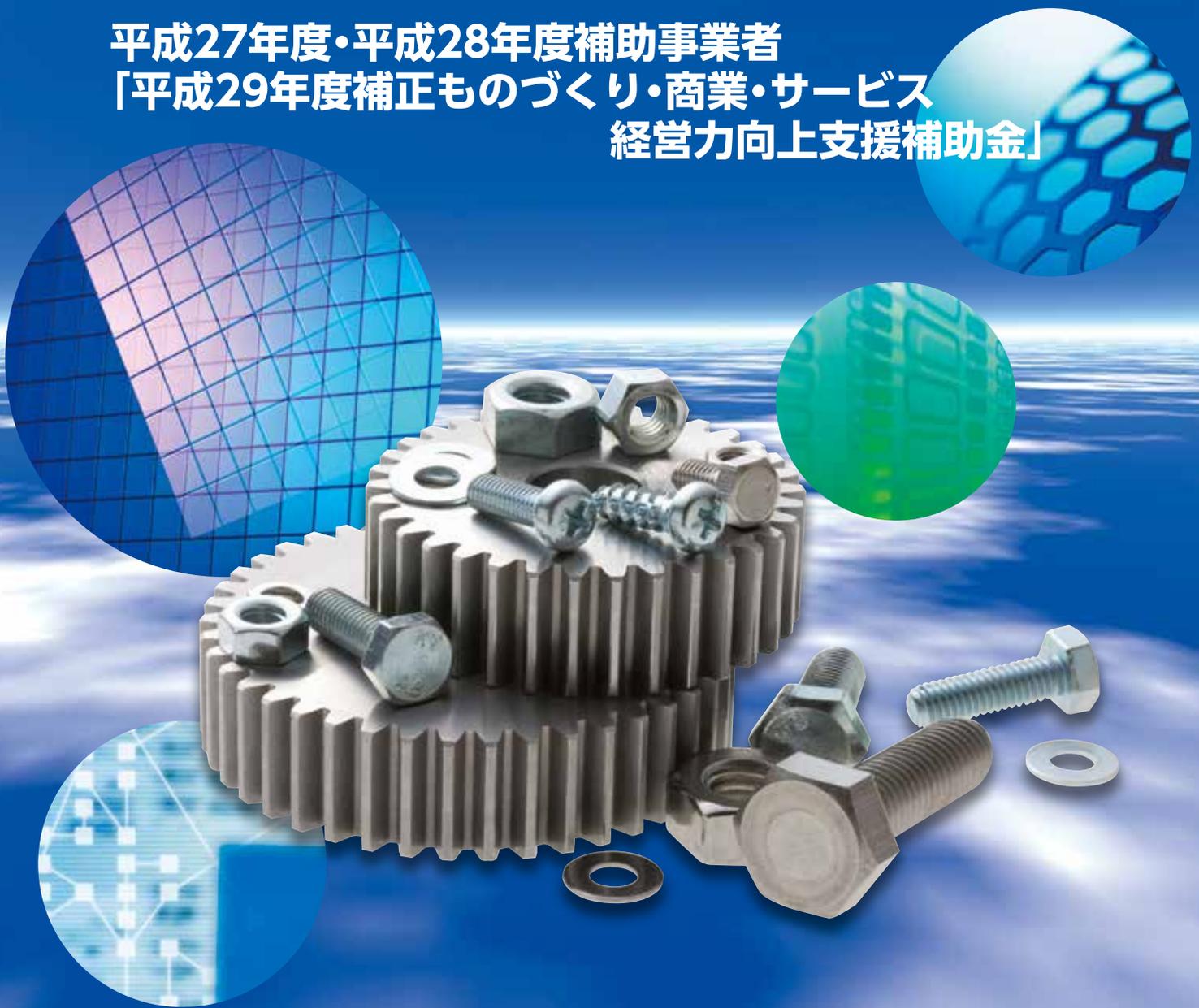


ものづくり補助事業 成果事例集（千葉県）

平成24年度・平成25年度・平成26年度補助事業者
「ものづくり中小企業・小規模事業者
試作開発等支援事業（フォローアップ事業）」

平成27年度・平成28年度補助事業者
「平成29年度補正ものづくり・商業・サービス
経営力向上支援補助金」



はじめに

日本経済の基盤を支える中小企業・小規模事業者は、長引くデフレと国内需要の減少、進展するグローバル化と貿易摩擦の発生、人手不足などの経営環境の大きな変化に直面し、厳しい状況が続いております。

しかしながら、日本経済の再興を実現するためには、全企業数の99%を占める中小企業・小規模事業者の活性化は不可欠です。

これらの背景から、これまで、平成24年度、平成25年度、平成26年度、平成27年度、平成28年度において、いわゆるものづくり補助金の予算化がなされ、中小企業・小規模事業者への設備投資等支援策が実施されました。また、昨年度より、上記ものづくり補助金事業者への事業化状況の向上および販路拡大・販売促進に係る支援を行う「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(フォローアップ事業)」が開始となり、事後支援も行っております。

千葉県地域事務局においては、各年度それぞれの事業者が申請した案件に対し、提出書類の有無や、応募事業者としての基本的要件等の確認を行い、その後の外部審査員による書面審査、地域採択審査委員会、全国採択審査委員会を経て、平成24年度「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」で187社、平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・サービス革新事業」で288社、平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」で287社、平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」では172社、平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」では140社、合わせて1,074件が採択されました。

今般、当該補助事業に取り組んだ事業者の中から、平成24年度「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」2社、平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・サービス革新事業」5社、平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」5社、平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」5社、平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」3社、合わせて20社を抽出し、補助事業実施後の事業展開や成果状況等について、事例集として取りまとめを致しました。

本書の内容が限られた経営資源で事業を展開している中小企業・小規模事業者の今後の参考になれば幸いです。

最後に、本事例集の作成につき、業務ご多用にもかかわらず、原稿執筆を頂きました掲載企業の皆様及び本事業の実施につき多大なご協力をいただいた関係機関各位に深く感謝申し上げます。

平成30年10月

千葉県地域事務局(千葉県中小企業団体中央会)

平成24年度・平成25年度・平成26年度補助事業者 「ものづくり中小企業・小規模事業者 試作開発等支援事業(フォローアップ事業)」

目 次

1. 株式会社シラヤマ	2
2. 株式会社寺田本家	4
3. 株式会社スノウチ	6
4. 有限会社市東製作所	8
5. 有限会社高橋製作所	10
6. アメリカン電気株式会社	12
7. 株式会社馬場本店酒造	14
8. 株式会社永光自動車工業	16
9. 稲荷鐵工株式会社	18
10. サージカルアライアンス株式会社	20
11. 株式会社福富製作所	22
12. 有限会社日本豆腐大和屋	24

・資料編(採択事業者一覧) (P.44 ~)



事業テーマ

建築物における大空間を創造する為、
高能率マシーン導入プロジェクト

[競争力強化の形態と関連性] ワンストップ化

[22分野別技術との関連性] 切削加工

本事業への取組みの経緯・目的

当社は、千葉県白井市の工業団地内に工場を有し、(株)A社、(株)B社など大手ゼネコン向けに方立(構造部材としてガラスを仕切り支えるもの)や、ファスナー(方立を構造躯体に取り付ける為の部材)等を製造しています。(右記写真参照)

当社の技術力は、顧客から高く評価されており、図面及び製造に関する研修・勉強会を要請されることも多々あります。

一方で、当社の課題として、「建築物の低層部分に大空間を確保するために必要なスチール長尺物の製造体制の構築」があります。

この背景には、建築物の低層部分に大空間を確保するなど設計が多様化している為、より高度な技術力が求められる現状があります。昨今、当社には大空間を確保するために必要なスチール長尺物の発注相談が急増しています。

当社の現状の製造体制は、クレーンを使用しながら各工程をこなしており、顧客が求めている短期納入や

量産化に対して十分対応できない状況にあります。このようなニーズに対応する為、本事業に取り組むことにしました。

具体的には、スチール長尺物(10m超)の加工が可能なマシニングセンターを導入し、新たな加工生産ラインの構築を図ることを目的とするものであります。



実施内容

スチール長尺物製造に最適な鋼材加工機を製作、導入しました。機械導入に当たっては、機械メーカーと十分な事前打ち合わせを行ない、長尺物に対するプログラムの構築・強度及び安全性に留意して製作シミュレーションし当社に適した(現在の需要に対して、また今後4～5年先の需要を見越した)オリジナルな機械を設計し製作しました。

機械設置に当たっては、第一から第三工場での製造工程に鑑み、当社工場に現存する機械の移動等を行い全体効率を高めるようレイアウトの見直しを実施しました。

また、機械導入を機に、マシンの研修教育を実施しました。研修教育の狙い・目的は以下の通りであります。

従来の機械では、各工程をクレーンで移動しながら製作していたが、この鋼材加工機を導入することにより少なくとも2～3工程が1箇所で行えるよう

になります。また、パネル数値入力もあるので、研修教育によって多くの作業者が取り扱えるようになります。



事業実施の成果

新たな鋼材加工機の導入及び工場内の既存の機械配置の最適レイアウトへの変更により第一工場に効率の良い製造ラインが構築できました。また、数値制御工作機能により、目的に合わせて穴あけ・タップ・フライス加工等の異種の加工が、同一の鋼材加工機で出来ることから、クレーン移動も少なく、時間短縮につながった結果、より生産性の高い、量産化が可能な加工生産ラインを構築することができました。当社の技術力は顧客から高い評価を受け、求めら

れ受注してきたものの、スチール長尺物については、短納期・量産化には必ずしも充分に対応できていない状況でありました。補助事業の成果を活用することで顧客ニーズに対応可能な体制が構築できたと考えます。

また、2020年東京五輪に使用されるべき、建物等の整備・新設などに関する受注が2014年3月頃より始めてきているので、建築のピークとなるであろう2～4年先まで大きく寄与できると推測します。

今後の展望

昨今、ビル建築の流れを見るとより大型の高さのあるガラスファサード(ガラスの外壁)が定着し、さらにデザイン性(3Dを含む)を追求したタイプが多くなっています。

当社においては、今後需要に答えるべく、マシンの加工スピードを現状の1.5倍～2倍に上げ、切削能力の優れた加工機の開発、導入を急ぎたいと考えております。



社長から一言

社長 山田 修一

この写真風景は、今年6月にオープンした、ミッドタウン日比谷です。

エントランス部の門型照明BOX、6F大開口部の高さ10mのマリオン(ガラス補強材)円形のE Vシャフト部の一体化粧ユニットが当社製作となり、デザイン性のあるすばらしい出来上がりとなっております。

是非、東京の新名所をご視察下さい。

企業データ

[主な事業・業種] 金属加工業

[得意分野] ガラスを支える金属製品製造

所在地：[本社] 〒132-0035 東京都江戸川区平井 2-1-8

[事業実施場所]

〒270-1407 千葉県白井市内334-1

T E L：[本社] 03-3682-8355 [事業実施場所] 047-497-1711

F A X：[本社] 03-3682-7160 [事業実施場所] 047-497-1716

設 立：昭和24年2月25日

代表者：代表取締役会長 白山 良一

従業員数：49名

資本金：3,600万円

事業テーマ

酒粕・麴で おいしく楽しく元気に発酵生活を

【競争力強化の形態と関連性】 サービス化

【22分野技術との関連性】 発酵

本事業への取組みの経緯・目的

私たち日本人にはもともと馴染み深い発酵食品ですが、ここ数年で改めてその有用性や健康効果が見直されています。寺田本家は創業以来340年余り、日本の発酵食品のひとつ、日本酒を醸造しています。原料となる麴や、その副産物の酒粕にはさまざまな

酵素やミネラル、ビタミンB群、食物繊維が豊富です。日本酒だけでなく、麴や酒粕を活用して、おいしく、楽しく日常生活に取り入れるご提案と、身体も心も元気に発酵してゆく皆様の健康生活のお手伝いをできればと新商品の開発に取り組みました。

実施内容

補助事業にて、木製の甕を導入し、原料のお米への蒸気の当たり具合を改善しました。また、麴室へのヒーター導入により室内温度を一定(約35℃)に保つことで、発酵食品の品質向上を図りました。

そして、冷凍庫を導入し冬場だけしか製造できない酒粕のストックを可能とし、試作用タンク、真空包装機なども併せて導入し、①マイグルト(乳酸菌が働いた発酵甘酒)新商品、②酒粕クラッカー・酒粕粉チーズおよびマイグルトドレッシングなどの新商品開発に取り組みました。

①マイグルト新商品の開発

日本酒醸造法のひとつ“生酛(きもと)仕込み”のスターターとなる酒母(しゅぼ)は、低温でゆっくり発酵させる過程で、麴によるデンプンの糖化作用に乳

酸菌による乳酸発酵が伴い、お米のヨーグルトといった甘酸っぱい味わいの飲み物ができる。その後酵母が働きだすとアルコールを産み出し始めますが、その前段階で発酵をとめることでお子様でも安心して飲めるノンアルコールの発酵飲料ができます。すでに商品化している“マイグルト”の原料は白米で、次なる新商品として玄米や雑穀を原料とするマイグルトの開発を目指しています。

②酒粕クラッカー・酒粕粉チーズおよびマイグルトドレッシング

酒粕・麴・甘酒を使ったレシピで、ご家庭で手軽に召し上がっていただける商品や簡単に使える調味料の商品化を目指しました。



バーベキューソース



やさしいラー油



バーニャカウダ

事業実施の成果

木製の甑の導入により原料米の蒸しムラをなくすこと、麹室へのヒーター導入により麹菌の働きを活性化させることで、発酵食品の品質向上を図ることができました。また、冷凍庫の導入により夏場でも酒粕を使った調味料、酒粕粉チーズやパーニャカウダを製造することができるようになりました。

新商品開発については、以下のような成果を実現することができました。

- ①木の甑・麹室ヒーターの導入でいっそう安定的に高品質の麹がつかれるようになり、マイグルト新商品として、玄米マイグルトの試作を続行中です。
- ②発酵調味料シリーズとして、「酒粕ちいず」、「げんまい塩こうじ」、「やさしいラー油」、「パーニャカウダ」、「パーベキューソース」の5種を商品化致しました。

- ③酒粕・塩麹を使った商品として、「グラノーラ(甘口と塩味)」を商品化致しました。



げんまい塩こうじ



酒粕ちいず

今後の展望

- ①引き続き玄米マイグルト、雑穀マイグルトの商品化を目指します。また、バリエーションとして自社清酒を原料とした米酢を加えた新たなドリンクの開発も検討していく予定です。
- ②調味料については、飲食店からのお問い合わせも多く、業務用パッケージ対応を検討しております。また酒粕クラッカーや酒粕トリュフなどバリエーションを増やしていく予定です。

社長から一言

社長 寺田 優

当社では、昔ながらの自然酒を通じ、発酵の素晴らしさをお伝えできればと願ってまいりました。日本酒だけでなく、麹や酒粕を使ったレシピ提案などでもしておりましたが、ご家庭で手軽に使える発酵調味料を商品化することができ、皆様に発酵食品の魅力や可能性をより知っていただくきっかけができたと思います。今後も日本酒醸造の技・発酵力を生かした寺田本家ならではの商品を開発を目指します。

企業データ

【主な事業・業種】 食料品製造業（日本酒等の製造販売）

【得意分野】 日本酒の醸造

所在地：[本社／事業実施場所]

〒289-0221 千葉県香取郡神崎町神崎本宿1964

T E L：[本社／事業実施場所] 0478-72-2221

F A X：[本社／事業実施場所] 0478-72-3828

E-mail：info@teradahonke.co.jp

設 立：昭和31年9月29日

代表者：代表取締役 寺田 優

従業員数：22名

資本金：1,000万円

事業テーマ

「カドピタ」(コラム用裏当て金)の製造工程における自動化設備導入等を通じた納期短縮とコスト競争力強化

【対象類型】 ものづくり技術

【ものづくり技術との関連性】 情報処理、機械制御

本事業への取組みの経緯・目的

当社は建築鉄骨用溶接副資材の製造メーカーであり、主力製品は建築鉄骨の柱(コラムまたは角形鋼管という)を接合するために使用する部材「カドピタ」(コラム用裏当て金)の製造を行っております。

建築鉄骨市場はアベノミクスの伸展に伴う経済の活性化、首都圏直下型地震を見据えた耐震化の推進、東京オリンピックパラリンピックへの対応などから、堅調な伸びを見せており、その需要に対応できる生産能力が求められるとともに、ユーザーからは、納期の短縮とコストダウンを強く求められ、現状では次のような課題に対応出来ずに苦慮している状況にありました。

①殆どが受注生産であり、かつ、多品種小ロットであることから、現有の生産設備では、段取り換えや完成品の仕

分けに多くの時間を要し、サイクルタイムの短縮が困難である。

②生産管理工程において、進捗確認のために管理事務所から現場への往復が多く伝達ミスによる不良品の発生がある。

③製造工程において人手による作業が多く、不良率の低減が難しいことに加えて、昼夜の自動化運転に対応できない。

このため本事業では、6軸(垂直多関節型)ロボット、周辺の自動化搬送装置、仕上関連装置及び生産指示システムを導入するとともに、作業員の教育・訓練の徹底など社内環境を整備し、前述のユーザー要求に対応できる量産体制を構築・確立することを目的としました。

実施内容

数百点に及ぶ製品サイズ・種類を有する「カドピタ」の製造工程において、可能な限り人手による作業を排除し、受注データに基づきオンラインで生産指示できる製造工程の構築とともに、それらを熟知し万が一のトラブルに際しても対応が可能な作業員の養成をするため下記を実施しました。

①6軸(垂直多関節型)ロボット(2機種)と仕上関連自動化装置を導入しました。

従来は人手による作業で切削機に材料投入を行い、設備にパラメータ入力をし、切削後はバリ取り処理と製品番号のマーキングを施した上で複数の置場に製品を積み上げることを行っておりました。

本事業の設備では、ロボットと切削機、仕上関連装置及びシステムと連動し、素材の選定投入からバリ取り、マーキング処理を行い、後工程の検査、出荷工程を考慮した仕分け及び、パレタイズまでを自動化し、製造工程に係る人手の削減を行い、昼夜連続運転が可能なシステム構築をしました。

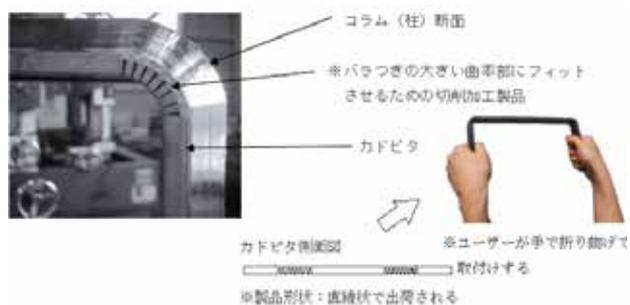
②専用ソフトウェアの導入をしました。

受注データを生産指示データに変換し数万点のデータを処理、送信する機能を導入しました。設備と常時通信を行いパラメータの送受信によって複数製品の昼夜連続運転を可能としました。

③人手による仕上作業(バリ取り、マーキング等)を自動化設備の導入によりオンラインで処理をし、人手の作業を削減しました。

④本事業設備の構築時に社員を参加させ、機械設計から電機、プログラミングに至るまでを実施研修、教育を行いました。

本事業対象製品



パレタイズ風景写真
人手による作業をロボットに置換えしました。



従来のバリ取り作業



パラメータ入力風景写真
人手による入力をシステム入力に置換えました。



切削機への素材投入

事業実施の成果

- 本事業設備の導入により、以下の成果が得られました。
- ① 人手による作業を排除することによりボトルネック工程が削減され製品1個あたりのサイクルタイムが向上しました。また自動化することにより、ラインあたりの稼働時間が8時間から20時間へ延長することができ、納期の短縮とコストダウンが実現しました。
 - ② 従来の人手による伝達作業、設備へのパラメータ入力、バリ取り仕上、製品マーキングを行っていた作業をPCや自動化設備を導入することによりミス低減が実現し、不良品率を低下する事ができました。
 - ③ 当社の社員が設備の設計から構築まで積極的に参加しました。また社内研修によりプログラミングやティーチングを習得させ、本設備の構築作業の機械・電気・制御を行うことにより、万が一のトラブルでも

社内内で対応できる体制を確保したと同時に、その他社内設備の修繕対応や自動化設備について設計から電機、ロボットの活用まで幅広く社内でも構築出来るようになりました。



ティーチング風景写真
社内研修により社員がプログラミングやティーチング技術を習得しました。

今後の展望

既に本事業の設備をモデルとしたロボットラインを導入し、さらなる生産性の向上を目指しています。今後も既存設備の更新時にはロボットラインへと入れ替える計画としています。

本事業設備の構築により得られた技術は既存設備や

製品のみならず幅広い業界での活用が可能で、新たな事業展開の足掛かりになることと期待しております。

また、今後は本事業で得た技術やAIの活用と、基幹システムと設備連携を強化し、IoT化に向けた取組みをしていきたいと考えています。

社長・担当者から一言

社長 渡部 康二

当社のような小規模加工製造企業では、設備の自動化と作業の効率化は、生き残りを賭けた最も重要な課題であるにも拘わらず、短期的な費用対効果・推進すべき人材の確保・自動化に伴う設備自体の更新等の大きな阻害要素が存在し、なかなか実現できないのが現状です。

このため当社では当初より実現のために、3年間という一定の期間を想定して段階的に解決することで各阻害要素を取り除くべく尽力して参りました。

今回のものづくり補助金の申請は、この最終仕上げ達成のためというべきもので、受注商品に関する客先への正確な対応、原材料歩留まりの向上、設備の稼働時間延長等が飛躍的に改善できると確信し、更に職員全体の技術革新意識を持続させる効果も期待できます。

担当者 原 章

人手による作業がメインで、生産性や品質において限界を感じていたが、本事業による先端設備の導入によって改善することが出来ました。

また、作業員においては、ロボット設備が身近になることにより考え方の幅が広がり、改善活動もより具体的に出来るようになりました。さらに先端設備を使いこなす事により調整・修繕をSierに依頼せず社内で行えるようになり設備の高度化に自社で対応できる力がついたと思います。

企業データ

【主な事業・業種】 製造業 金属製品製造業

【得意分野】 溶接用副資材の製造販売

所在地：[本社/事業実施場所]

〒279-0024 千葉県浦安市港46

T E L：[本社/事業実施場所] 047-353-8751

F A X：[本社/事業実施場所] 047-353-5381

E-mail：info@sunouchi.co.jp

設 立：1984年4月1日

代表者：代表取締役 渡部 康二

従業員数：56名

資本金：2,000万円

事業テーマ

世界最小カテーテル用金属部品の開発・試作における切削加工機の導入

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] 精密加工

本事業への取組みの経緯・目的

光ファイバーコネクタの先端部品を主力としてきた金属製品製造者である当社では、特定の事業者への下請依存率が高く、この事業体制からの脱却を図るべく、平成25年から医療機器市場への参入を志向し、カテーテル金属部品の製造による収益性向上を目的とした取組みを開始いたしました。

同取組みを介して医療機器メーカー、支援機関、大学病院等との産学官連携を強化してきた結果、平成26年頃より医療機器メーカーからカテーテル金属部品の製造に関する相談を受け、自社内で試作・開発の検討を行うこととなりました。

実施内容

従来のカテーテル先端部品は、挿管時の位置確認のために、レントゲンに造影されることのみが必要であり、要求される精度も高いものではありませんでした。

しかし、患者の負担軽減による早期治癒や、身体親和性の高い製品の市場導入が求められる傾向にあることなどから、より複雑で細径化した製品が求められることとなり、当社では当時φ5ミリメートルのカテーテル先端径をφ3ミリメートルまで細径化を図ることとしました。

また、カテーテルに様々な機能を持たせることを目的に、カテーテル先端部品に特殊な加工を施すこととしました。

写真右上は、本補助事業で導入したCNC自動旋盤です。加工面の視野が大きく広がり、より多彩な加工形状を作ることが可能となりました。

写真右は、当社が開発したカテーテル先端部品です。

先端丸部φ3.0ミリメートル、全長5.76ミリメートル内径φ0.8ミリメートルの特徴を持ちます。人体内を通過するために粗面は許されませんが、チューブの抜け防止のため、取付部のエッジ形状の保持が必要となり、バレル処理などの表面処理加工を施すことができず、機械加工のみで粗面のない製品製造を行っています。



写真上部が定規、1目盛=1ミリメートル

事業実施の成果

カテーテル先端部品に特殊な加工を施すことにより、検査機能や滴下機能を取組むことが可能となり、各種センサーを組込むことで、カテーテルの長期体内留置が可能となりました。

また、寝たきり患者や高齢者の遠距離監視が可能となり、医療過誤防止の一助となりました。

インターベンション治療や低侵襲治療が増加するなか、カテーテル先端径をφ3ミリメートルに細径化することで、カテーテル挿管時の患者負担を大きく軽減し、クオリティ・オブ・ライフの向上を可能としました。

今後の展望

医療機器製品市場における動向としては、身体親和性の高い製品の市場導入が求められており、今後も患者や高齢者、医療従事者にやさしい製品開発を行っていきます。

また、現在の医療機器のサイズは成人基準である

ことが多く、幼児や乳児にやさしいサイズではありません。

そこで、従来品をより細径化した製品の開発を進め、医療サービスの充実に貢献していくことを目標としています。

社長・担当者から一言

社長 市東 壽雄

今回の取組みにより初めて医療機器市場へと参入することとなりました。

カテーテル先端部品は数度の設計変更を受け、写真の形状となり、メーカーでは現在も製品の改良に取り組んでいます。患者や医療従事者、すべての人にやさしい医療機器の開発のため、当社も高品質・高精度の製品開発を促進していきます。

担当者 市東 賢史

検査担当者として、製品一つ一つを顕微鏡で検査し、万一の不良品も出さない姿勢で緊張感をもって検査作業にあたりました。当社は極小部品の切削加工を強みとし、精度のある量産加工を得意としています。今後も多様化する医療ニーズに合わせた検査体制の構築を図っていきたいと思います。

企業データ

【主な事業・業種】 自動車・医療機器・機械装置部品の製造

【得意分野】 高品質で精度の高い部品の大量生産

所在地：[本社／事業実施場所]

〒283-0802 千葉県東金市東金736

T E L：[本社／事業実施場所] 0475-54-1218

F A X：[本社／事業実施場所] 0475-52-4498

E-mail：shitoh@muf.biglobe.ne.jp

設 立：1989年5月12日

代表者：代表取締役 市東 壽雄

従業員数：7名

資本金：500万円

事業テーマ

高性能ワイヤー放電加工機導入による精密プレス金型の製造工程改革

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] 精密加工

本事業への取組みの経緯・目的

当社はプレス用金型製作を主体としており、プレス加工現場の加工費のコストダウンに配慮した金型作りを重要視し、多くの取引先の皆様よりその高い品質の評価を頂き、事業を拡大させてきました。しかし、熟練技術者の暗黙知に依る製造技術や属人的で標準化されていない生産プロセスゆえの生産性の低さによるコスト高は課題でありまし

た。

本事業において、加工プログラムの開発と最新鋭の設備導入により、生産プロセスの高度化に取り組むことで、暗黙知の形式知化、加工精度の向上や製品の長寿命化、加工時間の短縮によるコストの低減を図り、競争力強化に繋がります。

実施内容

生産プロセスの高度化の取組みとして、ワイヤー放電加工機の導入と、加工プログラムの開発を行いました。

(1)最新鋭のワイヤー放電加工機の導入

現有設備ではスペックの限界のため達成できない面粗さを、最新鋭のワイヤー放電加工機の導入により達成致します。

最新設備のため、職人が手作業で仕上げていた時と比べ、仕上がりのバラツキの解消や、加工時間の25%以上の短縮、ワイヤー消費量の15%の削減が可能となります。また、省人化された分、人員を他部門(フライス加工や組立て作業等)に振り分けることができ、労働生産性の向上が見込まれます。

(2)加工条件の開発

①ワイヤーのたわみを抑制する最適な加工条件の開発

ワイヤー放電加工では、正規の軌道を描いていても実際に加工しているワイヤーの位置は放電反発力によりたわみが生じてしまい、「ダレ」が生じるという課題がありました。

「ダレ」の発生は、製品精度に大きく関わり、修正時間も必要となってしまうため、テスト加工を繰り返し、最適

な加工条件を開発致しました。

実加工のデータを蓄積し分析することで、ワイヤーのたわみを最小限に抑えられるようになります。これにより、熟練者以外であってもダレずにきれいな角をつくることができ、加工時間の短縮とコストを抑えた高精度加工が可能となります。



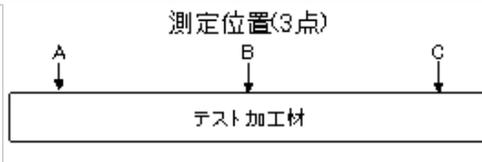
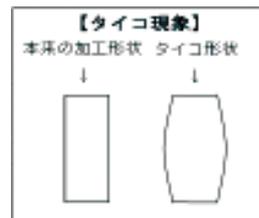
導入した最新鋭のワイヤー放電加工機

②タイコ形状を防止する最適な加工条件の開発

厚みがあるワークを加工する際、加工応力によりタイコ形状になってしまう課題がありました。加工応力がワイヤーにかかることでワークが垂直に加工できないため、本来目指すものとは異なる形状になってしまうのです。解決策として、データを蓄積し、ワイヤーテンション等の最適条件を研究し、導き出すことで、タイコ形状を抑えることが可能となります。

テスト加工期間 H26.11.18~26

加工機	テスト加工材	測定方法	ねらい値	測定値(単位mm)			測定日
				A	B	C	
本加工機	SKD-11 t=87mm	二次元デジタル測定器	10mm×10mm	10.000	10.001	10.001	H26.11.28
本加工機	SKD-11 t=87mm	二次元デジタル測定器	10mm×10mm	10.001	10.001	10.002	H26.11.28
弊社既存機械	SKD-11 t=87mm	二次元デジタル測定器	10mm×10mm	10.021	10.02B	10.002	H26.11.27
弊社既存機械	SKD-11 t=87mm	二次元デジタル測定器	10mm×10mm	10.014	10.022	10.012	H26.11.27

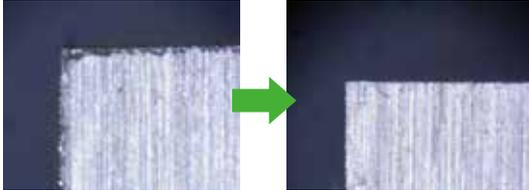


事業実施の成果

(1)

①ダレについて

ダレが生じてしまうことから、当社で製造ができなかった依頼に対して応えられるようになりました。特に、これまで取引の少なかった高精度が要求される医療関連のニーズをとらえることができ、受注額は増加傾向にあります。



角がダレてしまっていたのですが、きれいな角ができるようになりました。

②タイコについて、

事業取り組み以前は、生じてしまっていたタイコ形状を二次加工にて補正していましたが、この問題を最適な加工条件の開発により抑えることができ、二次加工が不要となった結果、リードタイムの短縮やコストの低減が可能となりました。

(2)面粗さについて

最大35%の加工時間の短縮となり、加工面精度は倍近く改善されました。

以上の成果による生産プロセスの高度化により、加工の精度が上がったことで、金型の寿命を1.5～2.0倍と延ばすことが可能となりました。また、取引先からの信用が上がり、競争優位性を得て、同業他社との差別化ができたことと認識しています。

事業開始前の目的であった、暗黙知の形式知化、加工精度の向上や製品の長寿命化、加工時間の短縮によるコストの低減は達成でき、今回の事業により当社の競争力強化に繋がっていると考えています。

その結果、事業実施後3期連続増収増益の結果となり、営業利益率については4ポイント向上するなどの成果がみられ、従業員3名の新規雇用や賃上げに取り組むことができました。

右記の写真は、本機で制作した営業用サンプルです。



t 30 × 100 × 100
2nd カット
クリアランス 5 μ

今後の展望

今回の、「ものづくり補助金」による取り組み・経験を活かし、今後更なる精度向上や生産性向上、また製品の長寿命化による高品位化、低コスト化が実現できると考えています。海外の企業の技術力が向上する中で、海外企

業はもとより、同業他社に対しても競争優位を得られるよう、積極的に生産プロセスの高度化や最新の設備の導入に取り組む、更なる労働生産性の向上や受注拡大を目指します。

社長・担当者から一言

社長 高橋 正二

金型産業は、熟練工の経験と勘にたよる技能労働集約的な加工産業としての要素が強く、当社も例外ではありませんでした。大きな設備投資が難しい中、協力会社や専門家の支援のもと、生産プロセスの高度化に取り組む、生産体制の標準化や効率化、労働生産性の向上といった成果を出すことができました。今後とも、積極的な受注活動と、高い品質を安定的に提供することで、当社の成長に繋がっていきたいと考えております。

担当者 高橋 正英

今回、ものづくり補助金を申請するにあたっては、千葉県産業振興センターの担当者の方々、補助事業を遂行完了するにあたっては、千葉県中小企業団体中央会の担当の方々に、色々と相談に乗っていただき、アドバイスを受けて本事業を完了する事ができました。

皆様方に感謝しつつ、今回導入することができた高性能ワイヤー放電加工機の性能をより引き出し、会社全体の売上に繋がるよう、これからも努力してまいります。

企業データ

【主な事業・業種】 生産用機械器具製造業

【得意分野】 プレス用金型設計製作

所在地：【本社】 〒270-0832 千葉県市川市曾谷4-30-15

【事業実施場所】

〒270-6611 千葉県松戸市松飛台中原402-6

TEL：【本社】 047-372-0096 【事業実施場所】 047-389-6611

FAX：【本社】 047-372-0096 【事業実施場所】 047-389-6612

E-mail：p-kanagata@takahashiss.com

設立：昭和35年1月9日

代表者：代表取締役 高橋 正二

従業員数：12名

資本金：500万円

事業テーマ

製造ライン敷設方法を革新する 高容量電気幹線用T型分岐コネクタの開発

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] 製造環境

本事業への取組みの経緯・目的

当社は、コンセントやプラグなどの配線器具の製造メーカーです。産業用配線器具として、自動車や半導体等の製造工場や、金融機関や情報産業のデータセンターに利用されるなど、国内多くのお客さまからご愛顧いただいています。特に、70年前より製品開発に取り組んでいる「引掛形」の配線器具においては、国内トップブランドの地位を確立しています。

産業用配線器具は、他社の供給している住宅用・民生用配線器具とは異なり、「防水機能」や「安定した電力供給」、「接続品質の高さ」が非常に高いレベルで求められます。お客さまから求められる要望に対して、様々な製品の試作開発を実施する必要があります。当社は、製品の製造から試作、金型製造、射出成形、商品組立に至るまでを社内にて一貫して実施できる体制を確立しています。そのため、お客さまのニーズに適合した新製品の製品化においては他社の追従を許さない状況となっています。

今回の事業では、当社がこれまで製造できていなかった、100アンペアという「高容量」の電流に対応することのできる幹線用分岐コネクタの試作開発に取り組みました。当社代表を始めとした営業部門の社員に対して、自動車製造業や産業用機器製造メーカーから「屋内配線を自由に設計することのできる配線器具」の要望を多くいただいております。製造ラインに用いられる機器は、急速な自動化が進展しています。大容量の電流に対応することが求められることから、分電盤の側に設置しなければならない、容易に配置場所を変更できない、等のレイアウト問題が生じていたのです。工場の生産性を向上させるためには、工場レイアウトをフレキシブルに変更できる、高容量の配線器具を開発することが求められていました。そこで、工場の製造ラインの敷設方法を革新するための、「高容量電気幹線用T型分岐コネクタ」の開発を、本事業で実施することとしました。

実施内容

当社は、社内にて試作開発を一貫して実施できる体制を有していることから、東京本社の設計部門と、南房総市の千葉工場の2拠点で本事業を実施しました。施策事業は、1. 企画開発設計、2. 機械設備の導入・治工具の製作、3. 試作金型の製造、4. 構成部品の製作・試作品の組み立てという段階を経て実施されました。

企画開発設計時に検討した主な事項は、①結線部の作業性、②ケーブルの保持能力、③耐衝撃性能、等となります。既存の60Aに対応する配線器具をベースに開発を実施しました。設計は当社独自の「引掛形」の構造を採用し、コンパクトな製品とするこ

とを目指しました。特に製造時に留意した点は耐衝撃性能を得るための素材の選定です。従来製品よりも大きな荷重がかかることを想定し、耐衝撃性能の高いポリカーボネート樹脂を選定しました。

設計および3Dプリンタによる試作品造形を繰り返した後、南房総工場にて製品用金型の作製と射出成形テストを実施しました。従来製品よりも大型となることから、新たにオークマ社製立型マシニングセンタ「MB-46VAE」を導入し、射出成形用金型および治工具を作製しました。その後、金型を用いた射出成形テストを実施、組み立ての後、試作品が完成しました。



事業実施の成果

完成した試作品は、企画設計時に想定したコンセプトを満たす試作品となりました。事前に設計部門にて検討を重ねたこともあり、通電試験・耐衝撃試験(落下試験)等による試験についても良好な結果を得ることができました。また、社長および営業担当者を変えた「社内レビュー」においても、十分な市

場性があることが確認され、カタログモデルとして商品化することとなりました。

本事業実施により、良好な作業性・十分なケーブル保持能力・高い耐衝撃性能を備えた「高容量電気幹線用T型分岐コネクタ」を開発することに成功しました。

今後の展望

「高容量電気幹線用T型分岐コネクタ」は当社の製品群において最も容量の高い、当社におけるフラッグシップモデルとなっています。カタログへの掲載や、展示会への出展、有力事業者に対する営業活動により、徐々に認知されつつある状況です。サンプル出荷を既に始めており、各事業者がどのような活用をするか検討中であると考えられます。工場

の製造ライン変更はそれほど頻繁に実施されません。数年の時間を掛けて認知度を向上させることで、製造ライン変更や工場新設時に大量の発注が来ることを予想しています。収益化には時間がかかっている状況ですが、お客さまからの反応は良好なため、徐々に売上が向上すると見込んでいます。

社長・担当者から一言

社長 小池 裕二

電気は安全に使用できなければなりません。当社は電源不具合が有ってはならない金融・自動車・工作機械・半導体・IT業界などで、製品の耐久性・難燃性・防水性・作業性やアイテム数を評価され、安全性の高い産業用配線器具専門メーカーとして活動しています。その中で電気配線の簡略化・省スペース化・低コスト化・省資源化、且つスピーディーに思いのまま電源レイアウト変更を可能にする当該品を製品化したことにより、日本の経済発展に寄与すると考えます。

担当者 関谷 恭介

当社の製品開発は常々、競合他社には無い独自性を念頭に置き取り組んでいます。本製品のコンセプトは、当社独自で開発した接続器をベースにし、これまでの開発にて培ってきた製品に対する考え方や機構ノウハウを活かし、他社が容易に真似出来ない設備工事の新市場へ向けた配線器具を提案することでした。特に本製品は今までに無い大きさになることから、経験のない要素を多く含んでおり、試作に至るまでの間、技術的裏付けが必要課題となりました。幸いなことに多くの協力会社様の助力を得て、製品化まで辿り着くことが出来ました。本助成事業活動の後、これを機に本製品の使用サポート製品を完成させました。

次のステップとしてはこの2製品を併せて、より良い市場貢献を目指します。

企業データ

【主な事業・業種】 電気機械器具製造業

【得意分野】 産業用配線器具の製造販売

所在地：【本社】〒145-0073 東京都大田区北嶺町41-16

【事業実施場所】

〒294-0822 千葉県南房総市本織1672

T E L：【本社】03-3729-3137 【事業実施場所】0470-36-2222

F A X：【本社】03-3729-3140 【事業実施場所】0470-36-2223

E-mail：customer@americandenko.co.jp

設 立：昭和14年4月21日

代表者：代表取締役 会長 小池 眞司

従業員数：99名

資本金：3349万円

事業テーマ

最新型「佐瀬式吟醸用搾り機」の導入による
みりんの品質向上と新製品開発

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] 吟醸造り

本事業への取組みの経緯・目的

【取組みの経緯】

補助事業実施前まで使用していた「搾り機」は昭和40年製であり、老朽化していました。この旧装置を使用してのみりんの搾り作業は手作業も多く、重労働となる工程もあり、生産性の面で課題がありました。

具体的には、搾り機のピストンの高さを調整するには、レバー操作を手動で30分おきに行わなければならない、搾り作業の途中で搾り袋を並べ替えて再度圧搾する作業を行わなければならないなど手作業・重労働が多く日数がかかる作業でありました。

また、搾り機のピストン調整において、ピストンが出過ぎて故障の原因になるなど安全性の面でも改

善の必要性がありました。

最新型の搾り機を導入することで、このような生産性や安全面での課題を解決することだけでなく、衛生面での効果や作業時間短縮により酸化を防止することで品質向上への効果も見込むことができることから、今回の取組みを行うことを検討しました。

【目的】

新型の搾り機を導入することにより、①作業効率改善による生産性向上、②安全面・衛生面での課題の解決、③品質向上を図り、高品質化したみりんを使用した新商品開発を行い当社商品のブランド価値向上と販売力強化を図ることを目的とし、補助事業に取り組みました。

実施内容

最新型の「佐瀬式吟醸用搾り機」を導入し、①作業効率改善による生産性向上、②安全面・衛生面での課題の解決、③品質向上を図り、高品質化したみりんを使用した新商品開発への取組みを実施しました。

具体的には、①搾り機のピストンの高さに関する自動調整機能、搾り袋の並べ替え作業が無くなることによる生産性向上、②安全装置によりピストンの出過ぎを防止することや、洗浄しやすいステンレス製の枠・板を使用することでの衛生的な搾り作業の実現、③みりんの品質向上と高品質化したみりんを使用した新商品開発に取り組みました。

新商品は高級みりと高級みりんを原料としたアルコール飲料の開発を行い、高級みりんについては官能検査を行い、アルコール飲料については小規模製造試験も実施しました。



佐瀬式吟醸用搾り機



制御盤

事業実施の成果

新型の搾り機は、①安全装置の効果により、以前は手動で行っていたピストンの位置決めを安全に行うことができるようになりました。②また、旧装置は木製の杵・板で押し搾っていたが、新型機はステンレス製の杵・板を使用するため、製品に触れる部分の洗浄もしやすくなり、衛生的面での効果も確認できました。そして、③搾り機のピストンの高さを自動で調整できるようになったことで、旧装置で7日～8日かけて行っていた搾り作業を、4日で行うことができるようになり、作業効率も向上しました。さらに、旧装置は搾り作業中盤に搾り袋を並べ

替えて再度圧搾する作業が必要でしたが、新型機はその作業を行わなくても十分に搾り切れることで、大幅な労力削減を実現できました。

搾り作業時間の短縮は、みりんが空気中に触れる時間を短縮することとなり酸化を防止できるため、みりんの品質向上にも繋がっています。さらに、品質向上を図ったみりんを使用した高級みりんの新商品は官能検査で高い評価が得られ、高級みりんを使用したアルコール飲料の新商品については、原料混合比率をほぼ決定することができました。

今後の展望

高品質化したみりんを原料に使用した新商品は、本物志向の消費者や純米主義の消費者のニーズを捉え市場でも評価を得てきています。現在では、口コミにより高級レストランや料亭から引き合いが来ており、引き続き、このマーケットへの販売強化を図って行きます。また、佐原地区は「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されており、ニッポニアサワラなど築100年越えの古民家や蔵を含む建物を宿泊施

設・飲食店に改装する古民家再生への取り組みも行なわれています。そして、インバウンドの増加に伴い、佐原地区を訪問する外国人観光客も増加しています。今後は、外国人を含めた観光客をターゲットとした販売も模索していきます。さらに、最近では海外で日本酒ブームが起きていますが、みりんについても将来的に輸出していくことにも取り組んでいきたいと考えています。

社長・担当者から一言

社長 馬場 善広

この設備を導入したことにより、製品の品質が高いレベルで安定しました。

今後は、この設備で搾った製品を原料とし、新商品の開発につなげていきたいと思っています。

担当者 馬場 寛之

以前の搾り機よりも搾りに関する工程が減ったので、冬場の忙しい時期などは人手をかけなくてもすむようになり、大変助かっています。

企業データ

【主な事業・業種】 みりん・清酒の製造販売

【得意分野】 吟醸造り

所在地：[本社／事業実施場所]

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ614-1

T E L：[本社／事業実施場所] 0478-52-2227

F A X：[本社／事業実施場所] 0478-52-3718

設 立：1842年

代表者：代表取締役 馬場 善広

従業員数：8名

資本金：1,000万円

事業テーマ

産学連携による子供の安全と発達段階に応じた成長を促進する次世代型遊具の開発製造

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] デザイン、接合・実装、立体造形、表面処理、測定計測

本事業への取組みの経緯・目的

公園遊具は国土交通省の管轄で「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基き、一般社団法人日本公園施設業協会が「遊具の安全に関する規準」を定めています。他方、学校遊具は文部科学省(幼稚園、小学校)または厚生労働省(保育園、子ども園)の管轄ですが、独自の安全規準は定めておらず、上述の「遊具の安全に関する規準」を準用するよう、全国の学校に通達しているだけであります。

子供は、遊具での遊びを通して自らの限界に挑戦することで、身体的、精神的、社会的な面において成長し、危険に関する予知能力や事故の回避能力など、安全に関する身体能力も高めていきます。また、集団の遊びの中で、自らの創造性や主体性を向上させ、社会的ルールや自分が果たすべき役割、責任などの存在に気づき、他者とのコミュニケーションを円滑に図る能力も身に付けていきます。

一方、遊具の安全性を重視し、事故を起こさないようにすることは当然であります。他方、安全性ばか

りに意識が集中してしまうと、遊具を通して子供の心身の成長を促進する視点が失われてしまい、子供が自ら考えて行動するための多様な遊び方を封印してしまうことにもなりかねません。近年の学校遊具が置かれている現状を見ると、こうした傾向が強いことがわかり、前述したような子供に「気づき」を与える遊具の提供が、極めて少なくなっていることに問題があると感じました。

遊具の視点から安全性や成長性を判断するのではなく、現在の子供の視点から遊具のあるべき姿を考えていかなければならないと思います。

当社ではこれらの問題を解決するため、産学連携により、発達段階に応じた子供(主に園児や小学生)の心理や行動を分析して、現在の子供の視点で子供が学校遊具に対して真に求めていることを探り、安全性を確保したうえで、多様な遊び方を通じて成長を促進できる次世代型遊具の開発製造及び販売を試みることにしました。

実施内容

地元の千葉大学教育学部・同工学部と当社との産学連携により、科学的知見に基づく子どもの発達段階に応じた身体的・精神的・社会的成長を促進する、安全で機能的な次世代型の遊具を開発製造販売する事業を実施します。

この事業において目指している遊具は、遊具に伴う危険性を子どもが予測可能なリスクと子どもが予測不可能なハザードに区別し、リスクを魅力に転化するとともにハザードを無くしながら、科学的知見をベースにしたデザインで子どもの成長を促進するものであります。

教育学部から得た情報は、現代の子どもの身体的能力、社会心理的分析(情緒性、創造性、協調性)や嗜好性等の研究成果であります。

工学部からの情報は、過去の遊具事故の分析データ、子どもの現状認識を基礎にデザイン科学やリスクとハザードにも最大限配慮したカタチと実証評価(観察調査、運動量調査、筋力量調査)についての研究成果であります。

当社は、製品としての実現可能性を大学と協調模索しながら、異種金属接合技術、金属成形技術、可動・摺動部製作技術、強度計算技術、塗装技術を応用して、試作品及び完成品の製作を行うものであります。

遊具の販売についても、従来の販売方法やルートとは異なるマーケット、チャンネルでの販売を目指しています。すなわち学校予算だけに頼るのではなく、広く子どもを取り巻く社会(地域社会、商店街、PTA、OB等)をもターゲットとするものであります。



事業実施の成果

産学連携共同開発次世代型遊具の製品第一弾として、次世代型のうんてい遊具である「Twisty(ツイスティ)」を製作、昨年(平成29年)春より販売を開始しました。

メディア(日経新聞、日刊工業新聞、千葉日報等)にも大きく取り上げられるとともに、ビジネスプランコンテスト(ベンチャーカップ千葉)で準グランプリを受賞。また千葉市のトライアル発注認定事業で認定商品にも選定されました。

商品の魅力や斬新さとともに、これらの広報宣伝活動が奏功したのか、売れ行きは好調であります。

公立校では、千葉市立新宿小学校、千葉市立幕張小学校、千葉市立小中台南小学校の三校へ導入されました。私立では幕張インターナショナルスクールをはじめ、その他の私立幼稚園にも導入されました。その他、一般企業にも導入されており、最近では東京ドイツ村から三基の発注を受けております。

今後の展望

既にリリースしている次世代型うんてい遊具である「Twisty(ツイスティ)」の広報宣伝活動及び販売に力を入れるとともに、第二弾として製品化が決定した「クレパス」の製作に着手し、広報宣伝活動及

び販売を開始する予定です。

新作の遊具を一年間に一基程度のリズム感で開発から製品化にもっていければと考えております。

社長から一言

社長 木俣 博光

玩具(おもちゃ)と遊具の違いはわかりますか? 玩具とは道具が遊び方を規定するもので、遊具とは遊ぶ側が遊び方を考えるものです。現在は安全性を強調するあまり遊具の玩具化が危惧されています。多様な遊び方(遊具性)と安全性は確かにトレード・オフの関係にあります。しかし、私たちはリスクを残しながらハザードを取り除くという開発方針の下、産学連携により本物の「遊具」を高い安全性を確保しながら、これからもリリースし続けます。

企業データ

【主な事業・業種】 自動車整備業・自動車販売業

【得意分野】 特種車設計製作架装、自動車整備

所在地：[本社/事業実施場所]

〒264-0007 千葉県千葉市若葉区小倉町1301

T E L：[本社/事業実施場所] 043-231-8211

F A X：[本社/事業実施場所] 043-231-8466

E-mail：info@ea-net.co.jp

設 立：昭和54年5月9日

代表者：代表取締役 木俣 博光

従業員数：45名

資本金：1,000万円

事業テーマ

老朽化下水道インフラ緊急修理対応用に 特急大型部品製作体制の構築

【対象類型】 ものづくり技術

【ものづくり技術との関連性】 精密加工

本事業への取組みの経緯・目的

近年、金属加工業界全体における技術の衰退が顕著な中、当社は汎用機械を用い複雑な製缶及び機械加工技術を職人の手によって確立してきました。

創業以来、長い歴史の中でその時代毎のニーズに合わせて様々な産業に技術を提供し、現在は上下水道のインフラ等、高速回転分離機などをメインに製作を請け負っています。

品質・価格・納期等顧客要望水準が更に高まる中、同業が一件また一件と淘汰されてきています。

また長年日本のものづくりを支えて来た団塊の世

代の技術者も次々と引退して行くのですが、バブル以降の不景気の時代では事業維持や雇用もままならず50代、40代の中堅世代が技術を上手く伝承できていない現状があります。

そんな中、近年工作機械はコンピュータ制御により精度や加工時間など目覚ましい進歩を遂げています。

当社では熟練職人による技術的なノウハウに最新の工作機械を取り入れる事で、経験年数の少ない技術者でも熟練者の指導の下に複雑な機械加工を可能にしたいと考えました。

実施内容

当社で製作するインフラ関係などの回転部品の中で材質、大きさ、形状等の汎用性が高いものを選定し、その目的にあった工作機械(オークマ社 V760EX 縦型CNC旋盤)を導入しました。

寸法精度の高い物、形状の複雑な物、汎用旋盤では熟練の技術を必要とするネジや溝の加工なども若年の技術者でも対応できる性能を持っています。更に加工時間を汎用機械使用時よりも大幅に短縮すべく工夫を重ねています。



事業実施の成果

当機導入後、新人の作業者が熟練者の指導の下に加工に当たり作業を行っています。

上下水道や製糖機械に用いられる高速回転を要する複雑な加工品では作業手順や使用する道具などが多岐にわたるため直ぐに熟練者と同じ作業をする事は困難ですが、当機のコンピュータ制御機能により

若年者でも高い寸法精度や複雑な形状の加工も比較的短期間で習得しております。

またコンピュータ制御機械によるメリットとして以前と同様の品を加工する際に以前の加工データをそのまま使用することで正確さの向上と時間の短縮が可能となりました。

今後の展望

今後も当社の強みである1社での総合的なものづくりの意識を次世代に繋げていき、公共事業等必要不可欠なインフラ設備の製作に技術を提供していきたいと考えます。その為に今回導入した工作機械をはじめ設備投資及び人材の確保に努め、更に当社の

蓄積してきた汎用機械の技術、古くからのものづくりのノウハウを組み合わせ熟練者が引退しても総合的な技術を落とさないよう、日々研鑽を重ねていきます。

社長・担当者から一言

社長 宮内 龍雄

弊社は銚子工業界での草分け的存在で私の代で7代目と聞いております。代々その時代に適応し技術を高めてまいりました。

一番大切なものは技術力であり、どんなに高度な機械があってもそれを使う人の技術が伴わなければ役には立ちません。

今後も最新の機械の導入と新人の育成に注力し、他社では出来ない技術を持ち、社会に貢献していきたいと思っております。

担当者 加瀬 喜朗

業界全体が高齢化し技術を持った職人が減り、1社また1社と淘汰されていく中、弊社は技術的に高度な品物のみならず通常1社では出来ない総合的な技術を要する品物を請け負い生き残って来ました。

今後はその世代の日本のものづくりを支えて来た素晴らしい職人達の技術とノウハウを受継ぎ、次世代へと繋げていきたいと思っております。

企業データ

【主な事業・業種】 金属加工業

【得意分野】 金属製缶及び加工

所在地：[本社] 〒288-0045 千葉県銚子市三軒町7-1

【事業実施場所】

〒288-0045 千葉県銚子市三軒町7-1

T E L：[本社／事業実施場所] 0479-22-2097

F A X：[本社／事業実施場所] 0479-23-4056

E-mail：inari@khaki.plala.or.jp

設 立：1954年1月

代表者：代表取締役 宮内 龍雄

従業員数：18名

資本金：500万円

事業テーマ

患者満足度の高い股関節治療を 提供するための牽引手術台の普及事業

[対象類型] 革新的サービス

[革新的サービスとの関連性] 付加価値の向上（新規顧客層への展開）

本事業への取組みの経緯・目的

当社は創業以来、主に人工関節の販売を事業としてしています。そのため人工関節に関して整形外科医が抱える現在の課題等について、質問や相談を受ける機会も多くありました。

整形外科医多くが抱える課題の一つとして、アプローチ法が挙げられます。現在、人工股関節の手術方法には大きく分類すると前方アプローチ法と後方アプローチ法の二つに分けられます。後方アプローチ法は現状で一番スタンダードなアプローチ法で、手技的にも比較的容易であります。筋肉の一部を切って侵入する必要があります。前方アプローチは筋肉の間からアプローチすることが可能となるため、術後の回復や、関節脱臼の可能性の低減ができるといわれています。患者様にとってメリットの大きい前方アプローチ法ですが、なかなか普及していないのが現状であり、その大きな理由のひとつとし

て、手技が非常に煩雑になり、習得が難しいということが挙げられます。現在日本国内で施行されている人工股関節置換術および人工骨頭挿入術は年間約13万例、その内、前方アプローチ法は約15%前後しか普及していません。この原因は、手技が非常に煩雑で習得が困難であること、前方アプローチをアシストする専用手術台は海外製のみであり、高価あるいは使用する人工関節が限定されているなどで使い勝手が悪いといった点があります。その問題点を解決するために人工関節の販売を通じて築き上げたコネクションを利用して、千葉大学整形外科との産学共同研究という形で股関節手術用牽引手術台を開発するに至りました。この牽引手術台は人工股関節手術の手技の簡便性、精度の向上及び人員の削減を目的に開発したもので、その製品評価モデルを導入・活用して普及を図ることが本事業の目的です。

実施内容

製品評価モデルとなる牽引手術台4台を導入し、千葉大学を中心として、ご協力いただいている大学病院や市中病院にて、この4台についての臨床評価を行いました。臨床評価を行うことにより、ラーニングセンターとして希望される整形外科医のトレーニングの場を提供するための足がかりとすると共に、製品評価モデルの初期トラブルの洗い出しを行いました。

ラーニングセンターとは、この牽引手術台を使用した前方アプローチ法を普及させるため、協力いただけるドクターに牽引手術台を実際の臨床にて使用をしていただき、全国の整形外科医に実際の手術を見学していただける施設です。これにより前方アプローチ法を検討している整形外科医に牽引手術台を

導入するまでもなく、このアプローチを実体験していただき牽引手術台の効果を実感していただくことが可能となります。



牽引手術台（開発途中のモデル）

事業実施の成果

牽引手術台の製品評価モデルの導入により、マイナートラブルへの対処、製品改良につなげることができ、人工股関節の前方アプローチ法による手術で使用できることが確認できました。

平成27年より営業活動を開始し、受注も獲得することができています。販売実績として千葉大学医学部附属病院および関連病院にて3台を納品しました。

ラーニングセンターとして活用することにより、いくつかの施設や他メーカーからの問い合わせも増えてきております。

トラブルシューティングとしてはマイナートラブルがいくつか発生しましたが、臨床上で問題となるようなものはなく、ひとつひとつ確実に対処しています。施設ごとに微妙に使用方法が違ってくることも分かり、今後の製品開発に活かせればと考えております。



完成した牽引手術台の手術手技書（表紙）

今後の展望

前方アプローチ法による手術が普及すれば、術後の早期離床、早期のリハビリ開始や関節脱臼の可能性低減など患者様の負担が軽くなるとともに、入院日数の短縮化や医療費負担の軽減にもつながっていきます。

超高齢者社会を迎え、患者様は今後も増加すると

見込まれ、人工股関節の市場もまだまだ増加と言われています。人工股関節の利用、患者様の負担の少ない手術により健康寿命を伸ばすことができます。この人工股関節の分野でこの牽引手術台が貢献できるよう社員一丸となり努力を続けてまいります。

社長・担当者から一言

社長 川崎 善之

我々のような中小企業にとって、このような補助金制度を活用できることは、非常に助かります。また機会がございましたら活用させていただければと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

担当者 谷村 雅人

ものづくり補助金を活用させていただくことにより、製品評価モデルをまとめて購入することができました。この事業により人工股関節の分野に少しでも貢献できるよう努力を積み重ね、よりよい製品作りに活かしてまいります。

企業データ

【主な事業・業種】 小売業・医療機器の製造販売

【得意分野】 整形外科向け医療機器

所在地：[本社]

〒105-0014 東京都港区芝3-24-1駿河ビル2階
[事業実施場所]

〒272-0032 千葉県市川市大洲3-15-2 ライフパル1階

T E L：[本社] 03-6435-2611 [事業実施場所] 047-712-5629

F A X：[本社] 03-6435-2614 [事業実施場所] 047-712-5630

E-mail：tanimura@s-a.jp

設 立：2007年4月

代表者：代表取締役 川崎 善之

従業員数：12名

資本金：500万円

事業テーマ

特殊仕様のスチールドアを短納期で提供できる 自社独自の仕組みの構築

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上（新規顧客層への展開、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化）
- ・効率の向上（サービス提供プロセスの改善、IT利活用〈Ⅱ〉）

本事業への取組みの経緯・目的

当社は創業85年の歴史を持ち、50年近くになつてオーダーのスチールドア（建築基準法に基づく特定防火設備）（図1）を製造販売してきました。

昨今のスチールドア業界においては倒産・廃業による製作工場の減少や、人材不足による生産力低下を招いています。そのような状況の中、顧客からは今まで以上に短納期での確実な製品の納品・迅速な納期回

答・特殊仕様に臨機応変に対応可能な生産体制・顧客の要望を捉えた設計支援を要求されています。

当社としては、現状の生産設備を有効活用しながら高品質な製品を短納期で確実に提供できる自社独自の生産管理の仕組みを構築し、顧客の要求を満たす支援サービスを確立することで当社製スチールドアへの信頼を獲得し売上拡大を目指します。

実施内容

今回の事業を実施するにあたり、まずはスチールドアを製造するために必要な作業工程を過去の実績を元に分析集計し、今回構築するシステムの全体的なデータ構造を設計し統合工程部品表にまとめました。その上で下記の3つのシステムを構築しました。

(1) スチールドア生産管理システムの開発

受注から出荷までの流れを、工場内の各工程に設置したタブレットとも連携し、事務所内にて日々の受注状況や進捗状況をリアルタイムに見ることができるよう自社独自のシステムを構築しました。また、一貫生産スケジューリング（図2）により効率的な生産を可能にしました。

(2) NCデータ作成プログラムの開発

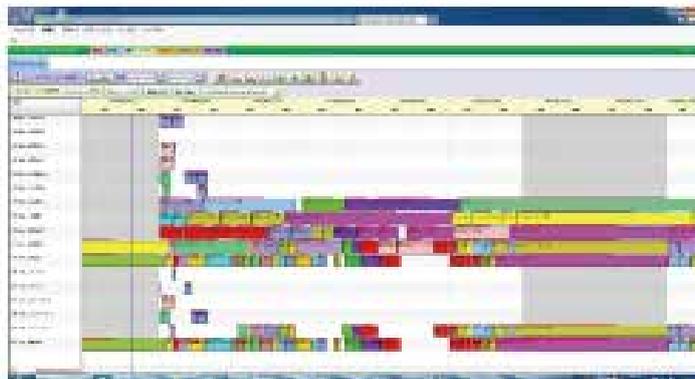
簡易入力機能を用いて工作図を自動作成できるプログラム（図3）を構築し、従来のNC加工機と連携することにより入力作業の二度手間を省くことを可能にしました。

(3) スチールドアNC連携作図システムの開発

簡易入力機能を用いてスチールドア図面を自動作図できるシステム（図4）を構築し、設計担当者でなくとも作図を可能にしました。



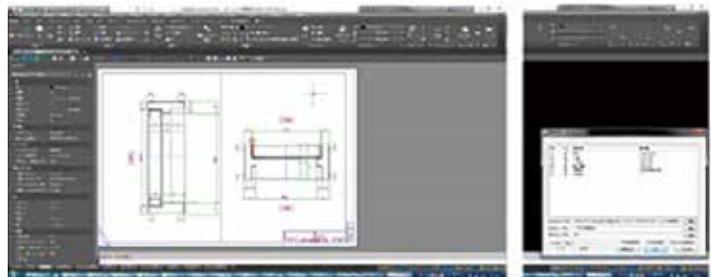
（図1）スチールドア



（図2）スケジューリング画面



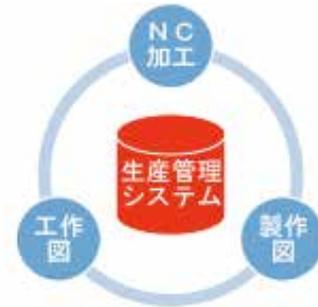
(図3) 工作図NC変換画面



(図4) 製作図面の自動作画画面

事業実施の成果

スチールドア生産管理システムを用いた的確な納期管理により短納期対応が可能になり、顧客からの納期短縮要望にも対応が可能になりました。また、簡易入力機能を用いた工作図プログラムや自動作図システムにより二度入力の間違いを防止し、従来の担当者以外でも設計業務、工作図業務に携わることが可能になりました。(図5)



(図5) システム連携図

今後の展望

各システムを利用して生産実績等を集積し分析し、過去データを共通化・パターン化することにより生産効率を上げ、コストダウンも可能にしてい

ます。また、すべてのシステムをデータ連携することで、より一層スチールドアの品質を向上させ、顧客からの信頼を確固たるものにしていきます。

社長から一言

社長 石崎 雅彦

ものづくり補助金に挑戦することで、漠然としていた自社の問題点を明確にすることができ、その問題点を解決するために効率的な投資をすることができました。

また、今回のビジネスモデルを決定するにあたり、技術データ管理支援協会様や千葉県産業振興センター様には多大なるご協力をいただき大変感謝しております。

誠にありがとうございました。

企業データ

【主な事業・業種】 金属製門扉・スチールドアの製造販売

【得意分野】 金属製品加工

所在地：[本社] 〒289-2516 千葉県旭市口ー 537

【事業実施場所】

〒289-2505 千葉県旭市鎌数9163-36

T E L：[本社] 0479-64-1800 [事業実施場所] 0479-63-5151

F A X：[本社] 0479-64-1855 [事業実施場所] 0479-63-3343

E-mail：info@fukutomi-ss.co.jp

設 立：昭和28年2月1日

代表者：代表取締役 石崎 雅彦

従業員数：25名

資本金：1,000万円

事業テーマ

新たな製造工程と新機能冷却機の開発による冷凍豆腐、冷凍豆腐惣菜品の販売

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上 (新規顧客層への展開、独自性・独創性の発揮、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化)
- ・効率の向上 (サービス提供プロセスの改善)

本事業への取組みの経緯・目的

当社は昭和26年創業の豆腐屋です。千葉県東金市にて、先代経営者が流しの豆腐屋として開業しました。その後、経営者交代を経て平成6年に豆腐製造工場を設立し、生産能力を大幅に拡大しました。現在は、湯葉などの豆腐関連商品の製造や、直営販売店「豆厨ゆばせい」の運営を手がけるなど、多角的な事業運営となっています。当社のモットーは『にがりづかいは技と心の言い伝え。豊かな食を人々に毎日毎朝お届けします』としており、こだわりの豆腐および豆腐関連商品の製造を心がけています。

今回の補助事業にて実施した「新たな製造工程と新機能冷却機の開発による冷凍豆腐、冷凍豆腐惣菜品の販売」は、豆腐の消費期限を伸ばすことで、商

圏の拡大や新たな顧客層の開拓、新商品の開発につながる画期的な事業です。当社は以前より「冷凍豆腐」の製造販売を手がけていました。水分が85%を占める豆腐は、通常の手法による冷凍の場合、冷凍に手間がかかる・味が落ちる・計画的な生産ができない・加工が困難等の問題を抱えていました。冷凍豆腐および冷凍豆腐惣菜に対するお客さまからの要望は日々頂いておりましたが、対応できていない状況でした。冷凍しても美味しく食べられる豆腐および豆腐惣菜の開発が実現できれば、日本全国はもちろん、アジア圏までも輸出することが可能となります。豆腐にはそれだけの商品力があると考え、本事業を実施しました。

実施内容

本事業では以下の工程にて試作品である「冷凍豆腐」および「冷凍豆腐惣菜」を開発しました。

1. 冷凍豆腐製造工程の検討

最終成果物が冷凍製品となることから、製造工程を従来とは変更する必要が生じていました。特に検討した部分は、大豆を磨砕(まさい)する工程における加水割合や大豆投入量の調整、加熱する工程における煮込みや熟成時間、豆乳濃度の調整です。また、豆腐の風味を殺さないために求められる冷却機の性能についても検討を重ねました。

2. 冷却機の製作～導入

取引先と共に、豆腐および豆腐惣菜を急速冷凍するための冷却機を製作しました。今回製作した冷却機は、豆腐内部の水分比重を最も高めることのできる3.98℃以下で、豆腐の外部から内部までを均等に冷却できる装置です。これにより、豆腐内部の成分が均一となり、解凍時にドリップと呼ばれる細胞内の栄養や水分の流出を防ぐことが可能となりました。



事業実施の成果

試作開発は順調だったものの、量産化に際しては想定よりも手間がかかることから、製品への反映は時間がかかりました。冷凍豆腐および豆腐惣菜を製造するための別途スペースの確保はもちろん、従来の豆腐と比較して製造に要する時間が長期化する、工程が増えることにより作業人員が増加する、等の問題が発生しました。それらの問題解決のため、冷凍豆腐は原価が高騰してしまい、通常の豆腐製品では原価に応じた販売価格を頂けない状況となりました。

そこで当社が注力したのが付加価値の高い「冷凍豆腐惣菜」の開発です。豆腐と比較して、豆腐惣菜は付加価値が高く、競合もほとんど無い状況でした。しか

し、冷凍豆腐惣菜の開発も一筋縄では行きませんでした。豆腐を惣菜として活用するためには、加工を容易にするため粘度を調整する必要があります。その調整のためにも新規技術の開発が必要となりました。そして、学者との連携により問題を解決することができ、新たな豆腐惣菜の開発に成功することができました。

現在、販売している冷凍豆腐惣菜は、豆腐ウインナー(トゥインナー)、豆腐サラダ(OKARAサラダ)、豆腐コロッケ(おからコロッケ)、豆腐スープ(健康OKARAポタージュ)、豆腐スイーツ(もっちり豆花)等の製品です。展示会への出店や取引先の開拓を実施するなど、販路開拓に取り組んでいます。

今後の展望

「冷凍豆腐惣菜」の開発により、販路開拓が実現することとなりました。安定的に販売することが可能になったことから、今後は「冷凍豆腐惣菜」の生産ラインの整備が課題となっています。今後は、日産10,000個のコロッケ製造ラインの新設を予定しています。豆腐惣菜は競合が無く、市場を開拓する余地がかなり多い状況です。

また、冷凍機の共同開発を実施した株式会社川西と組み、海外への冷凍豆腐惣菜製造機器の販売を計画しています。和食はユネスコの無形文化遺産に登

録されており、知名度が格段に向上しています。当社の顧客たりうる日本食のレストランは、海外に9万店舗あると言われており、市場は拡大傾向にあります。今回の冷凍豆腐および冷凍豆腐惣菜の施策開発事業により、豆腐の商圈を全世界に広げることが可能となりました。

世の中に無い、全く新しい価値を提供することで、豊かな食を更に多様なシーンで楽しんでいただきたいと考えています。

社長から一言

社長 岩柳 弘満

今回の開発は、他社との価格競争しないような独自の商品を持ちたいと思い挑戦しました。白くて四角い豆腐の概念に捕らわれず時代に変化していく豆腐の形と考え、パン食に合う「豆腐ウインナー・おからサラダ・おからポタージュ等」など、今までに食したことのないような商品を開発しました。今までに無かった商品なので開発も苦労しましたがとても遣り甲斐のある開発でした。

企業データ

【主な事業・業種】 食品製造業

【得意分野】 豆腐、豆腐関連商品製造

所在地：[本社] 〒283-0062 千葉県東金市家徳784
[事業実施場所]

〒283-0105 千葉県山武郡九十九里町粟生298

T E L：[本社] 0475-76-0839 [事業実施場所] 0475-76-0838

F A X：[本社] 0479-64-1855 [事業実施場所] 0475-76-0838

E-mail：info@to-fu.net

設 立：平成2年7月1日

代表者：代表取締役 岩柳 弘満

従業員数：30名

資本金：700万円

平成27年度・平成28年度補助事業者 「平成29年度補正ものづくり・商業・ サービス経営力向上支援補助金」

目 次

1. サンレイ工機株式会社	28
2. マルヤス機工株式会社	30
3. 東京螺旋工業株式会社	32
4. スズキ機工株式会社	34
5. 株式会社平田精機	36
6. 有限会社西村製作所	38
7. シフトアップ株式会社	40
8. 株式会社村上製作所	42

・資料編(採択事業者一覧) (P.44 ~)



事業テーマ

独自のカーボンロール技術を高度化し、 併せてプロペラシャフトの一貫製造技術の確立

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] 精密加工、複合・新機能材料

本事業への取組みの経緯・目的

当社は独自の製造技術で液晶パネルや燃料電池向けフィルムに必須の高性能カーボンクラッドロールを製造しています。カーボンクラッドロールとはカーボンロール表面をメッキすることなく金属化されたロールであり、カーボンパイプ外径よりも若干小径の金属パイプを圧入(クラッド)して製造される、特許工法も含んだ、世界でも類のない独自開発のロールであります。このロールの特徴は軽量かつ低たわみ高剛性であり、大型かつ高速回転にも耐える事から日本が世界で圧倒的なシェアを保持し続けている高機能フィルム製造ライン、特に液晶パネルを構成する各種フィルムやL I Bセパレーターの製造ラインに多数採用され、ロール面長が5 mを超え

る大型の製品は国内外でも当社のみが製造に成功しており、日本の高機能フィルムの高品質化と競争力確保に大きく貢献しています。またロール製造で培った技術を応用し、国内自動車レース最高峰GT500マシン向けにカーボンプロペラシャフトも製造しています。

しかしながらこれらカーボンロールやプロペラシャフトの両端部に取り付けの金属製の軸等の部品は外注加工に頼らざるを得ない状況で、これら金属部品の加工を最新鋭の複合機を用い、社内加工を実現し、併せて短納期での製品製造を目指すものであります。

実施内容

本事業は、まず今まで外注加工に頼っていた金属加工について最新鋭複合機を用いて製作するものであり、それを扱える人材の教育訓練を行い、実機が納入されるまでには所定の教育訓練を終えたオペレーター2名が担当することになりました。まずは同一形状の軸の加工を連続的に行えるようにプログ

ラムをセットし、刃物や工具類を選定し、試作～本稼働までを半年間取り組みました。その結果、精度に関してはこれまでの外注加工精度を上回るものが製作できるようになり、納期(加工時間)も14日から5日へと大幅に短縮することができました。



カーボンロール



導入複合加工機

事業実施の成果

事業開始から1年が経過し、当初の目標であった金属軸の内製化は達成でき、利益も上げてきています。また納期が短縮されたことにより、従来以上の受注にも対応できるようになり実機はフル稼働が続いています。

これら事業が千葉県に評価され年初には「千葉ものづくり認定製品 第139号」の認定をいただき、県からも製品の販路拡大の支援をいただいています。また、平成30年 国立科学博物館 より 未来技術遺産(重要科学技術史資料)として当社のカーボンロールが登録される運びとなりました。(第00251号)



内製化できた軸部品類

今後の展望

今後の展望として、より数多くの軸加工を内製化してゆくと共に、昨今からの電気自動車の増加に伴い、生産が活発化しているリチウムイオンバッテリー構成部品であるセパレーター製造装置向けカーボンロールが要求されているため、これら量産品向け

の軸加工をメインに実機を活用していきます。

また自動車レースのカテゴリーが欧州と共通になる見通しから、カーボンプロペラシャフト用の金属部品も現在の2.5倍程度に増産が見込まれているため、これら部品も手がけていきます。

社長・担当者から一言

社長 津覇 浩一

弊社は独自の製造方法であるクラッド法、バランス修正装置、つなぎ管方式を駆使し、軽量で高剛性、たわみの少ないカーボンロールを製造しております。鉄よりも強く、軽さは鉄の1/5というカーボンロールの使用用途は増々広がっており、近年ではリチウムイオンバッテリー構成部品のセパレーター製造装置にも使用されています。是非一度カーボンロールの可能性をお確かめ下さい。

担当者 佐藤 雅俊

弊社はカーボンロールをメインとして高精度な技術を有しておりますが、この技術を活用し、国内自動車レース最高峰GT-500レーシングマシンに搭載されるカーボン製プロペラシャフトも手がけています。弊社のカーボンプロペラシャフトを使用したマシンが4年連続で年間チャンピオンを獲得しております。社員一同プライドを持って仕事に取り組んでいます。

企業データ

【主な事業・業種】 製造業・カーボンロールの製造販売

【得意分野】 カーボンロール製造・販売

所在地：[本社] 〒270-0816 千葉県市川市本北方2-26-16

【事業実施場所】

〒270-1407 千葉県白井市名内342-3

T E L：[本社／事業実施場所] 047-491-3041

F A X：[本社／事業実施場所] 047-491-3040

E-mail：miyazawa@sunray-kouki.com

設 立：昭和44年10月22日

代表者：代表取締役 津覇 浩一

従業員数：35名

資本金：4,000万円

事業テーマ

パーティクルボード加工対応のあらゆる超硬チップソーに対応できる再研磨サービスの確立

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上（ブランド力の強化、顧客満足度の向上）
- ・効率の向上（サービス提供プロセスの改善）

本事業への取組みの経緯・目的

当社は、製材木工機・集塵・搬送装置設置販売・超硬刃物の再研磨を主な業として昭和47年に創業しました。その後平成3年にダイヤモンドチップソー、ダイヤモンドカッターの再研磨工場を立ち上げ、平成7年からは産業機械工具等を取り扱う小売店舗を併設し、現在に至っております。

創業当初は材木工機等の販売が主力でありましたが、時代の変遷とともに、超硬刃物の再研磨業務のウエイトが高まり、とりわけて、パーティクルボードや窯業建材、アルミサッシの工場で使用される刃物再研磨の依頼が増加しております。

加えて、近年においては、合板の種類の飛躍的な増

加、床下難材をはじめとする難切新建材発売、それに伴って刃物の種類、特殊形状の刃物が増加傾向にあります。

ユーザーにおかれては、摩耗・刃こぼれに迅速に対応する必要があり、かつ新品交換によるコスト負担を軽減すべく再研磨要請はますます高まってきております。

当社は、数少ない研磨事業者の中にあって、刃物メーカーと同等の研磨機械を保有し、ユーザーのニーズに添えてきましたが、さらなる研磨技術と生産性の向上、納期短縮、コスト削減、製品の高精度化を実現し、新素材の刃物修理にも対応する体制、付加価値の高い新たなサービスを提供する事業展開を目指していきます。

実施内容

【申請時における課題】

- ①パーティクルボード用、アルミサッシ用の再研磨ラインでは対応できる種類に限界がありました。
- ②保有している機械を複数台数利用することで対応していましたが、今後出てくる超硬（タングステンカーバイト）刃物の形状等に対応していくには限界がありました。
- ③パーティクルボード用、アルミサッシ用の再研磨ラインについてはシステムが古く、研磨データ一部を使用できるとどまり、今後ますます増加すると思われる特殊刃型の形状にフレキシブルに対応することが難しかったです。
- ④上記①から③の理由において生産性向上が大きな課題でありました。
- ⑤ユーザーのニーズ、新素材への対応、緊急オーダーへの対応に限界がありました。

上記課題を解決するため

- ①フォルマー社(ドイツ)製「チップソー研磨機 CHP840」を導入しました。

- ②さらに自動化システムと自社ノウハウをプログラムできる設備(10DX)の導入、蓄積データの活用を図りました。

- ③テスト運転の結果、ほとんどすべての刃型に対して1工程研磨を実証できました。



事業実施の成果

- ① タングステンカーバイド材質のあらゆる形状の窯業系材料加工用刃物に対応することが可能になりました。
- ② 新世代の多様性4軸CNC制御によりほとんどすべての刃型に対して1工程で研磨が可能になりました。
- ③ 多機能ハンドホイールにより操作が極めて容易になり、木材、アルミサッシ、プラスチック、各種金属のいずれにも対応可能となりました。
- ④ あらゆる刃物の再研磨に対応できるサービス体制が構築できました。
- ⑤ 関東支社中心の取引であったが、上記設備の導入により関東以外のエリア拡大の可能性が大きくなりました。
- ⑥ また、大手メーカーとの各種データ共有をすることで、広範囲かつ多様な顧客ニーズに応えられる体制を構築できました。
- ⑦ 本事業の遂行により、顧客満足の向上、自社ブランド力の強化、協力会社との連携強化を図ることができました。

今後の展望

本事業の成果について、既存顧客への販売のほか、業界大手企業からも同社顧客の再研磨を受けてほしい旨商談が持ち込まれており、受注の増加が期待できます。

また、当社主力エリアである関東以外の地域、愛知県、山形県などの遠方からもオーダーが来ています。

パーティクルボードの現状と今後の用途拡大については拡大する方向との予想が示されており、関連刃物研磨需要は増加していく見込みです。

これらオーダーに迅速にかつ広範囲に応えられる体制として、ホームページからの受注システムを整えていきます。

社長・担当者から一言

社長 内藤 泰司

当社は創業以来、「安く、早く、正確に！」を大事にやっております。高度な設備を整え、あらゆる超硬刃物、PCDダイヤ刃物の再研磨に取り組んでおります。これからも、お客様のニーズにお応え出来るよう頑張ってお参ります。宜しくお願い致します。

担当者 内藤 大介

社長の「安く、早く、正確に！」をモットーに、本事業により導入したフォルマー社製「チップソー研磨機CHP840」と当社ノウハウを組み合わせ、正確で早い刃物再研磨を目指して参ります。

企業データ

【主な事業・業種】 機械等修理業

【得意分野】 PCD ダイヤ刃物再研磨・超硬チップソー再研磨

所在地：[本社／事業実施場所]

〒289-1114 千葉県八街市東吉田125番地17

T E L：[本社／事業実施場所] 043-443-5261

F A X：[本社／事業実施場所] 043-443-5521

E-mail：naito-t@maruyasukikou.jp

設 立：平成3年2月5日

代表者：代表取締役 内藤 泰司

従業員数：7名

資本金：1,000万円

事業テーマ

切削加工のリードタイム削減による 送電線用特殊ボルトの増産計画

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] 精密加工

本事業への取組みの経緯・目的

*取引先からのニーズ

①特殊ボルトの増産化

需要が増え続けている送変電設備をより市場に普及させるため、増産依頼を受けています。

具体的数値としては月産20,000個を月産32,000個にしてほしいとの要求があります。

②高精度化

送電線設備用ボルトは安全にかかわる重要部品であるため、常に精度向上を図り、耐久性向上を目指し続ける必要があります。公差 $\pm 0.1\text{mm}$ というさらなる精度向上を実現することで、競合他社とさらなる差別化を図ります。

*自社の技術課題

①二度の切削加工

取引先要求の月産32,000個生産を達成するためには、生産プロセスの改善を図る必要があります。ボルトネックとなっているのは2度切削加工で5000個のボルトを一日掛けて加工しているため、二度切削加工を行うには2日も時間が必要になります。今後取引先の増産要求に応えるためには、切削加工のリードタイム削減が課題であります。

②自社の最適条件出しに対応できない現有機

現有の切削加工機では位置・速度制御に限界があるため、公差 $\pm 0.2\text{mm}$ 以下の精度を出すことができません。

実施内容

*実現させるための具体的施策

上記課題を解決するためには、最新型自動多目的切削加工機を導入し、その性能を最大限に活用するとともに、各課題に対して、以下を実施致しました。

①切削加工のリードタイム削減

最新型の多目的切削加工機は当社が造った凹み部分の加工条件を活用し、端面の切削加工と凹み部分の切

削加工を一度で行うことができるようになりました。

②切削加工のさらなる高度化

最新型の多目的切削加工機には、サーボモーターを搭載しているため、細かな位置・速度の制御が可能となりました。結果、寸法・外径共に公差 ± 0.1 を達成する見通しができました。



導入機械

導入目的
端面面取り穴明同時加工今後の挑戦
段引加工

事業実施の成果

*切削加工の時間短縮

導入した多目的切削加工機の活用により、切削加工にかかる時間が1個当たり約6秒(従来約12秒)まで短縮できました。

結果5,000個生産する際の切削加工にかかる時間を1日(従来2日)まで短縮できるめどがつかしました。

*切削加工の精度向上

多目的切削加工機の性能により加工精度が向上

し、寸法・外径共に $\pm 0.1\text{mm}$ を実現できました。

*特殊形状ボルトの増産

切削加工の所要時間が半減したことで、生産工程全体にかかる時間も、製品1個当たり12秒から6秒まで短縮できる見込みとなりました。

結果、月産32,000個(従来は20,000個)までの増産を達成できる見通しとなりました。

今後の展望

*さらなる技術力の向上

当社におきましては切削加工機の導入は初めての試みであった為、多くの戸惑いと失敗があった中で運用にたどり着くことができました。この導入を皮切りに複合旋盤やマシニングなどにも目を向け、更に難しく付加価値の高い仕事を冷間プラス切削という小ロットにおいて、最もコストがかからない方法で取り組んでいきたいと考えております。

*その他の使い方

高精度であり、しかも従来の切削加工機よりもストロークが長い為、名前の通り多目的な用途に使用することができます。単純な面取りから段付きの加工や、転造下径の加工も可能です。今まで外注していたこのような加工を自社に取り込むことで、その他の製品のリードタイム削減や品質向上に役立てていく予定です。

社長・担当者から一言

社長 岸田 隆行

冷間圧造と切削の組み合わせで、金型代と材料費を抑えた加工方法を提案することができます。また、納期管理においても自社内で一貫生産によるメリットが出せると思います。今後も切削技術を磨き、どんな仕事にもチャレンジしていける体制を構築してゆくことが私の目標です。

担当者 上木 拓也

カム機構による高速で安定した供給と排出、サーボモーターによる最適な切削加工を容易に設定が可能な切削加工機です。切削加工未経験の私でも今日まで問題なく運用出来ています。今後は更に加工時間の短縮と、ワークに応じた最適な切削条件を選定し、作業の効率を高めます。

企業データ

【主な事業・業種】 金属製品製造業 (ボルトの製造販売)

【得意分野】 長尺ボルト

所在地：[本社/事業実施場所]

〒272-0127 千葉県市川市塩浜2-18

T E L：[本社/事業実施場所] 047-395-2135

F A X：[本社/事業実施場所] 047-396-7605

E-mail：takayuki.kishida@t-rasen.co.jp

設 立：昭和37年4月8日

代表者：代表取締役 岸田 隆行

従業員数：30名

資本金：2,000万円

事業テーマ

自社ブランド潤滑剤の小型化と 潤滑性能の見える化による訴求力向上

[対象類型] 革新的サービス

[革新的サービスとの関連性] 付加価値の向上、ブランド力の強化、顧客満足度の向上

本事業への取組みの経緯・目的

当社潤滑剤のLSベルハンマーは、個人顧客層への認知度も着実に進んでいます。

メディアでの露出もきっかけとなり、ネット販売等での売上も増えており、ユーザーから高い評価を受けています。

しかし、一般家庭で使用するには既存の製品では価格も高くサイズも大きすぎて、『購入するのに躊躇する』や『使いにくい』との意見が個人ユーザーから多く寄せられておりました。

今後、LSベルハンマーのさらなる普及を見据えると、商品の小型化・低価格を進めてまずは手に取って試していただく必要があると考えました。

又、顧客へのアピール力を強める為に、LSベルハンマーの潤滑性能に数字的根拠を持たせる必要がありました。

そこで、自社ブランド商品であるLSベルハンマーの潤滑性能の見える化を実現することで、顧客へのさらなる訴求力向上を図っていくことを目的としました。

実施内容

(1)商品(スプレー)の小型化・2WAYキャップ金型の購入

既存の420mlよりも小型の100ml容器の製品化を実現します。

100ml容器は既存の420ml製品よりも手に取りやすく、また内容量も少ないため、個人顧客にとっても使い残しのリスクを減らすことができるメリットがございます。

また、キャップ部分に関しては、既存の420ml製品と同様に、2WAYキャップを採用致しました。

世の中の小型製品には、低コストで製造できる取り付け式キャップが広く採用されていますが、当社は敢えてコストのかかる2WAYキャップを採用し、自社ブランド商品に高品質・高級イメージを持たせることで、顧客への訴求力を強化します。

100ml容器で2WAYキャップを採用している商品は他に例がなく、製品化にあたっては新たに金型を購入する必要がありました。

そこで、外注先の金型メーカーに専用金型の製造を発注し、射出成形メーカーに支給することで製品化を実現致します。

(2)摩擦試験機の発注

2種類の摩擦試験機を導入

新たに高精度の摩擦試験機を導入し、LSベルハンマーの潤滑性能に数字的根拠を持たせることで、顧客へのアピール力を強めていきます。

これまで、他社製品との潤滑性能の差を比較する際には、実際に使用者自身に試用していただき、体感してもらうしか方法がありませんでした。

オーダーメイドで製作された高精度の摩擦試験機を利用すれば、摺動(前後移動)や回転における潤滑性能の違いを数字的に表記することで、自社ブランド商品の性能を正しく認識してもらうことができます。

①ベアリング・メタル用回転試験機

2本のタイヤを同じ力で回転させ、回転時間の長短を画面の秒数表示と回っているタイヤの実働を確認することで、潤滑剤の性能を実証します。

②スライド摩擦抵抗用試験機

他社製品とベルハンマーを同じ圧力や回数で2枚の金属を摩擦し、金属の摩耗の状況を確認することで潤滑性能を実証します。



2WAY キャップ仕様小型化スプレー

ベアリング・メタル用
回転試験機スライド摩擦抵抗用
試験機

事業実施の成果

・商品の小型化について

以前から個人顧客及び工場からの仕様多様化の要請があったスプレーの小型化により、取り回しが楽になり今まで届かなかった部位への使用が可能となり用途が広がりました。

一般家庭の使用者にとっては手に持ちやすく、使い勝手の良さが飛躍的に向上した上に価格も下がっていることから、今まで取りこぼしていた顧客層を広げ顧客満足度の向上につなげることができました。

世の中の小型製品ボトルには低コストで製造できる取付け式のキャップが広く採用されており、今回制作した2WAYキャップの製品は例がない為、高品質の潤滑剤の容器が使いやすいサイズや、仕様になったことにより、

他社製品との一層の差別化が図れました。

LSベルハンマーの小型化を実現させ、国内外の展示会などでサンプル品としてLSベルハンマーを配布しやすくなったことで名実ともに業界最高峰の品質を誇る潤滑剤として国内外にアピールしていくことが可能になり、LSベルハンマーのブランド力を強化することができました。

・摩擦試験機の導入について

高精度摩擦試験機の導入により、LSベルハンマーの潤滑性能の高さを明確な数値として表記できるようになったため、潤滑剤の販売促進にあたり、潤滑性能をさまざまな角度から検証でき、お客様が実際に性能を確認した上での購入に繋げることができました。

今後の展望

自社製品のスプレーは他にもラインナップがあるため他商品の小型化もいつでも可能となっています。

国内においては自転車競技、バイクレース関連等、各業界でのトップクラスでの使用や引き合いも増えつつあり、更に顧客層を広げられると見込んでおります。

また、近年では、とくにアジア太平洋地域やアフリカ諸国において急速な工業化が進んでおり、産業機械・装

置向けの潤滑剤需要が急速に拡大しつつあります。そうした市場動向を背景に、近年、アジア圏を中心とした海外から、LSベルハンマーに対する引き合いが増えております。

当社は、今年7月からタイでの販売を開始し、さらなるベルハンマーの性能を国内だけではなく海外へ向けて広め販路を拡大を目指しております。

社長・担当者から一言

社長 鈴木 豊

100mlスプレーでは日本で唯一の2WAYキャップを市場に投入できたことにより、高級潤滑剤としての評価が更に高まりました。

摩擦試験機によりベルハンマーの性能を客観的にユーザーに示すことが出来てます。

担当者 上遠野 伸枝

本事業によりこれまでに例のない2WAYキャップ仕様の小型スプレーを商品化することで顧客層も増え、弊社商品を手に取っていただいたお客様が増えたのをうれしく思います。

潤滑剤に限らずお客様のご要望・ご期待にお応えできるサービスを今後も開発できるように努力してまいります。

企業データ

【主な事業・業種】 業務用機械器具製造業・ベルハンマー（潤滑剤）の製造販売

【得意分野】 オーダーメイド産業用自動機械の設計・制作

所在地：[本社／事業実施場所]

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台316-3

T E L：[本社／事業実施場所] 047-385-5311

F A X：[本社／事業実施場所] 047-385-5313

E-mail：info-new@suzuki-kikoh.com

設 立：昭和51年7月31日

代表者：代表取締役 鈴木 豊

従業員数：13名

資本金：3,000万円

事業テーマ

CNC旋盤導入による 腹腔鏡下用巾着縫合器の早期製品化

[対象類型] ものづくり技術

[ものづくり技術との関連性] デザイン、精密加工

本事業への取組みの経緯・目的

内視鏡下外科手術は、従来の開腹手術に比べて、患者の体への負担(侵襲)が少なく入院期間も短いため早期の社会復帰が可能で、医療費の抑制にも効果があり、近年では、病気の進行度により外科手術が必要となった際の第一選択になりつつあります。しかし、医師にとってはより高度な技術が必要となるため、それを支える医療機器の開発が不可欠となってきます。

当社では、長年の精密機械部品や金型の製造で培った精密加工技術を活かし、使用後に洗浄・滅菌して再使用する内視鏡下外科手術用器具を開発し、製造してきました。特に、医師から直接ニーズを受け、そのアイデアを取り入れつつ、自社の有するデザイン開発・精密加工技術を基盤に新規性・独創性のある手術器具を開発・製品化するという『医工連携』に取り組んできました。2011年に外科医と共同開発した低侵襲手術用鉗子「細径鉗子 Endo

Relief TM」(特許5663088号)は時代のニーズをうまくとらえヒットし、大学病院、国公立病院をはじめ日本国内約400病院で使用されています。また近年では、韓国・台湾にも輸出をしています。開発した製品は、日本内視鏡外科学会をはじめとした総会や研究会でその有用性が高く評価され、性能面・価格面において優位性が認められています。

今回製品化を目指した「腹腔鏡下用巾着縫合器」も、外科医から直接開発依頼がありました。腹腔鏡下胃切除術における胃を全摘出した後の食道と空腸(小腸)の吻合を、開腹手術で定型化している環状ステーブル吻合器を用いた手技で行えるようにしたいといった要望です。2011年に製品化して以降改良を重ねましたが、手術中に執刀医が製品を組み立てる必要があるため確立した手技には至っておらず、さらなる器具の形状の改善や操作性・安全性の向上が必要でした。

実施内容

「腹腔鏡下用巾着縫合器」は、人体に一時的に挿入する器具のため、製品の安全性及び品質の安定性に関する要求水準が高く、想定されるあらゆるリスクに備えた安全設計が必須となります。また、手術の低侵襲化が進み、部品1つの大きさは1mm以下のものから数10cmと幅が広く、形状もより複雑になります。

製品化に向けた具体的な取組みとしては、以下の2点になります。

- (1)製品の安全性、操作性の向上を実現するために、既製品から製品形状・仕様を見直し、手術中に器具を組み立てるという手間をなくし手技の簡素化を目指す。
近年増加している食道胃接合部癌への対応として器具先端が屈曲するようにし、手術の低侵襲化へ

の対応としては、先端部品をコンパクトにすることで組み立てる必要をなくし5mmトロカールから挿入できるようにしました。

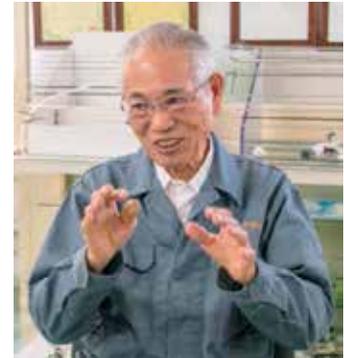
- (2)品質の安定性を実現するために、高精度複雑形状加工が可能な新規CNC旋盤を導入し、製品の高機能化を目指す。また、段取時間の削減、加工精度・加工速度の向上により生産を効率化し、短期間で製品を完成させ市場へ出すことを目指す。

CNC旋盤を新規に導入し、高精度複雑形状の加工、段取時間の削減等が可能となりました。精度・加工速度が向上したことにより生産の効率化を図ることができ、満足のいく製品を製造することができました。

事業実施の成果

本事業で開発した「腹腔鏡下用巾着縫合器」は2017年4月に完成し、共同開発した医師が、日本消化器外科学会総会などで器具の有用性について発表しています。胃全摘術において開腹手術から腹腔鏡手術へ発展させる際に最も難易度が高い「食道空腸

吻合」を、開腹手術と同じ手技で簡便に行える器具は他になく、食道空腸吻合手技の標準化ができれば腹腔鏡下胃全摘術がさらに安全に行えることに繋がると期待します。



フレキシブル EDDO-PSI 先端部

平田社長

今後の展望

2018年2月にテレビ東京系列「和風総本家スペシャル〜ニッポンの医療現場を支える職人たち〜」で、「名医と職人の絆」、「日本で初めて内視鏡手術用鉗子を製造した職人」として、当社が紹介されました。同番組の中で、聖マリアンナ医科大学東横病院院長の宮島伸宜先生より、「自分が望む手術をするために、平田さんと平田さんの会社がなくては手術がうまくいかない。そう思っている内視鏡外科医

はたくさんいます。感謝しかないですね。」とお言葉をいただきました。

第一線で活躍する医師の「こんな器具が欲しい」という多様化・高度化する声に応えるべく、本事業により導入された設備並びにこれまでに培ってきた精密加工技術と少量生産のノウハウをより一層融合・発展させ、ものづくり企業として『医工連携』による手術器具を引き続き開発してまいります。

社長から一言

社長 平田 稔

世界中の顧客のニーズと期待に応える品質で、信頼と満足を与える製品を開発・製造し、これからもより一層社会に貢献してまいります。

企業データ

【主な事業・業種】 機械器具製造業・医療機器製造販売業

【得意分野】 内鏡視下外科手術器具の製造販売

所在地：[本社] 〒272-0832 千葉県市川市曾谷7-9-13

【事業実施場所】

〒273-0128 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山2-10-17

T E L：[本社／事業実施場所] 047-386-2101

F A X：[本社／事業実施場所] 047-386-2102

E-mail：hiratapr@bolero.plala.or.jp

設 立：昭和44年4月1日

代表者：代表取締役 平田 稔

従業員数：13名

資本金：1,000万円

事業テーマ

コンパクトでプライバシーに配慮した 介護専用おむつ交換車の試作品開発

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上(新規顧客層への展開商圏の拡大、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、IT利活用(I))
- ・効率の向上(サービス提供プロセスの改善、IT利活用(II))

本事業への取組みの経緯・目的

1. 今までの経緯

当社は、理容、美容器具製造業として美容院用チェアやワゴン・エステティック器具などの製造を手掛けてきました。商品構成が近い医療にもターゲットを広げ、現在は当社の売上の2割にまで伸ばしてきました。

しかし、商社を通しての販売は利幅が薄く、直接販売が出来る新規市場を開拓したいと考え、今後市場の拡大が見込まれる介護関連施設にターゲットを絞り「介護専用おむつ交換車」の試作品開発、製品化による新市場開拓に挑戦していく為に本事業にエントリーし採択事業として取り組みました。

2. 本事業の目的、狙い

病院や老人ホームなど介護の現場では、身体が不自由でトイレに行くのが困難な方にはおむつをしてもらっていますが、入居者でも健常な方にとってはプライバシーの観点からもおむつ交換がストレスとなります。

特に、大部屋に入っている人は、周囲の人におむつをしていることを知られたくない、少なくともおむつ交換は目立たずにしたいという思いは切実です。そこで、本事業では臭い漏れを防ぎ、素早いおむつ交換に役立つコンパクトでプライバシーに配慮したユーザーのストレスを軽減する「おむつ交換車」を開発します。

試作品開発に当たっては、これまで蓄積してきたニーズ情報(軽量化・コンパクト化、汚物処理の密閉化と衛生配慮、収納棚や扉の工夫、目立たない、ほかの用途と見た目が変わらない)を踏まえ開発を進めます。



一般的な
医療用おむつ交換車



医療用おむつ交換車
(当社)

実施内容

1. 試作品の開発：

作成するおむつ交換車の仕様について協議、決定

2. 図面作成：

おむつ交換車本体、その他パーツ図面作成

3. 材料発注、入荷：

材料の発注及び入荷

*③一部開発段階での設計では強度不足が発生することがわかり設計変更

4. 試作品の設計変更：

アルミ素材を使用したおむつ交換車の当初設計では強度不足が発生することが判明、設計変更

5. 試作品の完成：

コンパクトタイプ木製おむつ交換車…………… 5種類

ワイドタイプ木製おむつ交換車…………… 5種類

コンパクトタイプアルミ製おむつ交換車…………… 5種類

ワイドタイプアルミ製おむつ交換車…………… 5種類

合計20台完成

6. 試作品の動作テスト：

完成したおむつ交換車の動作テストを実施

7. 試作品評価・検証：

試作品の評価・検証のために千葉県内介護施設により使用テストを実施

8. アンケート分析：

介護施設による使用テストの結果アンケートを実施、アンケート結果の分析

——アンケート分析の結果——

○おむつ交換車の重量を軽くするためにフレーム素材を再考

○汚物格納スペースが少ないとの指摘に対して汚物収納部の大きさを再考

○引き出し収納全体の仕様を再考

○汚物パッキンの必要性のアピール方法を検討

○引き出し収納部のロック機能を再考

*アンケート結果を踏まえ製品の改良を加え「介護専用おむつ交換車」を完成させます。



コンパクトタイプ 木製おむつ交換車 コンパクトタイプ アルミおむつ交換車
 ワイドタイプ木製おむつ交換車 ワイドタイプアルミおむつ交換車

事業実施の成果

平成26年より「介護専用おむつ交換車」の研究を実施、本事業におきまして研究により得た情報を基に試作品の開発を行いました。完成した試作品を介護施設におきまして使用頂きアンケートを

実施、今後アンケート結果を基に試作品の完成度を高め製品化に向け準備を開始します。

又、本事業で申請した知的財産権(実用新案・特許)も取得でき、知財に対する意識も向上できました。

今後の展望

今後も、アンケート結果等を踏まえ、「介護施設専用おむつ交換車」の改良を進め、より一層使用者の満足度を高めてまいります。

平成30年11月に開催される医療・介護展示会「2018 HOSPEX JAPAN」への出展を

計画しており展示会にて製品のデューと販売を開始する為に準備を進めています。

又、ECサイトの構築による介護向け販売サイトの立ち上げ、直販ルートの開拓・整備等を充実させ販売強化を進めてまいります。

社長から一言

社長 西村 康明

当社は、理容器具の製造販売から創業し、現在では理容・美容関連製品の製造販売から医療器具の製造販売へと取扱品目を増やし今日に至っています。

会社の新しい道を開くために「ものづくり補助金」にチャレンジしたことは経営者としての見聞を広げ本事業に共に努力してくれた社員一同に対して、会社の新しい道を示すことができ有意義でした。

本事業中、何度も挫折し諦めかけましたが、周りの力添えで最後まで到達できました。これからもものづくりの原点を見据え、社員一同プロフェッショナルになるべく努力していく所存です。

企業データ

【主な事業・業種】 理容・美容器具製造販売及び医療・介護器具製造販売

【得意分野】 製品企画から設計製造まで自社を中心に一貫で完成ができること

所在地：[本社/事業実施場所]

〒283-0823 千葉県東金市山田242-1

T E L：[本社/事業実施場所] 0475-55-1370

F A X：[本社/事業実施場所] 0475-52-3391

E-mail：info@nishimura-mfg.jp

設 立：昭和35年7月21日

代表者：代表取締役 西村 康明

従業員数：15名

資本金：1,000万円

事業テーマ

展示ブースの3Dシミュレーターの導入による 新規出展者向けサービスの展開

【対象類型】 革新的サービス
【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上(新規顧客層への展開、独自性)
- ・独創性の発揮、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化、IT利活用(Ⅰ)
- ・効率の向上(サービス提供プロセスの改善、IT利活用(Ⅱ))

本事業への取組みの経緯・目的

当社は、長年アミューズメントパークやTVスタジオで用いられる特注の金物製作、看板やスチール什器の製造、オブジェや各種インテリア金物の製作等、ディスプレイ関連の金属加工を業務として行ってきました。

さらにまた、複雑な金物製作やデザイン重視の作業経験を生かした総合的なディスプレイ業を行っており、今日は主体業務となっております。

例えば新製品の発表・販売促進・会社情報発信を目的とした展示会ブースの装飾工事、商業施設の設計、ショールーム・プレゼンテーションエリアの企画・施工などを行い、クライアントのご要望に合わせたディスプレイ制作を行っております。また軽くて丈夫、持ち運びに便利、組み立てが簡単、そういったクライアントのご依頼を形にした独自のオリジナル展示什器の製造も行っております。

当社が手がけるディスプレイ製品は独創性やデザイン性、ひときわ目立つハンドメイドにこだわったクライアントの声を形にしたものが製品の特徴です。

初めて展示会への出展、またはノウハウや経験が少



ないクライアントの場合、完成イメージを共有しにくく、打ち合わせを進めるのも困難な場合が多々あります。

そこで今回の補助事業では打ち合わせを行いながら同時進行で導線も含め展示会当日の会場を具体的にイメージ出来る、展示会ブースのリアルタイム3Dシミュレーションプログラムの開発を行いました。

合わせて大きなデータ量のシステムプログラムを瞬時に稼働するカスタマイズされた3Dシミュレーション専用PCの導入も行い、展示会ブースを進めるにあたっての多くのロスのカットすることにいたしました。

実施内容

展示ブースのリアルタイム3Dシミュレーションプログラムのユーザーインターフェイスはクライアントと打ち合わせを行いながら操作できるよう出来るだけわかりやすく容易な画面に設定され、3Dの形状を瞬時に変更できるようゲームエンジンを搭載してプログラムが開発されました。

3画面ビューの配置やビューの切り替え、マウスによるカメラアングルの移動、画面のリサイズ等はこの展示ブースシミュレーターだけの独自のプログラムで開発されています。

展示ブースの基本ベースになる大きさや壁面形状のパターンはあらかじめ保存されているプログラムデータから呼び出して、展示台、受付カウンター、応接セット等を適切に配置していきます。

素材オブジェクトの入れ替え及びオブジェクトのカラーの切り替えもワンタッチ操作で行えますのでブースイメージが瞬時に変わります。

展示会ブースの3Dシミュレーターを使用することにより、実際にブースの中を見て歩いた感じになり展示会当日の会場をより具体的にイメージすることが可能になりました。クライアントと初期の打ち合わせ段階で展示ブースのイメージをお互いに確認することが可能になり、認識の食い違いを回避することにより一層の具体的な打ち合わせに移行することが可能になりました。

初期段階でのロスをなくすことでより高いデザイン性や機能性、インパクトのあるブース作りが可能になり費

用対効果もアップすると期待しています。現在この展示会シミュレーターを最大の営業ツールとして営業展開を始めております。



事業実施の成果

営業力アップを図っていききたいとの考えから導入した展示会ブースシミュレーターですがおかげさまで営業において大いに活躍しております。初期の段階でイメージを持っていただくことで打ち合わせで間違いが少なくなったのと商談成立の割合が高くなりました。

展示会ブースの装飾業務を行う会社は多数あります。内装業者や木工業者、広告業者や代理店など含め大小様々です。

例えば小規模の業者ですと完成度やデザイン性が乏しかったり、大手の広告代理店や装飾代理店ですと、どうしても多くの物件をこなす必要があるため、下請け会社に業務を委託するなどしてどれも同じような展示ブースになりがちです。

せっかく出展してもブースが目立たなかったり、イメージのポイントがずれていたり、独自性が失われがちになるということをよく耳にします。

今回独自に開発したシミュレーションシステムの活用で展示会ブース製作において最も重要であるレイアウトとゾーニング作りのスピードアップ及び精度が向上し、シミュレーション上におけるデザイン制作も可能になりました。シミュレーターと合わせて一貫して自社で企画、設計、デザインし、また自社工場での製作、現場施工、監理を行いますので出展されたクライアントにとって満足度の高い最大効果を引き出すブース作りを行っております。おかげさまでクライアントのリピート率は上昇しました。

今後の展望

シミュレーターを使った営業を進めていくなかでの新たな展開ですが、最近ではVRコンテンツ制作や映像制作依頼の話も入ってきました。当社の業務は総合的ディスプレイ業ですので、イルミネーションやライトアップ、プロジェクションマッピング等の電飾工事、大型モニターやプロジェクター、マルチビジョンの設置等も行ってあります。

今回をきっかけとしてAV設備を導入されるクライアントから今のトレンドに合ったコンテンツや動画制作の依頼をいただくようになりました。

当社は建売住宅ではなく、「こだわりを持った注文建築」とでもいうクライアント独自のデザインング展示ブース作りを売りにしてきました。

しかしまだ目にしないもの、お金をかけて作る完成品が全く見えない状況では人は不安になります。ましてや企業が大きな費用をかけて出展する展示会ブースでし

たらなおさらです。

未来を体感できるVR技術を使い開発した展示会ブースシミュレーターは、大道具・小道具、催事場装飾の延長で伸びてきた展示会・ディスプレイ業界に新しい風を送るものだと実感しています。そして利用範囲はこれからさらに大きくなり、営業成果に結びつけていく計画を立てています。

今後は展示会ブースシミュレーターの導入で他社との差別化、セールスポイントの明確化を図り、営業スタッフの増員、売上アップを目指していきたいと考えています。

当社はこれからも獨創性、デザイン性、独自性をPRし、海外取引も含めた幅広い営業窓口を展開して行きます。

そして今後は一層精度を上げて、AIを含めたシミュレーターのバージョンアップを図っていくことを考えています。

社長から一言

社長 山田 稔

町工場に囲まれ、ものづくりの音の中で私は育ちました。華々しい大阪万博や自動車ショーは遠い日の憧れでした。

積極的に新しい技術を取り入れたもの作り、サービス業務に取り組んでいきたいと考えています。

今回の補助事業を通して数多くの技術を体験することができました。また、多くの人々とめぐり合うことができ、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

またこれから展示会へ出展をお考えの企業様、デザインやディスプレイにご関心のある方はお気軽にご連絡いただきたいと思います。ありがとうございました。

企業データ

【主な事業・業種】 ディスプレイ業・展示什器の製造販売

【得意分野】 展示什器の製造

所在地：【本社】〒104-0061 東京都中央区銀座4-14-15

【事業実施場所】

〒289-1144 千葉県八街市八街ろ88-125

T E L：【本社】03-6264-1958 【事業実施場所】043-444-7666

F A X：【本社】03-6264-1948 【事業実施場所】043-444-7676

E-mail：shift@shiftup.co.jp

設 立：昭和63年5月11日

代表者：代表取締役 山田 稔

従業員数：5名

資本金：1,000万円

事業テーマ

金属加工のIoT化によるコスト削減と自動化、新加工分野進出

【対象類型】 ものづくり技術

【ものづくり技術との関連性】 精密加工、機械制御、測定計測

本事業への取組みの経緯・目的

1. 技術の伝承が課題

2008年のリーマンショック以前より、10年計画で若手技術者の育成に励んできました。その結果、若手技術者は多くなり若手中心の体制となりましたが、精密加工を支えている50歳代と60歳代の技術者と比較すると技術力は低いです。

このノウハウを次世代の技術者に継承することが課題であります。

2. 支給材料の品質低下、

及び品質のばらつきへの対応力向上が課題

海外製の金属原材料は国産原材料と比較すると成分・硬度が一定せず切削しにくいものです。一つの部材に100ヵ所以上の穴をあける加工を請け負うことが多く、粗悪な材料では特性に応じてロボット(横中ぐり盤及び縦旋盤)の加工条件設定を作業中に変更する必要があります。現状では熟練者が刃物が破損しないように自動運転機能付きにも関わらず手動モードで切削しております。

これを経験のない作業員でも、刃物が破損しないよう、更には夜間でも無人運転できるようにする事が課題であります。

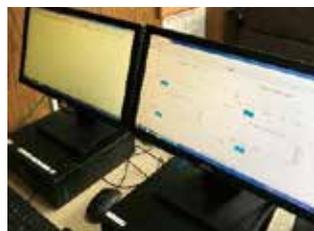
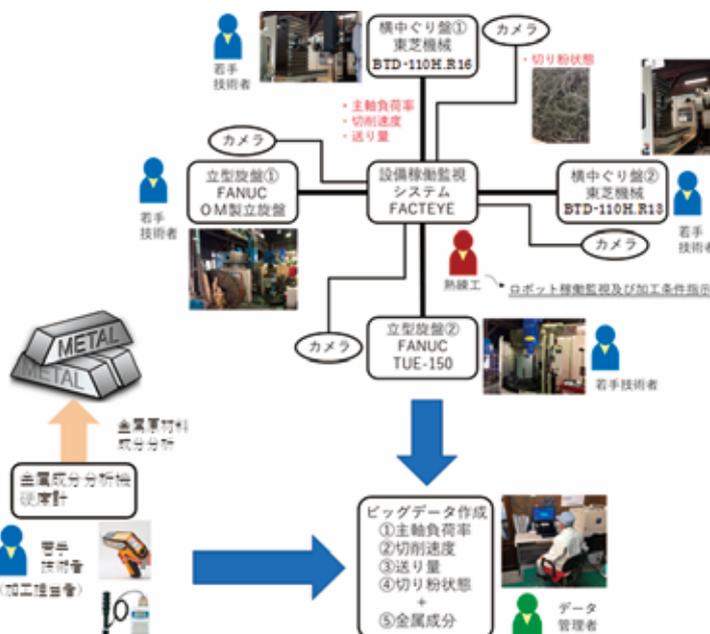
実施内容

金属材料の成分分析と加工ロボットのIoT化により、加工データを収集してビッグデータ化を図り、材料に応じた加工条件を見出すことで、職人が確認しながら行っている作業の完全自動化を目指すためシステムを構築しました。

更に最新型の加工ロボットを導入したことにより、加工時間の短縮、刃物寿命の延長を目指します。これにより上記④の課題を一気に解決させます。

補助事業で購入した機器

- ① テーブル形横中ぐりフライス盤
- ② 設備稼働監視システム
- ③ 携帯型成分分析計
- ④ ポータブル硬度計



カメラ、機械で削った切粉の状態を観察できる。

事業実施の成果

- 1) 設備稼働監視システム導入により、熟練工がシステムのモニターを見ながら複数の若手作業者に加工指示を出すことで、経験の浅い技術者のレベルアップを可能とし、加工時間の短縮を確認しました。
- 2) 金属成分分析機と硬度計の導入により、成分と硬さのばらつきを確認できました。特に硬さについては、数値の差が非常に大きく加工に影響を与えている事がわかりました。今後データ収集を続け更なる分析を致します。
- 3) 最新型の加工ロボットを導入したことにより、大幅に加工時間の短縮及び刃物寿命の延長を確認できました。30年前の加工ロボットと比較すると加工時間が1/4になり、更なるスピードアップを目指します。
- 4) 建機産業に進出しました。加工時間の短縮により、作業枠が拡大したので、新規案件の受注に成功しました。

今後の展望

【技術の伝承及び熟練工の育成】

今回の取り組みを通して、熟練工の属人的な“経験”や、加工における“勘”といったこれまでは形にすることができなかった加工ノウハウを数値で表すことができるようになることがわかりました。今後の取り組みとして、技術の数値化により、技術の伝承に役立てていきたいです。

【海外製金属材料の夜間無人加工】

今回の取り組みの最終目標のひとつであるビックデータにした後、加工前に成分、硬度を測定し、それに合致する切削条件をプログラムに入力し、無人化運転への道筋が見えました。

【新規金属材料加工分野への進出】

今回の取り組みで得た技術により、新しい金属材料製品の加工に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

ターゲットとする材料は当社にとって新分野となるインコネル及びチタンであります。これらの材料は難切削材であり、当社の技術力向上のためにチャレンジしたいと思えます。

【研究機関との連携】

当社において蓄積したデータを研究機関に提供することにより技術発展に貢献できないか、と考えています。逆に、研究機関から、依頼を受けて金属の切削及び、データ収集を行うことも可能です。

社長から一言

社長 村上 清

当社の熟練技能者は優秀です。しかしながら、若い作業者が彼らの技術を受け継ぐことは容易ではありません。この事業計画は、若い作業者がいかに熟練技能者の技術を理解し実践できるシステムにしたいと考え作成しました。

若手技術者が熟練技能者を超えてくれることを願っております。

企業データ

【主な事業・業種】 製造業・金属加工の製造販売

【得意分野】 大物の金属加工

所在地：[本社／事業実施場所]

〒285-0812 千葉県佐倉市六崎560番地

T E L：[本社／事業実施場所] 043-485-2384

F A X：[本社／事業実施場所] 043-485-9603

E-mail：murakami@ms-maching.co.jp

設 立：昭和47年4月9日

代表者：代表取締役 村上 清

従業員数：15名

資本金：1,000万円

平成24年度

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 採択事業者一覧(全187件)

1次公募第一次締切分(5件)

NO	申請者名称	事業計画
1	有限会社西原電子	リアルタイムでのレーザ光量測定センサ及び良否判定装置の開発
2	株式会社木山製作所	地熱発電効率を向上させるタービンの開発
3	三井電気精機株式会社	DNA断片化装置の試作開発
4	株式会社神戸工業試験場	分析データ処理の高度化における共通プラットフォームの開発
5	株式会社昭和電業社	モータと機械制御用組込ソフトで高機能開発用・低コスト・容易操作ツールの開発(プログラミング/シミュレーション統合型)

1次公募第二次締切分(72件)

NO	申請者名称	事業計画
6	株式会社ラインワークス	多目的溶接(溶接口ポット搭載型、溶接トーチ搭載型、高所作業用)支援装置の開発
7	林時計工業株式会社	マイクロ波電力素子組立における新技術開発
8	OST株式会社	集束超音波用ファントムの試作開発
9	株式会社関鉄工所	難削材におけるテストピース加工
10	株式会社ニッチュー	動力伝達部品長寿命化ショットピーニング処理効果実証技術の確立
11	株式会社ファソテック	生体質感造形と3Dモデリング技術を用いた胸腔鏡・胸郭モデルの商品開発
12	株式会社大西熱学	自動車エンジン試験に使用される省エネ対応で、低湿度の吸入空気供給装置の試作開発
13	ニホンハンダ株式会社	電子部品実装用導電性接着剤の低価格化
14	ヨシザワエルエー株式会社	次世代型医用画像診断装置(SPECT)用の大型鉛コリメータ試作開発
15	しのはらプレスサービス株式会社	「融合プレス加工法」の実用化を目指して行う難加工製品の試作開発
16	株式会社オブティ	プリント基板実装用高耐熱・長寿命レーザはんだ加工ヘッドの量産化に向けた製造装置の開発

17	株式会社藤井製作所	切削加工と3次元計測の効率化による粒子線がん治療用器具の短納期化開発
18	株式会社プロテイン・エクスプレス	プレバチルス菌を用いた有用タンパク質の高品質製造技術の開発
19	日機電装株式会社	ムービングマグネット方式の高精度サーボモータ制御システムの開発
20	ナブソン株式会社	高速/高精度のウエハー平坦度測定装置の試作開発
21	株式会社みらい	人工光型植物工場における機能性野菜の生産技術と試作品の開発
22	エム・エム・プラスチック株式会社	給湯器運搬用木製パレットのプラスチック化検討開発
23	株式会社エーディエス	文化財用大型スキャナ及び表示システムの試作開発
24	株式会社トリマティス	近距離大気/ガス計測のための超小型ライダーの開発
25	株式会社エヌ・シー・エス	高性能・高耐久性の工作機械用軸受部品の試作品開発及びテスト販売事業
26	株式会社竹中製作所	既存膜式ガスメーターのスマートメーターへの改造開発
27	株式会社新上	自社製品の強化による楽器関連市場の開拓
28	フィーサ株式会社	高精度バルブゲートシステムの開発
29	株式会社アイ・メデックス	優れたパルスオキシメーター用プローブ開発
30	株式会社新領域技術研究所	MRI(超伝導断層画像装置)用HCS(ヘリウム循環装置)の開発
31	有限会社石田製作所	小物精密部品受注増を目的とするNC旋盤導入による生産効率化
32	株式会社メイプルバイオラボラトリーズ	筋肉疾患診断薬及び筋ジストロフィー症診断薬の開発
33	株式会社昭和精機	超精密研削加工に向けた設備機の増設・環境整備及び測定機器の導入
34	鎌ヶ谷製袋株式会社	エア一式製袋ヒートシール検査装置「けんさくんII」の開発事業
35	有限会社協和デンタル・ラボラトリー	CAD/CAMを用いた歯科技工物の新素材対応、及び、歯科技工のデジタル革命への準備
36	東和パーツ株式会社	外部エネルギーを使用しない、ブレーキ機能付きヘリカルインターナルギヤードモーター(以下ハスパギヤードモーターとする)の開発
37	株式会社河野製作所	低侵襲医療を実現する眼科用前囊切開刀の開発
38	株式会社樋口製作所	フェルフィラーヒンジのインライン自動検査装置の開発
39	船橋電子株式会社	モーター整流子製造方法のワンストップ化
40	赤星工業株式会社	チタンの表面研磨における最適作業条件の研究開発
41	株式会社平和化学工業所	植物由来プラスチックを利用した環境配慮型包装容器の製造技術開発

42	京葉ベンド株式会社	2次元ファイバーレーザーパイプ切断機及びレーザー切断機を組み込んだパイプベンダーシステムの新規開発
43	フルトラム株式会社	ロボットに替わる、内視鏡手術の支援デバイスの開発
44	株式会社ヤマトマネキン	ローコスト軽量金型を用いたディスプレイ器具の国内一貫生産体制の構築
45	株式会社フッカクローム	炭素繊維を使用したロール上のめっき技術開発と試作研究
46	株式会社精工技研	微細形状による反射防止機能を有する光学成形品の事業開発
47	プログレッシオ合同会社	半導体製造装置向けグリースレス振り子式真空バルブの開発
48	株式会社エイ・オー・テクノロジーズ	新情報処理原理のプロセッサによる画像物体位置検出装置の試作開発
49	株式会社いしだ屋	電子レンジ対応包装袋開発事業(電子レンジで調理や再加熱の可能な袋を開発)
50	株式会社ニチオン	腹腔鏡下ニードルデバイスの開発
51	有限会社日本クレセント	心房細動治療用電極カテーテルの操作性向上に資する製造プロセスの確立
52	コスモテック株式会社	新たな部材の結合技術による防災・備蓄倉庫の開発及び販売
53	小澤産業株式会社	橋梁免震及び落橋防止装置製作における製造コスト削減及び高効率化による工期短縮事業
54	株式会社寺田本家	酒粕・麴でおいしく楽しく元気に発酵生活を
55	エスケイ工業有限会社	バイオマス暖房機燃料用木質チップ乾燥機(遠隔制御機能付き)の試作開発
56	岡本硝子株式会社	3D形状のスマートフォン用カバーガラスの成型金型の開発
57	ケーイーエフ株式会社	射出成型によるバリ無しインクジェットプリンター用ゴム製品の開発および量産技術の構築
58	菊川工業株式会社	摩擦攪拌接合を使用した高意匠建築用内外装金属製品の試作開発と事業化
59	株式会社カトー	高い強靱性を有する高耐摩耗性大型鋳鉄部品の試作開発と事業化
60	株式会社関根産業	バイオマスの高速メタン発酵システムの試作
61	株式会社マーキュリーシステム	2D映像を3D映像に自動変換するセットトップボックス(STB)の開発
62	株式会社トーテック	難めっき材、チタンへのめっき加工
63	株式会社イワサテック	汎用NC工作機による山歯ポンプローターの製作
64	株式会社KHK野田	材料の残留応力を低減した加工方法により低コストで高精度歯車の生産体制を構築
65	株式会社吉野機械製作所	業界初、省電力・汎用型最新サーボプレスブレーキの開発と量産化への対応
66	株式会社鈴木ラテックス	挟持部ずれを生じ難くした樹脂製の風船用クリップ

67	東京ケミカル株式会社	新製品開発のスピードアップ(コストダウン)並びに小ロット短納期品対応型テストコーターの製作
68	株式会社セリッシュエフディー	大腸菌発酵による高純度人工増殖因子ペプチドの試作開発
69	三立機械工業株式会社	操作の安全を目的にした油圧式アリゲーターシャーリング
70	株式会社阪上製作所	複合旋盤導入による試作品製作効率化・短納期化と、それによる量産品受注増の実現
71	株式会社大同工業	治具を活かし蝶番金物を溶接ロボットと連動させて高精度に取り付ける試作装置
72	株式会社国際情報ネット	「模造品流出防止に資す新しい考え方」による真贋判定システムの市場への提供
73	株式会社藤井製作所	特殊銅合金の細線材加工を可能にする為の細線材熱処理技術の開発
74	有限会社エスエヌ金型	小型対向液圧成形装置の試作開発による高精度金型の実現
75	株式会社アーティエンス・ラボ	世界初「動く3Dカラーホログラム」ハンディライト型の製品開発及び実用化
76	タクボエンジニアリング株式会社	モバイル機器向け塗装外観検査装置の試作開発
77	株式会社インスマタル	高速パレットチェンジャー導入における大口受注獲得及び夜間無人運転計画

2次公募分(110件)

NO	申請者名称	事業計画
78	有限会社保坂プレス工業	レーザー加工装置を導入した板金製品生産プロセス革新による事業拡大
79	有限会社ヨシカワ	多種一品生産の短納期化を目指した高付加価値加工システムの構築
80	内外マリアブル株式会社	グラインダー作業、バリ取り作業の自動化及び試作開発を行い工数削減・品質向上で新分野の開拓を行う
81	ユニーク株式会社	エポキシ樹脂接着剤を用いた老朽構造物の耐震改善工法の開発研究
82	株式会社マイクロテック・ニチオン	細胞応答を可視化するマルチシグナル同時計測用高感度ルミノメーターの開発
83	日本機材株式会社	焼結部品の酸化被膜処理にかかる特性改善と量産短納期化
84	中島精管工業株式会社	β チタン材シームレス素管の開発と連続伸管引きによる低価格精密管製造
85	株式会社コスメテリアルズ	製品品質の向上、滅菌時間の短縮を可能とする高圧蒸気滅菌プラントの導入
86	株式会社平田精機	「細径鉗子 Endo Relief TM」の輸出
87	福井電化工業株式会社	バレルめっき工程の改造およびめっき条件の最適化

88	株式会社モニタリングサービス	弾性波を用いた非破壊検査における杭、地盤改良の健全性試験装置試験の開発
89	東製株式会社	BIB全自動充填機における型変え可能なピンホール発生リスク低減ケーシング機構開発
90	最上製作所	高性能なエアベリングの試作品開発並びに加工工程の集約・単納期対応ラインの構築
91	株式会社ナフタック	有機導電材料を使用した、電力ロスの小さな過電流保護デバイスの試作開発
92	株式会社森川製作所	精密加工機導入によるガラスレンズ成形用金型部品の高精度化と短納期化
93	株式会社サヤ	津波センサの生存能力の低さを克服したインフラサウンド津波センサの開発
94	東新理工株式会社	難削材における複合加工の実現と試作開発の効率化
95	株式会社ヒロプラス	蓋の開放と噴霧動作を同時に行えるスプレーキャップの開発及び関連市場の創造
96	ロック技研工業株式会社	次世代大型タッチパネル用ITO成膜技術と巻取式真空成膜装置の開発
97	エーベル・バイオクリーン株式会社	油脂の酸化防止の開発—酸化防止剤を使わずに消費期限を延長する新製法の確立
98	アサヒサーマルラボ株式会社	新型管状炉の開発
99	株式会社大樹	プラスチック成形加工の一貫生産体制の確立と顧客要求に応える生産技術革新
100	株式会社美山	消費者の多様なニーズに合わせたキムチ(伝統発酵食品)開発の高度化(高品質化・低コスト化)
101	藤澤鋼板株式会社	鋼板矯正(レベラーカット)における品質向上計画
102	株式会社恵比寿加工	高品質なクリーン精密塗工製品の開発と品質検査能力の強化
103	三徳工業株式会社	製品のハンドリング性向上を目的とした、造粒ガラス原料の開発
104	妙中鋳業株式会社	検査作業効率化と納期短縮による製造コストの削減を図り、受注拡大を目指す
105	ケーエムマテリアル株式会社	省エネ船舶用「高性能樹脂製盤木」の開発
106	東京鉄製株式会社	波板鋼板(トタン板)機械による円滑(自動)加工生産ラインの開発及び生産強化プロジェクト
107	芙蓉鑄工株式会社	国内鑄鉄市場の獲得：薄物鑄物生産管理体制の強化と生産プロセスの見直し
108	株式会社竹中機械製作所	電気制御による石油タンク洗浄ロボットの開発
109	有限会社ネクストエンタープライズ	プラスチック成型加工における高速試作造形技術の開発
110	株式会社前田製作所	金属ペールのカール加工と品質改善に関する検討
111	株式会社三協リール	充電機能搭載のLEDランプの開発(非常時・防災時も使用)
112	昌和プラスチック工業株式会社	BPAフリー透明容器の生産システムの開発及び量産体制の構築

113	佐原テクノ工業株式会社	レーザ加工装置の高精度化と短納期化に有益な産業用高出力TOSAの製品化
114	日本ルーフ建材株式会社	外壁パネル加工分野への進出
115	株式会社万備	「自動化多品種カシメ機械」設計開発による生産性向上
116	株式会社尾崎製作所	ピニオン加工のリードタイム短縮を目指した電氣的同期加工の開発
117	株式会社ティ・エス・シー	地域産材(県産材)需要に対応する人工乾燥材の内製化
118	株式会社A-CLIP研究所	血管炎の重症化を特定するANCA-Fast-Me検査キットの製作
119	株式会社さくら金属工業所	特殊超硬金型を適用した大幅コスト削減に資する金型加工設備の導入
120	マルシン工業株式会社	自動車部品再生における洗浄と表面研削工程の一体化によるリビルトシステムの試作開発
121	株式会社町山製作所	塗料開発及び新規設備の導入による高気密性エアゾール缶の開発
122	加研工業株式会社	再生と粒の界面処理新技術を用いた高品質再生といしの開発と無人化による低コスト化の実現
123	メタロジェニクス株式会社	先天性銅代謝異常診断薬に包含させる新規蛍光検出プローブ「Cu-Green」の高効率合成製造方法の開発
124	株式会社イーエスケイ	スマートアグリシステムを実現する圃場センシング支援装置の開発
125	株式会社トーヨー工芸工業	新型成形機導入による食品キャップの品質向上、低コスト化への対応
126	F T B 研究所株式会社	太陽電池用の単結晶成長に用いる石英坩堝の改善と低コスト化事業
127	株式会社シラヤマ	建築物における大空間を創造する為の、新たな高能率マシーン導入プロジェクト
128	株式会社辺見製作所	5軸マシニングセンタ導入による高精度・高効率・短納期の実現と新規顧客の獲得
129	町田プラスチック株式会社	医療、その他培養研究用のプラスチック容器洗浄の新手法による競争力強化
130	日本アイリッヒ株式会社	リチウムイオン二次電池電極材製造用真空混練装置の開発
131	株式会社丸山製作所	製造情報の3次元化・電子化により、顧客の低価格・短納期・特注ニーズに対応する。
132	株式会社ESL研究所	車載組込みシステムの安全性・信頼性を向上するハイブリッド検証プラットフォームの試作
133	マークテック株式会社	マルチラインカラービットコードマーキング・読み取り装置の開発
134	株式会社トーシン	スーパーエンジニアリングプラスチック(高耐熱、高強度)の再生加工方法及び再生加工機械の開発
135	株式会社ヤマシタ	レーザー加工機導入における、生産体制強化とワンストップ化
136	株式会社高橋製作所	五軸加工機導入による航空宇宙・医療のニッチ分野への進出
137	エーイーエムシージャパン株式会社	「家庭向け消費エネルギーの見える化装置」等の改造のための設備投資

138	株式会社海老澤精機	特殊機能を持った航空機整備用作業台の開発設計製作
139	アイスマップ有限公司	視覚障害者生活支援のための携帯型時計の試作開発
140	株式会社ユーエムエー	機能性ナノ粒子及び超精密塗布技術を用いた迅速で高感度な免疫クロマト検査試薬の開発と試作
141	グラパックジャパン株式会社	優れた表面加飾が可能な高精度マイクロアレイレンズの開発
142	株式会社サンコー	簡易脱着可能なフライス盤用第二軸装置の開発
143	五十嵐段ボール株式会社	硬質系樹脂素材を用いた高付加価値型広告製品に係る製造方法の構築
144	中島硝子工業株式会社	ガラスの高機能化・高品質化・短納期化のためのコーティング設備導入
145	株式会社下田金型工業	インライン成形機を導入するボトルメーカーに対する試作金型及び実装金型の短納期製作
146	アシザワ・ファインテック株式会社	湿式ビーズミル内部流動改善による省エネ機種種の試作開発
147	株式会社デンタルサービス	CAD / CAMマシンの導入による新素材の歯科医療技工物の試作開発
148	協和工業株式会社	電力の安定供給を可能とする水車機能を有したインライン型マイクロ水力発電装置の開発
149	株式会社橋本電業社	高速NCマシン導入による生産効率化と納期短縮の実現
150	二宮産業株式会社	震災残土の処理に適したショベル用ふるいパケットシステムの開発
151	株式会社オチアイ	ワイヤ放電加工機による高度精密3次元加工技術の開発
152	株式会社山本科学工具研究社	シャルピー衝撃基準片の低コスト化を実現する生産体制の構築
153	株式会社ヒューマンネットワーク21	無線センサネットワークによる高齢者見守りシステムの開発と遠隔機器監視
154	弘洋電子機器株式会社	ロボットシステム導入による製造工程の短縮、短納期化による競争力強化
155	株式会社シルド	薄肉、軽量化製品の需要増加に対応する冷間引抜金型の技術開発
156	豊産マシナリー株式会社	電磁比例式ロールクーラント弁の開発
157	新盛工業株式会社	切断穴開け加工の自動化
158	東京リベット工業株式会社	鍛造製品の弱点をカバーする同時加工設備の導入による高付加価値製品の生産
159	東京丸善工業株式会社	粒鑄造合金製造方法の開発及びこの工法による工程の短縮
160	セルジャパン株式会社	特許技術を利用した可動締結式組ネジの開発と設計・検査技術の高度化
161	株式会社小出口ール鐵工所	加工品と品質保証成績表の早期対応を可能にしたシステムの開発
162	有限会社水谷理美容鋏製作所	美容鋏の製造技術を転用した低侵襲腹腔鏡手術用鋏の試作開発

163	株式会社ビスト	建設機械用操作部油圧部品における新工法の開発・導入
164	有限会社匠精機	高精度ロール加工用、多機能旋盤による、小ロット生産プロセスの開発(生産プロセス改革)
165	沼沢製作所	ウォーム歯車等の短納期・低コスト単品加工技術の開発
166	株式会社工業計器製作所	船舶エンジン排気ガス用温度計の感温部新素材開発及び製造方法の効率化
167	春川鉄工株式会社	インプロセス測定技術を用いた高集積LSI分析試験片の精密加工システムの開発
168	本田土木工業株式会社	アクリル樹脂を用いた、コンクリート構造物への浸透・結着型添加・補修剤の開発
169	東原産業株式会社	三次元データ展開システム導入による低コスト化・短納期化・提案型営業の実現
170	株式会社エスコアール	医療等における失語症言語訓練の効率化を図る訓練装置の改良
171	エイチ・ジー・サービス株式会社	環境負荷や広範な地盤への適応性と経済性に配慮した新たな戸建住宅向け地盤補強工事用施工装置の開発。
172	有限会社渡辺機械	プレス部品の軽量化を実現する回転加圧成形機の実用化
173	株式会社パール技研	小型CNC円筒研削盤導入による生産性向上とコスト削減
174	株式会社キヨシゲ	建築部材の多様・複雑化と低コストに対応すべく、加工の工程の改善とフレキシブル化を図る
175	日弘ビックス株式会社	無機素材と有機素材の複合による無彩色の遮熱素材の開発
176	東都金属印刷株式会社	大型金属印刷機械(MetalDecoratingPress)導入により大板シートへの印刷試作と生産効率の向上
177	栄和化学工業株式会社	耐摩耗性チェーン用シールゴムの開発
178	株式会社カネコ	冷間圧造難削材の生産性改善を目的とした深穴加工技術の開発
179	株式会社メルテック	微細・高精度特殊エッチング試作/量産対応
180	株式会社ナルビー	トリクロールエチレンを使用しない熱処理用連続洗浄装置の開発
181	株式会社ピックルスコーポレーション	真空減圧処理によるキムチ製造時の漬け時間の短縮化及び漬けムラ改善による付加価値の向上
182	株式会社西川	トンネルフリーザーの生産性向上及び工程ラインの品質管理向上計画
183	株式会社オーケー光学	サングラスレンズ用薄型偏光板の球面加工技術開発と量産体制の構築
184	京新工業株式会社	短納期対応型ウレタン製高精度カテーテルチューブ生産システムの開発
185	有限会社ジェットストローク	高意匠自動車用装飾部品等の開発及び生産性向上並びに環境対応技術導入
186	信栄工業株式会社	メガソーラー用架台製造の生産能力向上
187	株式会社五関製作所	3次元測定機の導入により、海外製造される金型を日本で製造するための事業計画

平成25年度補正

中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 採択事業者一覧(全288件)

1次公募第一次締切分(61件)

NO	申請者名称	事業計画
1	株式会社日商グラビア	デジタル式色合わせ校正機の新規開発・導入による競争力の強化
2	執行工業株式会社	ファイバー溶接機器導入による放射線医療器具の高度化、高性能化
3	株式会社オブティ	局所領域のはんだ装置に使用可能なレーザ用光デバイスの開発
4	株式会社エルテル	超高輝度内面反射・表面実装型LEDを用いた赤外線照明装置に関する試作品の開発
5	株式会社協同アナリシスデザイン	一般民生品を使用した低価格な植物工場用制御システム
6	有限会社協和デンタル・ラボラトリー	歯科技工士の能力を最大限にする「技工支援システム」の開発・構築
7	日野興業株式会社	樹脂製洋式水洗便器の試作開発
8	株式会社森川製作所	医療用を主とする加速器用加速管セルの超精密切削加工技術の確立
9	三洋コンクリート工業株式会社	競争力強化に繋がる為のコンクリート開発と設備導入
10	ナブソン株式会社	非接触方式による超高シート抵抗測定装置の試作開発
11	株式会社ケーヨーハード	建設機械を主としたシリンダーの修復需要に対する短納期化及び低コスト化
12	妙中鋳業株式会社	高性能熱処理設備の導入による、高性能・高品質な精密鋳造品の開発と新規受注拡大を目指す。
13	株式会社メカナイズ	深絞り包装機の包材スクラップゼロ化システムの開発(ジャストパックシステム)
14	株式会社アドバンジェン	遺伝子解析技術等の評価方法を用いた育毛剤製剤の試作品開発
15	株式会社山一建販	顧客ニーズにマッチした生コンクリート用細骨材(砂)の販売体制整備
16	シンワ工業株式会社	施工性と密閉性と耐久性に優れたハウジング型管継手の開発
17	増田工業株式会社	環境負荷の低減に貢献するノーシアン黒色銅スズ合金めっきに係る生産工程の確立
18	三井電気精機株式会社	光触媒粒子分散用タンデム超音波分散装置の開発
19	株式会社昭和電業社	立ち乗り型後輪2輪電動駆動の3輪車(パーソナルモビリティ)の試作
20	株式会社ホーキーメディテック	脊椎・椎体病変の経過観察・診断支援システム

21	株式会社森製作所	医療用一般器具用部品製造の品質向上と作業効率化による受注拡大の実現
22	株式会社エーディエス	美術館等向け特殊LEDライト(ミュージアムライト)の試作開発
23	株式会社菜の花エッグ	洗卵選別包装機の新生産ライン導入による高付加価値商品増産・増販計画
24	しのはらプレスサービス株式会社	軟質金属厚板材のプレス打ち抜き加工を高精度に全剪断する工法の研究開発
25	昭和プラスチック株式会社	油圧抜型裁断機の導入による厚手製品対応型真空成形の生産工程最適化
26	有限会社タニツ工業所	サーボ式インジェクション成形機の複合化によるパッキン装着システムの強化
27	株式会社ハイオス	産業用電動ドライバーの技術を応用した「歯科麻酔用電動注射器」の開発・製品化
28	岡本硝子株式会社	自由曲面形状のガラス用精密金型の開発とそれによるプレス成型技術の確立
29	株式会社牛越生理学研究所	データ管理可能な自動計量充填機器導入による製品の安全性向上と低コスト化
30	千葉マーク工業株式会社	インクジェットプリンターの導入による製造方式の転換の達成
31	有限会社スズ市水産	産地における1回凍結鮮魚の生産による付加価値向上と環境改善技術開発
32	株式会社竹中製作所	膜式スマートメーター量産製造設備への革新
33	株式会社成田デンタル	CAD/CAMと自動研磨機による歯科補綴物の量産化・精密加工の高度化
34	株式会社豊富機械工業	大型部品内製化とアセンブリ進出による、単なる下請けからの脱出
35	ネステック株式会社	超耐振型非水銀式温度計に温度センサーを搭載した非水銀式ハイブリッド温度計の開発
36	株式会社セリッシュエフディー	癌の進行度・遺伝子変異を捉える新規検出試薬の開発
37	トライミール株式会社	もう悩まない! 3分で決まる貴方だけの週間献立! 「献シエルジュ」の開発
38	株式会社共同土木	運搬車の特殊架装、非鉄選別機の改良によるコスト削減・環境性の向上
39	まくら株式会社	睡眠情報を活用する革新的なサービス立上げによる枕販売事業拡大
40	株式会社 commons	医療介護施設に対して、院内感染防止に役立つ空間づくりサービスの開発
41	朱雀プラスチック株式会社	放射性廃棄物の一時保管容器の開発
42	有限会社小澤製作所	難削材の加工時間の短縮・低コスト化及び高品質化による切削加工体制の確立
43	株式会社スノウチ	「カドビタ」(コラム用裏当て金)の製造工程における自動化設備導入等を通じた納期短縮とコスト競争力強化
44	株式会社日本メディックス	水圧を利用した新ベッド型マッサージ器(新型水圧マッサージ)の開発
45	株式会社3D	3Dプリンタ・スキャナを用いた歯科用模型のデータ化と保管・復元サービス

46	株式会社栄進電機	産業機械用高性能・高品質ケーブルの試作開発
47	有限会社田中金属	医療器向け薄板精密板金の曲げ工程における競争力の強化
48	日本機材株式会社	3Dモデリングによる試作品形状評価の効率化と多品種小ロット生産への展開
49	株式会社三和製作所	大型NCバンドソーマシン導入による短納期 大ロット対応型生産ラインの構築
50	菊川工業株式会社	摩擦攪拌接合を使用した建築用高意匠大板金属製品の接合固定治具開発
51	ASロカス株式会社	消防業務向け可搬型端末地図ナビゲーション機能の試作開発
52	株式会社鳳機工	高度精密加工技術を活かし顧客ニーズに応える新たな設備導入
53	環清技研エンジニアリング株式会社	安全で悪臭の出ない食品加工残渣及び生ごみの再資源化装置の試作と実証
54	株式会社システムシェアード	ITエンジニア育成プラットフォーム開発による事業基盤の強化
55	株式会社ESL研究所	FPGAを利用した高速ハードウェア論理シミュレーションエンジンの試作開発
56	株式会社エスタ	IT技術活用による大規模災害時にも役に立つ公園管理システムの試作品開発
57	株式会社KONNOPRO	コア型コンクリート強度診断試験機及び診断試験用コアドリルの製作
58	株式会社コイルセンターフジタ	Wi-Fi環境下のバーコード利用による受注環境改善及び競争力強化
59	ハイム化粧品株式会社	副作用性のある添加物不使用の介護用薬用化粧品の製品開発及び販売事業
60	株式会社太陽堂印刷所	印刷用コーティング装置を使った特殊印刷用紙生産効率の改善及び機能性フィルムの試作開発
61	サンフロンティアケミカル株式会社	焼却炉用排ガス処理剤の生産設備ユニット開発事業

1次公募第二次締切分(130件)

NO	申請者名称	事業計画
62	株式会社サンオー	ロボットの企画・開発・導入による金属拡張アンカーボルト組立の自動化
63	株式会社ケイティーバイオ	ショートタリン発現を抑える関節リウマチ新規治療法の開発
64	大成金属株式会社	サーボプレス導入による稼働率向上でアルミ成型加工分野を拡大
65	梅一輪酒造株式会社	清酒製造工程への高性能洗ビン機設備投資による競争力強化
66	株式会社ケーズネットワーク	千葉みなと旅客船ターミナル複合施設建設と大型水槽併設ダイビングショップ誘致

67	有限会社ティー・エル・シー	鋼板折り曲げ加工における、特殊金型並びにCADソフト活用による工程数削減及び品質向上
68	株式会社ティ・エス・シー	環境・健康に配慮した防火集成材の製造に対応する生産ラインへの革新
69	サーフ工業株式会社	高度加工環境の構築による医療機器精密部品の表面処理加工実施体制の確立
70	東積集成材工業株式会社	3軸NCルーター機による曲面部材の高精度、短納期低コスト製造法の確立
71	株式会社オオクシ	本部主導による来店者管理・待ち時間調整を可能とするデジタルペンの活用
72	イイノ産業有限会社	3次元免震装置(仮称:3D免震)の開発と製造環境の高度化
73	有限会社高橋製作所	高性能ワイヤー放電加工機導入による精密プレス金型の製造工程改革
74	株式会社PCSジャパン	ロストワックス精密鋳造法用ワックスの再生・再組成技術の開発
75	株式会社協同工芸社	軽量化・工期の短縮・劣化軽減のための一枚板看板製作技術の開発
76	株式会社KHK野田	高精度歯車の一貫生産体制を実現する為に半導体レーザを導入し焼入れ技術を確立
77	大明貿易株式会社	廃プラスチック等の再資源化に資する事業の推進
78	有限会社芝野オートサービス	三次元測定とポティータターを活用した修正技術の向上
79	平和産業株式会社	最新5軸機械による高精度維持と難削部品の形状-多工程加工高速化の同時実現
80	オーム技研工業株式会社	3Dスキャナーを用いた精密計測により、金型製作における独自技術を構築
81	株式会社國枝マーク製作所	バリヤ型皮膜を用いた電気絶縁性の高いアルミニウム陽極酸化皮膜の開発
82	株式会社福山医科	連通孔構造をもつ緻密質 β -TCPセラミックス人工骨の商品開発と評価
83	株式会社平田精機	低侵襲な内視鏡下外科手術用ハサミ及びリトラクターの開発
84	有限会社日本クレセント	冠動脈ステントに使用されるガイディングカテーテルの国内製造プロセスの構築
85	千葉オイレッシュ株式会社	処理困難性廃油(廃ポリマー等を含む)のリサイクルシステムの確立
86	トーネット株式会社	冷凍・冷蔵機器メンテナンスサービスの全国ネット展開事業
87	株式会社武井製作所	高性能CAD/CAMシステム導入による加工条件の最適化の整備及び新規分野開拓
88	京葉製鎖株式会社	合金鋼製チェーンを使用した除雪機械用タイヤチェーンの試作開発
89	神威産業株式会社	省エネ・高効率型 シェル&チューブ式熱交換器の開発プロジェクト
90	福井電化工業株式会社	ポリアセタール樹脂への非磁性ニッケルめっき技術の開発
91	習志野化工株式会社	リサイクルBOXを活用したリサイクルコーナー出隅事業

92	日進化成株式会社	高硬度皮膜の形成且つ長寿命なパラジウム系合金およびイリジウム系合金新規めっき液の開発
93	株式会社山本科学工具研究社	次世代型反発硬さ試験用基準片の製品化及び性能検証用試験機の開発
94	株式会社ファソテック	生体質感造形と3Dモデリング技術を用いた腹腔鏡手術トレーニングモデルの商品開発
95	株式会社キートロン	睡眠時無呼吸症候群に対する新規口腔内装置(マウスピース)の開発・試作
96	トーヨー産業株式会社	農地の地下灌漑(かんがい)システムに使用される機器の開発・試作
97	株式会社テクノプローブ	高周波プリント基板を応用した多ポート高周波プローブ及びプローブ校正の開発と事業化
98	株式会社パール技研	微細加工機導入による航空宇宙分野人工衛星向け部品の製造
99	三立機械工業株式会社	廃家電粉砕物から、銅とアルミの高品位分離に関する技術開発と実証
100	アルケア株式会社	人工肛門装具等の対皮膚粘着剤の資源生産性を高める製造工程の確立
101	株式会社ヘクセンハウス	精度の高い名刺型クッキーの開発と生産技術の確立
102	株式会社ペーパーハウス社	物流用木製パレットの製造における、機械制御と手作業それぞれの特性を生かした製造方法の開発
103	株式会社サンド・サンド	サンドイッチ産業の活性化と生き残りを掛けた自社パン焼成体制の構築
104	柳川建設株式会社	屋上緑化を推進する新エコ環境基盤の開発と芝生以外の植物の緑化材の開発
105	株式会社船橋樹脂工業	NCルーター導入による、付加価値アップ及び工事分野の売上拡大
106	株式会社こなや本舗	地元産米粉を使用したアレルギー対策食品の試作開発
107	日本データマテリアル株式会社	パワーデバイス向け成形はんだの製造ライン自動化
108	株式会社タイセー	空き家監視ができる無線型環境測定器の開発
109	株式会社マツ・コウケン	ガス加熱装置を用いた温度分布精度の高い雰囲気電気炉(マッフル電気炉の改良で雰囲気電気炉と呼ぶ)の開発
110	株式会社永光自動車工業	心理学等を応用した選挙カーを開発し利用者毎カスタマイズによる立候補者支援事業
111	株式会社ヤマトマネキン	ときめきの一瞬をかたちにする-顧客満足度を高める立体造形技術の開発-
112	株式会社テラコン	雨水集水性能を高めた新しいコンクリート側溝蓋の開発及び生産設備改修による原価低減
113	デンタルサポート株式会社	オリジナルCADソフトで繋がるネットワークによる歯科技工物供給体制の確立
114	小澤産業株式会社	難削材料加工技術を用いた環境対応型無動力瓦切断機(瓦カッター)の試作開発
115	東京金属工業株式会社	6価クロムめっき代替技術の確立およびめっき加工工程の内製化
116	長谷川化学工業株式会社	高機能樹脂を活用し、耐熱性能を高めた業務用「芯入り軽量まな板」の開発事業

117	日本化工食品株式会社	生産エリア環境改善による高付加価値「顆粒調味料」の安定生産
118	第一サッシ工業株式会社	サッシの金型レス生産ラインの構築による短納期化・多品種生産の実現
119	日本クロイド工業株式会社	ギアポンプの製造改新による海外市場攻略
120	株式会社バンケン	ツアーガイド用中継機能付デジタル無線システム機(800MHz帯)の試作開発
121	株式会社センターラボ京葉	インプラント患者の身体的負担を軽減できる人工歯冠の安定的生産体制の確立
122	有限会社かねの水産	付加価値型新田作りの生産技術開発
123	株式会社カナヤ食品	多様化するニーズに応える多品種製造ラインへの革新
124	株式会社ビスト	空気圧バルブ弁の安定供給の為に技術の研究開発及び設備の導入
125	有限会社東葛テクノサービス	原材料の超音波洗浄処理によるかまぼこの品質と生産効率の改善技術の開発
126	株式会社藤井製作所	CFRTP中間材の低コスト製造法とプレス加工技術による自動車部品の開発
127	サノシートック株式会社	津波から住民を救う「避難リフトウインチ」の開発
128	東京純薬工業株式会社	高性能分析装置導入による再生有機溶媒の品質向上
129	株式会社船和製作所	カスタマイズ・マシン導入と製造工程リエンジニアリングによるサイクルタイムの短縮化
130	島村工業株式会社	鋳型製造用発泡スチロール模型製作の内製化
131	アシザワ・ファインテック株式会社	ナノ粒子を可視化し、粒子径測定や分散凝集を解析出来る装置の導入と評価サービスの強化
132	株式会社インスマタル	ファイバーレーザー加工機における新切断技術の導入による厚板加工の低コスト化
133	株式会社シルド	多品種小ロット製品を低コストで製造する異形冷間圧延設備の研究・開発
134	株式会社カネショー	大型ガラス窓設置を可能にする「スチール/アルミ・ハイブリッドサッシ(住宅用)」の開発
135	株式会社城北鍼力印刷工業所	高感度光学的検査装置監視カメラ設置
136	株式会社アットデル	100%文字認識と電話着信履歴を用いた勤怠管理システムの製作
137	コスモテック株式会社	複合パネルの製造工程の技術革新を行い量産体制を確立し売り上げ拡大を目指す
138	鈴木化工株式会社	画期的な医療用手術補助具の部品の開発・試作・製造・販売
139	有限会社バンカクラフト	手作り工芸品メーカーによる海外直接販売の仕組みづくり
140	株式会社トリマティス	OCT向け波長掃引型光源用波長可変フィルタの開発
141	合同会社A-C L I P研究所	血管炎の重症化を特定するANCA-Fast-Me検査キットの製作

142	株式会社NEMCO	環境負荷の少ないPET素材への印刷用高性能コート液及び塗布機の開発
143	株式会社関根産業	紙くずを液化しメタン原料とする装置の開発
144	FTB研究所株式会社	高性能澆液坩堝の単結晶シリコンの高品質・低コスト化による海外向け製品の試作
145	東和パーツ株式会社	機械制御する為の防水型電子デジタル回転計を開発
146	島村金属工業株式会社	深絞り黄銅材料金属プレス加工の平滑仕上げによる高感性化部品の開発
147	株式会社るくや	渚の駅を活用した、着地型観光拠点の運営
148	有限会社津谷工業	職人技と最新ロボットが融合した革新的な長穴加工及び三次元切断・熔接工法による事業拡大
149	株式会社アースラボラトリー	人の静環境を創出するための新しいプレキャスト制振デバイスの開発
150	ロック製菓株式会社	業界初の多様な風味を持つコインチョコの新規開発
151	昌和プラスチック工業株式会社	アイデア立体造形と金型をシステム化した多種少量生産体制の確立
152	株式会社パルス電子技術特機事業部	SIC(シリコン カーバイト)半導体を使用した高速・高圧半導体スイッチの開発
153	株式会社相互	養豚場糞尿を原料としたメタン発酵発電からの消化液低コスト処理設備の試作
154	株式会社カタリメディック	顆粒状人工骨の補填具開発による整形外科手術の効率向上
155	有限会社水谷理美容鋏製作所	人間工学的要素を取り入れた刃持ち性の高い医療メス及び美容レザーの開発
156	日環科学株式会社	脂肪蓄積の抑制と耐病性に貢献する高健康機能性養鶏用飼料の開発
157	コヨミ株式会社	次世代電子デバイスを担う半導体IP及び制御ソフトウェアの開発
158	有限会社石川鐵工	最新設備導入によるエネルギー分野製品生産能力増強事業
159	ツカサ工業株式会社	省エネ支援モニタリングシステム開発事業
160	株式会社ウェルリサーチ	高性能大型衛星用制振装置の製品設計及び製造条件の確立
161	株式会社常磐植物化学研究所	免疫調節機能のある健康食品素材開発に向けた生薬カンゾウ由来多糖の製造技術確立
162	株式会社トーア電子	自社完結型を目指すエッチング剥離装置等製造のためのNCルーター等導入
163	ネッパジーン株式会社	多検体処理可能なDNA導入装置(高電圧直流電源装置)の開発
164	株式会社国際情報ネット	医師を目指す医学部学生を支援する診察参加型臨床実習評価システムの試作開発
165	有限会社伊丹産業	鋼板加工プロセス改善と図面を描くノウハウの向上により高付加価値を実現する
166	株式会社エジソンパワー	大型カスタム蓄電システム製造事業者資格登録のための機材整備

167	野水鋼業株式会社	バンドソー導入による鋼材切断のスピードUP及び高精度化によるリードタイム短縮
168	株式会社三恵	高周波ウェルダ―導入による血圧計用カフ製造工程の革新と事業化
169	株式会社エアリー	異業種によるキッチンカーの製造と輸出、データ解析による効果的イベント創出事業
170	株式会社アーティエンス・ラボ	3Dフルカラーホログラムの高速高画質印画システムの構築
171	ニホンハンダ株式会社	分級プロセス廃止を可能にする製粉工程の革新的新技術
172	株式会社都元	中古工具をリサイクル商品として定着させることが可能な管理販売システム
173	株式会社リプラス	廃プラスチックを原料とした2段押出成形による大型コイルストッパーの開発
174	エコクリーン株式会社	油圧式Wモーターによる作業効率の安定化と2ライン方式の導入
175	有限会社欧都香	千葉県産落花生を使用したやわらか新商品の研究開発
176	株式会社大菜技研	高機能型高性能流体試料測定用レオメーターの開発試作
177	有限会社ナラシノカセイ	考古学史料等貴重文物を保管するための緩衝材の試作開発
178	株式会社ケアネットワーク21	高齢者の呼吸異常や転倒をセンサにて検知し自動通報する装置の開発
179	株式会社E x H	電界結合方式とスリット付同軸線路技術を用いたワイヤレス電力伝送線路の試作開発
180	中山製作所	切削加工における自社技術の活用と新たな機械導入による新分野進出
181	株式会社アイ・メデックス	医療機器の製造工程への自動検査装置導入
182	株式会社総合印刷新報社	ニューラルネットワークによる画像識別技術を活用したフォトブック作成システムの試作開発
183	清水工業株式会社	型鋼構造物における高精度切断の実現と生産工程最適化に向けた加工体制の確立
184	株式会社共進ペーパー&パッケージ	デジタル印刷技術とIT技術を融合した、短納期小ロット印刷サービス事業の拡大
185	株式会社美山	キムチ由来に植物乳酸菌を利用した高機能性食品の開発の高度化(高品質化)
186	株式会社大東	情報処理技術を活用した印刷生産プロセスの改革
187	アクティブ販売株式会社	コメ・大豆などの穀物品質管理選別装置のCMOSラインカメラ搭載新機種の開発
188	株式会社セイキテクノデザイン	開発業務のプロセス化とモジュール設計・高性能CAD設備の導入
189	有限会社ミカタ	ITを利用した言語障害者向けサービス
190	株式会社トライ・インターナショナル	味噌タレ類製造設備導入による一貫生産体制の充実と品質向上の確立
191	ダイパネ工芸株式会社	大板パネルへの薄膜塗装技術確立と小ロット・短納期化の実現

2次公募分(97件)

NO	申請者名称	事業計画
192	吉野酒造株式会社	清酒の品質向上と生産所要時間の大幅短縮による増産体制の構築
193	東京螺旋工業株式会社	空圧式自動横穴あけ専用機導入によるボルト類製造の納期半減計画
194	エスイーエンジ株式会社	NC加工機導入による高性能タテ型防水ガラルの生産能力強化計画
195	株式会社サヤ	センサーケーブル不要な、インフラサウンドセンサ式土砂崩れ検出システムの開発
196	リンク・ジェノミクス株式会社	慢性炎症治療薬の活性評価システムの高度化技術の開発
197	ホテルマークワン株式会社	ビジネスホテルにおける人工温泉大浴場の設置を核にした新たな顧客サービスの展開
198	株式会社中村機材	多本トーチ精密制御による極厚鋼板狭巾溶断の高精度化のための試作開発
199	フクバデンタル株式会社	微弱電流(マイナスイオン)イオン歯ブラシにおける電流部分を改良する試作
200	株式会社イワサテック	「航空機フラップ用高精度ラックギヤの製造法の試作開発」
201	株式会社むげん社	超音波手術システム導入による小動物に対する新たな肝臓疾患への治療改革
202	株式会社阪上製作所	大口径複雑形状パッキンのつなぎ成形製造技術の実用化
203	株式会社協同住宅	当社独自のスーパーアルカリイオン水によるコインランドリーに2つの革新的サービスを付加し稼働率を向上させる事業
204	平野コンクリート工業株式会社	道路側溝部段差解消工事用の「A型嵩上げ側溝」の量産体制の確立
205	株式会社プロテイン・エクスプレス	バイオ医薬品の低コスト化に向けたアフィニティリガンド大型製造設備の導入
206	株式会社ニッチュー	ナチュラルファイバー含有・植物由来生分解性樹脂ショットブラストマシンの開発
207	株式会社小林通信	次世代自動車に対応するスクリーン印刷装置の試作開発および印刷技術の確立
208	有限会社京葉ダイカスト	アルミダイカスト製品の極薄肉成形技術の実用化で一発成型によるコストダウン
209	かずさ燻製工房	燻製調味料量産化のための連続処理装置開発と液体香付け革新サービス
210	エム・エム・プラスチック株式会社	容器包装リサイクル材を活用したアップサイクルパレットの開発
211	株式会社アガツマ	「見えない点検扉」を商品化し、建築・設計分野に革新をもたらす
212	株式会社トーテック	電子部品のめっき不良を解析し、工程改善を提案する、革新的サービスの開発
213	日機電装株式会社	磁力の影響を考慮したリニアモーター用マグネット貼り付け装置の開発
214	ITS工房株式会社	ナレッジ蓄積型図面位置連動進捗管理システムのβ版開発

215	株式会社高橋製作所	航空宇宙・医療分野への本格展開に伴う生産体制の強化
216	佐藤樹脂工業有限会社	独自プログラム・ノウハウによる医療用機器の超精密射出成形加工の展開
217	関東電子株式会社	医療品メーカー向け無菌高機能自動複数列供給対応装置の開発
218	株式会社ミニミニクラブ	産業廃棄物である落花生殻を利用した競走馬用敷料生産に係る革新的リサイクルシステムの確立
219	有限会社ネクストエンタープライズ	立体造形データをCAD/CAMに直接利用する変換技術の開発と3D事業の拡大
220	ハイ・ストーン有限会社	完全鉛レス色被せ(いろきせ)クリスタルガラスの開発
221	株式会社椎名製作所	新型電動成形機の導入による超薄型成形技術の確立
222	茂原産業株式会社	独自設備の開発によるバッテリーリフレッシュ作業の生産性向上と販路拡大
223	有限会社泉製作所	5軸制御マシニングセンタ対応CAD/CAM導入による次世代自動車用モーター部品の試作開発
224	株式会社平和化学工業所	リサイクル材等を使用した環境配慮型プラスチック中空成形品の試作開発
225	有限会社斉藤プレス	CAD/CAMシステム等の導入による短納期・低コストアルミ製簡易金型の製造・開発
226	オーベクス株式会社	サインペン先及びコスメチック用品の製造制御方法の精緻化と高度化
227	明和エンジニアリング株式会社	精密板金加工製造機導入による納期の大幅短縮と製品精度の向上計画
228	ナノキャリア株式会社	抗がん剤の機能性及び生体適合性を革新する高機能リンカーの開発
229	伸栄学習会	グローバル社会に対応した小学生英語のシステム開発
230	株式会社小島半田製造所	はんだ付け時の飛散防止加工をしたやに入りはんだ製造装置の開発
231	有限会社エムエスイー	ソーラーシェアリングでの太陽電池を太陽に追尾させる装置の開発。
232	株式会社エスコアール	障害者関連事業で商品と顧客サービスを革新する就労支援事業
233	並木木材株式会社	木材用真空高速乾燥炉の開発および短納期木材乾燥サービスの普及事業
234	株式会社馬場本店酒造	最新型「佐瀬式吟醸用搾り機」の導入によるみりんの品質向上と新商品開発
235	グラパックジャパン株式会社	マイクロレンズアレイを用いた高精度位置計測マーカの試作開発
236	有限会社アラソアン	マリンスポーツ用GPS位置情報連携映像制作・中継サービス
237	有限会社市東製作所	世界最小カテーテル用金属部品の開発・試作における切削加工機の導入
238	株式会社石橋水産	魚離れを食い止めるファストフィッシュイワシ燻製加工、販売の展開
239	有限会社保坂プレス工業	先進ベンダーを導入した3次元精密製品の製造による競争力強化

240	トータルエアーサービス株式会社	ハイブリッド風力発電装置・冷却塔(ブレードレス)試作開発と実証試験
241	ブルーワークス株式会社	歯科分野においての、熱可塑性樹脂の素材開発と技工物(被せ物・詰め物)の製作及び普及
242	有限会社西原電子	レーザ溶接時の狭帯域可視光モニタリング装置の開発
243	富田鉄工株式会社	レーザー加工機の導入による金属プレス加工プロセスの短納期化と競争力強化
244	株式会社祥ファクトリ	在宅支援を充実するために、職員の働きやすい環境を整備しサービスの質を向上する
245	株式会社太平金属工業所	シャッターガード及びマイクロスコブ導入によるプレス加工の生産性向上及び品質保証高度化
246	株式会社ルミテック	自動撮影システムを用いた交通インフラ整備に資する関連プログラムの開発
247	株式会社弘報社印刷	イメージデータベースの開発と最新オンライン校正システム構築でプロセス革新
248	有限会社バベッジ	環境発電と無線通信による配線レスビニールハウス環境管理ネットワークデバイス開発
249	株式会社シルクマルベリー	国内産シルク(絹)製品における神社を販路とした販売戦略
250	有限会社関東商事	植物育成施設における薬用植物栽培技術の開発
251	株式会社新工法開発研究所	小水力発電用新規「高効率水車」の開発と事業化
252	鍋店株式会社	東南アジア市場に対応した日本酒の香味生成と製販体制の強化
253	株式会社ユーデント	歯科材料の正確な混合比を簡単に実現する「歯科用混合電子天びん」の試作開発
254	有限会社東容製作所	高層ビル用高速エレベーターの省エネ・高居住性を実現する巻上機部品生産体制構築事業
255	株式会社ALBEDO	「イベント主催者ニーズに対応し市場拡大を目指す新型特殊3Dディスプレイの開発」
256	株式会社西尾	香料つきホワイトニング・スポンジ歯磨き「ポリリンキューブ」の試作開発
257	佐久間産業	資源循環型社会づくりへの貢献並びに低価格化を実現するオリジナル商品の提供サービス
258	株式会社田中精機	大型加工機導入と独自の高精度切削技術によるエネルギー分野への本格進出
259	有限会社いしんフーズ	宮城県産銀鮭の廃棄されている未熟筋子を活用したおにぎり用筋子の開発
260	株式会社グリーン・シィ	農家作業負担の軽減と食の安全に寄与する「茎止め粘着テープナー」の開発
261	株式会社風土食房	農家さん御用達の農産物加工サービスプロジェクト
262	株式会社ジィ・シィ企画	個別ニーズに柔軟に対応するためのマルチ決済ゲートウェイの開発
263	アメリカン電機株式会社	製造ライン敷設方法を革新する高容量電気幹線用T型分岐コネクタの開発
264	株式会社MPS	大面積ダイヤモンド気相合成装置とこれを用いたダイヤモンド電極の試作

265	木村プログレス工業株式会社	国内初の木質板へのUVエナメル塗装技術の開発
266	有限会社匠製作所	電気自動車用 EV充電器の増産要求に対する生産体制の強化
267	株式会社三栄興業	PPの改質剤となる末端反応性PPの量産体制の確立による課題解決と市場拡大
268	有限会社かしわや食堂	冷凍・塩蔵技術を活用した加工者も農家もWinWinになる農産物加工品製造サービスの提供
269	株式会社福富製作所	高品質・短納期・低コストのオーダー門扉を提供できる仕組みと高付加価値サービスの確立
270	株式会社丸菱バイオエンジ	再生医療に用いる付着依存性細胞大量培養システムの開発
271	株式会社トーシン	エンジニアリングプラスチックの再生加工において不純物を除去する高度な再生加工機の開発事業
272	株式会社テクノス	高機能新型電気接着機(グルーガン)ホットメルト型接着剤の溶融塗布機の開発
273	株式会社小出口ール鐵工所	ポータブル三次元測定器活用による、長尺加工品の精密測定効率化
274	丸山金属工業株式会社	高級自動車向けホックにおける高精密加工部品の試作開発
275	株式会社Eプラン	ペット業界向けスーパーアルカリイオン水生成装置のレンタル事業立上げ
276	有限会社日本豆腐大和屋	豆腐カッター機の開発とWEB広報によるカット豆腐、豆腐惣菜品の販売
277	株式会社イーパック	高機能性フィルム・シート材の展開に関わるMB製造設備
278	ハリマ産業株式会社	和室建具と枠材のセット納品に必要な技術構築
279	株式会社西川	天然鰯の生鮮加工における最適加工を目指した生産体制の確立
280	ウィンテック有限会社	油圧式エレベーター向け特殊シリンダーパッキンの開発・製造、販売
281	日本合成化工株式会社	耐熱サイクル試験システムの構築による次世代パワーモジュール用高耐熱性封止材の開発
282	株式会社サラヤ保_商店	安心・安全な鯨のたたきの提供を目指した品質管理向上計画
283	株式会社 メイプルバイオラボラトリーズ	筋ジストロフィー症関連ペプチド抗体を利用した診断用医療機器の開発
284	株式会社フジテック	スライサー機械の部品「刃」の製作における研磨工程の機械化
285	光洋工業株式会社	CNC形鋼切断用バンドソー導入によるリードタイム短縮および高精度加工の実現
286	株式会社ヤマナカゴーキン	「金型損傷評価システムの開発」
287	株式会社 白光舎ユニフォームレンタル	スーパーアルカリイオン水を使用した消毒を有する感染防止の革新的洗濯サービスの実用化
288	株式会社秋葉牧場	自社牧場の乳清(ホエイ)を使用した新商品の開発。

平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金 採択事業者一覧(全287件)

1次公募分(156件)

NO	申請者名称	事業計画名
1	株式会社ハンドレッド	クラウド・カメラ・IT端末の活用による、グループホーム介護事業の効率化と収益向上計画
2	大明貿易株式会社	化学樹脂の再生原料であるチップ化したPET等の販売量拡大のための仕入力強化
3	株式会社環境経営総合研究所	新開発の合金発熱体を活用したフィルム型ヒーターシステムの試作
4	株式会社ジュエルはま	3Dプリンタ、レーザー溶接機の導入によるジュエリー（オーダー品・リフォーム品）の製造プロセスの改善
5	有限会社石渡製菓	多品種少量生産・短納期に対応した革新的な焼き生産システムの開発
6	ハミルトン株式会社	同時5軸システムおよび3Dスキャナ導入によるテーマパーク向けビジネスの拡大
7	株式会社サンオー	金属拡張アンカーボルトの検品作業の自動化
8	株式会社ケーズネットワーク	新栈橋完成に伴う賑わいを創造する港町フリーマーケットの誘致
9	株式会社ESL研究所	並列化による車載モータ制御ソフトウェア高速検証装置の試作開発
10	パウダーテック株式会社	電磁波シールド材等のニーズに応える高い透磁率と加工性を備えた新規板状フェライト粉の製造
11	サンケミ株式会社	医療カテーテル用コンパウンドの試作開発
12	有限会社美田工業彫刻所	LED照明用プラスチックレンズの試作工程革新と量産用精密金型の製造
13	株式会社神宮製作所	リサイクル率の高い金属容器の安全性及び性能向上を目的とした金型製作
14	ASロカス株式会社	UAV(無人航空機)を利用したがけ崩れ危険箇所監視システムの試作開発
15	株式会社ナルビー	工業用刃物の海外展開に向け、多様な刃形に対応できる新規製造技術の開発
16	株式会社ア・ファン	犬型ロボット(AIBO)に特化したクラウドプラットフォームの構築
17	株式会社平田精機	再使用可能な腹腔鏡手術用吸引洗浄管の量産・コストダウンに向けた生産体制の強化
18	小林建材株式会社	ユーザーニーズの多様化・高度化に対応する新機能商品開発
19	株式会社ユースワーク	海洋探査装置に搭載するチタン合金製耐圧容器の加工内製化による精度向上等の需要対応
20	株式会社竹中機械製作所	需要が急増している火力発電用大型部品の「超精密加工技術」の確立

21	富士焼結株式会社	欧州排出ガス規制対応エンジン部品に係わる高強度化の実現
22	株式会社協同工芸社	薄板高精度溶接による縁なし箱文字看板製作技術の開発
23	株式会社イトウ精工	薄板打ち抜き用高精密プレス金型の製造技術の確立
24	株式会社協同住宅	LINEやコインパーキングを無人のコインランドリーに活用する
25	有限会社聖菱化学	粉末茶等の粉末飲食品を簡易且つ高精度に排出可能な飲料用粉末サーバの試作開発
26	株式会社センターラボ京葉	先進医療の保険適用に対応した歯科補綴物製作の為に最新鋭設備導入と内製化の確立
27	ユニーク株式会社	木造住宅の耐震補強に最適なエポキシ樹脂接着剤と新耐震工法研究
28	鈴木海苔株式会社	日本初、海藻発酵による新機能性表示素材と食品の開発と製造
29	株式会社ニッタクス	非磁性・非金属車椅子部品の試作開発(空港、医療、一般向け)
30	株式会社斎藤製作所	産業用無人機の長航続時間を実現し、環境負荷低減にも貢献する超低燃費4stガソリンエンジンの開発
31	株式会社正上	レトルト加工技術を応用した規格外の「さつまいも」の輸出展開
32	特殊技研金属株式会社	災害時に強く環境にやさしい高効率完全自立型ソーラー水素システムの開発
33	株式会社飯沼本家	熟成古酒を用いたプレミアム性の高い新商品開発の推進
34	株式会社東関東ホースパーク	画期的な「養老馬」健康管理サービスの開発及び展開
35	有限会社京葉ダイカスト	アルミダイカストの後加工レスでの高精度化部品の実現
36	雪和食品株式会社	国内在住並びに来日ムスリム向けHALAL対応パンの多品種開発
37	トーネット株式会社	機器メンテナンスを迅速・広範囲に対応する業者オークションシステム構築
38	有限会社ベガ	会心のボールコントロール感を味わえるマイボールの製造販売事業
39	有限会社オオタ精機	海底掘削先端用特殊ガイドパイプ部材チタン64の試作・工期短縮・生産性向上を達成する
40	株式会社福富製作所	特殊仕様のスチールドアを短納期で提供できる自社独自の仕組みの構築
41	株式会社サンパック	業界初、「小・中サイズパッケージのハイブリッド製函プロセス」の確立と新製品展開
42	日松金属株式会社	非鉄金属排出物から金属原料製造プロセスの構築と事業拡大
43	株式会社ケンレック	ビーコンを活用したターゲットエリアへの動画コンテンツ配信サービスの実現
44	株式会社日本クロス圧延	試作及び研究開発分野に使用される高機能性金属材料の超少量製造技術の開発
45	株式会社ティー・アンド・ティー	中間帯分子量オリゴ糖製法とヘルスケア製品・農産物活性剤の開発

46	株式会社芝山農園	生産者、消費者、バイヤーの各ニーズに応える焼き芋開発事業
47	株式会社新領域技術研究所	HCS(ヘリウム循環装置)用低発熱極低温電動バルブの開発
48	株式会社藤井製作所	性能評価システム構築による低コスト精密外科手術用剪刀加工技術の開発
49	株式会社小黑組	工程の自動化により高精度加工と生産性向上を実現する鉄筋自動曲装置の導入
50	株式会社ヘクセンハウス	高品質なアイシングクッキーの開発と、製造環境の整備
51	総武機械株式会社	国内初、本格高精度C I型フレキシ印刷機の印刷ユニット試作開発
52	習志野化工株式会社	外装材切断時に発生する外壁粉を利用した色パテ材の開発および販売
53	ロイヤルエンジニアリング株式会社	コア製品開発等を担うマザー工場へ供給される樹脂成形品の低コスト・短納期化
54	協和デンタル・ラボラトリー	インプラント埋入ガイドとアバットメント(支台)の製作方法の革新
55	ナイガイ株式会社	小径の棒状品をPPバンドにて強固に結束することができる装置の開発
56	株式会社弘文社	多品種少量印刷物の受注・製本生産能力強化による個人の本づくり応援サービスの開発
57	株式会社ユタカ水産	新たな原料を活用した高付加価値製品の提供
58	大和電機株式会社	航空機産業の対障害性に寄与するアナログ式モータの新開発について
59	柳川建設株式会社	植物にとって最適な水やりを実現するセンサー式の屋上緑化用灌水システムの開発
60	スワン電器株式会社	世界中どこでもすぐに利用可能な端末をイメージした多機能照明の開発
61	株式会社エスタ	「市民と行政による公共施設・公共サービス情報発信・検索サイト」サービスの試作品開発
62	千葉マーク工業株式会社	目に優しい白色LEDを使った視認性の高いLED銘板・看板の開発
63	株式会社ファソテック	生体質感造形と3Dモデリング技術を用いた手術トレーニング臓器の商品開発
64	東京金属工業株式会社	革新的なペックリッブプロトタイプ製作方式の確立と量産金型製作の内製化率向上
65	株式会社プロテイン・エクスプレス	プレバチルス菌による低分子抗体等の分子標的タンパク質の効率的製造技術開発
66	有限会社田川ローラー製作所	LNG船用難削材シャフトの加工体制確立による受注拡大と収益性の改善
67	ネッパジーン株式会社	iPS細胞の医療応用のための多検体処理可能なDNA導入装置の開発と改良
68	株式会社新工法開発研究所	小水力発電用新規「高効率自動除塵システム」の開発
69	株式会社アヴァンス	海外生産のアパレル製品の品質を「メイド・イン・ジャパン」の品質基準に引き上げる検品サービスの開発
70	カツラエンジニアリング株式会社	微細表面構造のマイクログループ、コンポジットローラーの試作品開発と生産工程の確立

71	環清技研エンジニアリング株式会社	業務用生ごみ処理機における小型化及び処理能率向上に資する攪拌羽根の新規開発
72	チカラ工業株式会社	油圧式万能試験機導入による鍛鋼品々質向上ならびに高性能鍛造品開発
73	スペクトラ・クエスト・ラボ株式会社	蛍光顕微鏡やラマン分光用の多波長レーザ光源の試作開発
74	ウェザー・サービス株式会社	災害時における避難支援指示発信装置の開発及び避難情報サービスの提供
75	有限会社杉山金属製作所	食品の温度が良く測れて部品交換もできる温度センサ部品の製造
76	株式会社萬国	スマートメーター用銘板の高効率生産による省エネ社会実現への寄与
77	本田土木工業株式会社	コンクリート構造物の補強コーティング剤(表面保護剤)の開発
78	株式会社フッカクローム	製紙装置産業の大型化に対応したロールの長寿命化
79	横山容器工業株式会社	ドラム缶更生プロセスの革新による品質・生産数量の向上と事業の拡大
80	株式会社タチバナ製作所	プレスブレーキとアームロボットを組合せた薄板鋼板四方曲げ加工の実現
81	株式会社パール技研	高精度CNC三次元測定機導入による測定品質向上と短納期化の実現
82	岡本硝子株式会社	抜群の機動性を誇る超小型海底曳航調査システム「ディープ・トウ」の開発
83	株式会社椎名製作所	自動車スマートエントリー用送受信アンテナコアの開発
84	株式会社エーディエス	長寿命高機能小型LEDミュージアムライトの試作開発
85	株式会社千葉うまかっ部屋	大型移動厨房による地域の食材を使った食事提供サービスの革新
86	株式会社テクノプローブ	高周波プリント基板測定に用いる手持ち型高速(40GB/s)TDR/TDTプローブの開発
87	株式会社アキテック	特許保有の十字鉄芯構造を応用した新型ノイズカットトランスの開発
88	株式会社カネコ	高級自転車向け部品(バイシクルコンポーネンツ)向けチタン材料加工技術の開発
89	株式会社河野製作所	多様な医療ニーズに最適な成形技術による微小血管吻合用クリップの開発
90	株式会社ナノテック	広幅湿式ロール研磨機の共同製作・導入による商業生産実施
91	有限会社水谷理美容鋏製作所	高機能デジタル技術を用いた高精度な医療・美容ハサミの試作開発
92	株式会社セリッシュエフディー	新規ガンママーカとその自己抗体を検出する次世代型免疫測定用試薬類の開発
93	株式会社大和鉄工所	機能性化学分野に適応可能なドラム缶口金製造技術の試作・開発
94	株式会社平和化学工業所	高精度、低振動、低発塵かつ低コストを目指した8軸制御ブロー成形機の開発
95	大森精工機株式会社	最新非破壊検査機器導入による航空機機器整備作業の最適化事業

96	有限会社渡辺水産	急速冷凍装置導入による冷凍アサリ品質向上と新規事業領域の拡大
97	株式会社リオ	燻製調味料の連続式処理方式開発と革新サービスによる新市場開拓
98	株式会社共進ペーパー&パッケージ	デジタル印刷技術とIT技術を融合した、オリジナルゴルフボールギフト提供サービス
99	ゆき歯科クリニック	地域歯科医療への貢献に資する最新マイクロスコープ導入による革新的な根管治療サービスの展開
100	株式会社ヤマトマネキン	画期的立体造形技術の確立によるディスプレイツール(商品)の事業拡大
101	鶴岡食品株式会社	地元産原魚による高品質製品の供給体制の構築
102	大真精機株式会社	ペットボトル容器向け金型の修理やリバースエンジニアリングの設計
103	ふなえ歯科クリニック	歯科医院内における歯科技工物内製化による、歯科治療の品質と生産性の向上
104	株式会社セガワ	千葉県産ピーナッツを用いた新商品開発と製造効率の向上
105	日本データマテリアル株式会社	スパーサー入り成形はんだの高品質かつ低コストの製法の開発による全工程自社生産化
106	株式会社西川	弊社独自生産における高付加価値製品の提供体制の構築
107	株式会社エスコアール	失語症者の訓練と社会参加を支援するネットワークサービスの構築
108	有限会社内房スバルソーイング	3次元CAD、CAM導入による多品種・少量生産体制の実現・自社ブランドアパレル事業展開
109	株式会社セイロジャパン	先端ものづくりを支援する、実物から加工に使えるデータへの変換事業
110	株式会社アイ・メデックス	医療機器の製造工程への機械式吐出装置システム導入
111	株式会社バイオメディカル研究所	Dengg、チクングニア、ジカウイルス感染症を同時に判別できるマルチ簡易検査キットの開発
112	株式会社アクア	大型NC旋盤による難削材加工及び大型製造部品に対する設備強化
113	株式会社理工社	ワークロール部材の完全内製化による納期短縮及び新規分野の開拓
114	エクセレント株式会社	最新型自動平盤打抜機の導入による抜き加工高5倍計画
115	館山コンクリート株式会社	コンクリート製品の高寿命化を実現する高強度高流動コンクリートの開発
116	有限会社斉藤工作所	プラチナリングの硬度向上による顧客ニーズの充足と新規市場開拓
117	株式会社国際情報ネット	独り暮らしの高齢者に対する健康・生活情報を統合配信するサービスの開発
118	しらとり歯科	CTとサージカルガイドを用いた安心安全なインプラント治療による地域歯科医療への貢献
119	日建製造株式会社	技術開発力を活かし最新設備導入による競争力強化と革新的製品開発
120	株式会社精工技研	φ1ミリ以下、厚み0.15ミリ以下極小極薄レンズを形成する成形技術の開発

121	小澤産業株式会社	ガス溶断加工におけるノロ低減技術の確立事業
122	有限会社福山花火工場	花火打ち上げ時における観客の安全対策及びゴミの低減
123	株式会社カナガワファニチュア	土壌微生物を活性化させるPB堆肥の量産化技術開発と販売システムの構築
124	株式会社木質環境建築	中大規模木造建築物に用いる木質ラーメンシステムの実用化
125	株式会社国際建機販売	残コンレス装置の開発とその販売強化による事業の安定的拡大
126	サージカルアライアンス株式会社	患者満足度の高い股関節治療を提供するための牽引手術台の普及事業
127	株式会社ホーキーメディテック	「経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)に関する画像診断支援システム」の開発
128	豊産マシナリー株式会社	ステッピングモーター駆動式薄板アルミ圧延設備用クーラント流量制御バルブの開発
129	株式会社ケイ・チーム	ビーズ刺繍即日出荷と生地のない部分にビーズを付ける革新的サービス
130	株式会社森川製作所	高精度CNC成形研削盤導入による液晶画面製造設備用超硬ノズル薄肉化加工技術の開発
131	株式会社アイティシー	単芯同軸フィルムリードの商品化と量産機の開発
132	エム・エム・プラスチック株式会社	全農での産業系廃棄プラスチックを利用した循環システムの構築
133	G-R-E-X J a p a N株式会社	地域工務店の集客力を向上させる一貫支援サービスの構築
134	有限会社長浦製作所	スーパーエンブラ用インサート成形精密金型の設計加工技術の開発
135	有限会社光精工	大型CNC旋盤を活用した大型試作部品高速試作体制の確立
136	有限会社ケイエス工業	難研磨性材料の極細研磨加工と極細線材専用自動供給機の試作開発をする事業
137	株式会社阪上製作所	マシニングセンタ周辺全工程自動化による夜間無人運転の実現
138	バスリエ株式会社	健康で安心・安全な入浴習慣を実現するお風呂グッズレンタルサービスの立上げ
139	株式会社前田製作所	印刷不良鋼板の印刷剥離とその再利用による不良率の低減
140	株式会社トリマティス	光ファイバ無線用オプティカルダブラーの試作開発
141	株式会社エコライフ	賞味期限切れ廃棄飲料の多段階再資源化処理システムの構築
142	ケメット・ジャパン株式会社	LED向け サファイア基板の高効率・高精度化への研磨体制の構築
143	有限会社ワイピーシー	住宅壁面装飾及びインテリア雑貨用途の紙プラスチック製ブロックの試作開発
144	株式会社小林英	生産性を2倍にするアルミサッシ加工機械の開発と工程整備
145	株式会社コモンズ	車内の消臭及びドライバーのストレス緩和に役立つ精油芳香器の開発

146	株式会社永光自動車工業	産学連携による子供の安全と発達段階に応じた成長を促進する次世代型遊具の開発製造
147	株式会社Gワークス	医療費低減を目指した、医工連携による耐摩耗性に優れたマウスガードの開発
148	共立化成株式会社	蒸留装置の改造による難処理樹脂系廃液のリサイクル処理効率化
149	株式会社ラムテック	眼科向け細径内視鏡の映像を改善し施術しやすい画像を提供する装置の開発
150	株式会社サーマス	腸内の老化現象を改善する機能性プロバイオティクスの開発
151	千葉エコ・エネルギー株式会社	新たな中古太陽光発電所市場における革新的評価システムの開発事業
152	エイチ・ジー・サービス株式会社	戸建住宅向けの高品質・高強度を実現する鋼材とセメント系地盤補強体のハイブリッド工法の開発
153	日機電装株式会社	ディスクモータ生産装置の開発
154	株式会社山二建具	大型木製建具(ドア)を量産化するための技術開発及び生産体制の構築
155	株式会社カネショー	大型でありながら省エネを実現するガラス窓設置用ハイブリッドサッシの開発
156	ロック製菓株式会社	世界初のハラル認定コインチョコの画期的包装とグローバル展開

2次公募分(131件)

NO	申請者名称	事業計画名
157	茂野製麺株式会社	メタボ対策用「低糖質麺」試作のためのデータ分析型製麺開発機の導入
158	有限会社鷺沢自動車	プレパレーションおよび環境配慮型塗装システム導入による即日納車および水性塗装サービスの開始
159	コスモテック株式会社	IT活用による小ロット生産を可能とする生産工場への挑戦
160	株式会社KHK野田	複合加工機を使用した高精度歯車の一貫生産体制を実現する
161	株式会社武井製作所	高性能二次元画像測定機導入による測定品質向上と航空機分野への進出
162	株式会社三枝製作所	高度旋盤加工技術を核とする難削材製品の加工技術開発
163	株式会社ホソヤコーポレーション	強固な危機管理体制を訴求ポイントに据えた新規顧客層への展開
164	有限会社タマチ製作所	樹脂成型用金型の精密加工方法の改善による顧客ニーズへの対応
165	株式会社ナカオサ	真「ナカオサ」企業ブランド確立に向けた、総合印刷生産管理システム導入による企業革新
166	株式会社テクノ・アイ	BtoBで顧客がデザイン工程を操作できるWEBシステム印刷モデル

167	水戸部製缶株式会社	UVインクジェットプリントシステム導入による金属缶の新たな用途の創造
168	株式会社 TERRA LOGISTICS POOL (テッラ ロジスティクス プール)	過去の経験則による素材改良した物流用パレットの開発
169	株式会社ライフエージェント	ITを利用したビル・住宅リフォームコンシェルジュサービス
170	株式会社山村商店	多層フィルム廃棄物のリサイクル及びコンパウンド加工の試作開発
171	吉野酒造株式会社	酒造りの吸水工程の改良による安定量産化
172	株式会社ルミテック	形態素解析を活用した小中学校向け「いじめ関知システム」の構築
173	大和原工事株式会社	加工工程を変革し生産性を向上するための最新NCルーターの導入
174	株式会社エフテック	ディーゼルエンジンの排出ガス環境基準維持システムの事業化
175	株式会社スマートセンシング	超小型風向風速温度計測システムの計測感度と精度の向上
176	株式会社メガテック	バリューチェーン構築による蕎麦事業について
177	オータ精工株式会社	医療機器部品の多品目化(倍増)、納期半減、高精度化に対応できる精密加工システム構築
178	妙中鋳業株式会社	高性能ワイヤ放電加工機の導入による高付加価値精密铸造品の開発と新規受注拡大
179	株式会社誠心堂薬局	中国漢方医の処方伝承する「オーダーメイド漢方薬」支援システムの開発
180	島村金属工業株式会社	服飾用ホックの高効率生産ラインによる生産力増強と 輸出力強化
181	有限会社サムテック	自動ブレーキシステム用金型のためのモールドベース生産システムの高度化
182	窪田味噌醤油株式会社	醸造醤油の膜濾過システムによる量産技術の開発
183	有限会社紅小町の郷	多様化する「道の駅」の顧客ニーズに対応した革新的鮮度保持技術の開発
184	星野興業株式会社	新型切削加工機導入による金型の完全内製化事業
185	株式会社下田金型工業	ペットボトル用金型の精度向上と生産性向上
186	有限会社エムエスイー	電源の大容量化設計に基く、水・空調・情報等用ソーラーハウスの開発
187	株式会社さくら印刷	クラウド活用の「自分史」を中心とした『さくら本作り倶楽部』の立上げ
188	株式会社志村精機製作所	多軸加工機を用いた生産リードタイムの短縮
189	アメリカン電機株式会社	広範な温度環境下で使用可能な耐寒・耐熱大容量配線器具の開発
190	銅店株式会社	日本酒製造における品質・生産性向上と国内外日本酒市場の開拓
191	株式会社シーティージャパン	多層樹脂フィルムのマテリアルリサイクル効率化と工程の短縮

192	キノエネ醤油株式会社	キノエネの味と革新的システムの融合による業務用つゆたれ市場ポジションの確立
193	株式会社キヨシゲ	シャーリングマシンの導入および加工技術の標準化による生産体制の強化
194	有限会社GUSUKU	ユニット先組み工法による生産性向上及び工程短縮への取り組み
195	株式会社ニッチュー	三次元曲面ピーニング&ブラスト加工精密計測システムの構築
196	サトー熱処理工業株式会社	高品質・低コスト・短納期を実現する、メッシュベルト炉を使用した高精度浸炭焼入れ技術の開発
197	小野莫大小工業有限会社	染みになりにくく、肌触りの良い新感覚のシルク生地の開発
198	大金興業株式会社	バイオディーゼル燃料製造・販売の革新、高品質装置の導入とトラック市場参入
199	株式会社兆星	面倒な魚の骨を取った製品を国内一貫生産し、食の安心・安全を消費者に届けたい
200	伝統建築上総匠の会株式会社	地域産材を活用した、特許取得工法による高耐久住宅の標準化・量産化
201	トーヨーテック株式会社	新しい工法(特許取得)による天井内に設置された空調機等の振れ止め金物の製作、販売
202	大橋機工株式会社	横型マシニングセンタを活用した精密金型製造方法の革新
203	スミテック株式会社	小型化・複雑化が進む次世代自動車向け電装部品の高精度プレス成形技術の確立
204	有限会社かねちょう水産	地域資源を活用した高付加価値商品の提供について
205	有限会社三滝コンクリート工業	新規型枠導入による高速道路遮音壁用遮音板の生産能力の向上と事業拡大
206	富洋観光開発株式会社	新たなオリジナルスイーツの開発(ストーンクーヘン)並びに販売事業
207	株式会社遠藤製作所	研磨工程を省略したプレス金型工法による量産化体制の構築
208	株式会社心電技術研究所	家庭用導出18誘導心電計の開発
209	杉崎基礎株式会社	新技術“MOVAX工法”による老朽した橋脚補強耐震工事の短期ローコスト化の実現
210	入船鋼材株式会社	建築関連製品の高付加価値化に対応する生産プロセスの改革
211	稲荷鐵工株式会社	老朽化下水道インフラ緊急修理対応用に特急大型部品製作体制の構築
212	有限会社芝野オートサービス	塗装工程における前処理の簡略化による競争力強化
213	ワヨー株式会社	【エアPOP】の低価格・短納期・高品質での製作プロセスの実現
214	株式会社関口ゴム製造所	縦型射出成形機に横型射出成形機の脱型技術を応用しての高付加価値製品の生産
215	株式会社高橋製作所	小型5軸加工機導入による難削材への対応が可能な社内体制整備
216	有限会社元助商店	高品質冷凍フライの提供及び生産量増大に向けた生産ラインの確立

217	株式会社ビスト	空気圧制御機器用電磁弁における新工法技術開発の為の新設備導入
218	株式会社石源商店	前浜で水揚げされた高鮮度な魚をジャストインタイムで提供するシステム構築
219	ガラスリソーシング株式会社	廃清涼飲料水を基媒とし、乳酸菌を培養した植物活性化材の開発とその製造設備の構築
220	光洋商事株式会社	最新型コラム開先機を導入し、加工技術、生産能力高め、顧客ニーズへ対応する
221	株式会社進富	住宅構造用メッキ鋼板接合技術の開発
222	株式会社山崎商店	地元産鰯を高鮮度・高品質で消費者へ提供するための生産ラインの新たな構築
223	ブルーワークス株式会社	歯科における、国内初となるペクトンを使用した技工物(入れ歯)の開発、製作システムの構築
224	ナノキャリア株式会社	副作用の低減と効果の増強を両立する革新的な癌標的型複合材料技術の開発
225	有限会社アイシン精工	複合型マシニングセンタ導入による生産プロセスの変革と事業拡大
226	株式会社シー・ヴィ・リサーチ	大面積用革新的熱プラズマユニットでの次世代パワー半導体熱処理装置開発
227	株式会社久永製作所	青酸化合物(シアン)を使用しない合金めっきの量産技術確立
228	株式会社つくも	3次元計測による維持管理の視覚化・定量化及び道路台帳管理システムの有効活用
229	太平洋印刷株式会社	アッと驚く絵はがき作りの秘密。世界の人びとに感動を！
230	有限会社山平商店	地元産原料魚を活用した高付加価値製品の提供
231	協進デンタルサービス	デジタル技術による歯科医療品質と生産性を向上させる歯科技工ITプロセスの開発
232	株式会社フジキン光来	食の安全を保証した加工肉食品の多品種開発および小ロット生産体制の構築
233	コトブキテクレックス株式会社	クレーン導入によるリチュービング作業のコストダウン及び効率化
234	株式会社小名木川ギヤー	難削材における高回転歯車の革新的製造の確立
235	株式会社渡辺冷食	新型スパイラル冷凍機の導入
236	有限会社田中金属	医療器向け精密板金部品のスタッド溶接工程における競争力の強化
237	E Y T E X 株式会社	オリンピック開催に向けたテロ対策のための官公庁仕様ショルダーホルスターの試作開発
238	株式会社太陽堂印刷所	ロータリー複合加工機と試作刃を使った高精度な小ロット特殊印刷サービスの実現
239	株式会社ジィ・シィ企画	グローバル展開企業向けグローバルペイメントサービス環境の整備
240	株式会社メディアーパー	職人が有する技術を継承するための医療機器用ステンレス鋼線の専用加工装置開発
241	データハウス合同会社	難削材料加工技術を基盤とした瓦専用工具の開発事業

242	株式会社栄進	高精度で多品種に対応した、バルブガイドの検査装置の開発
243	株式会社ゼクセロン	施設向け利用者間通信遮断仕様専用の情報処理装置開発
244	日南鉄構株式会社	軽量鉄骨住宅システム「Cスタイルハウス」の量産化への試作開発
245	株式会社大西製作所	樹脂射出成形機部品の新規ニーズを先取り！複雑形状加工実現のため設備導入と試作開発
246	株式会社中込工業所	3次元計測・3次元設計を活用した耐震補強工事の設計施工一貫サービスへの拡大
247	アクティブ株式会社	牛糞を原料に生産したグルコースを燃料とする発電機の試作機開発
248	日笙(ニッショウ)株式会社	竹資源を利活用し、安全、安価な家畜用の竹飼料の製販拡大事業
249	日本機材株式会社	自動車トランスミッションギヤの焼結化への挑戦
250	有限会社栗山ブロック工業所	ごみ熔融スラグを使った化粧ブロックの試作開発および高速スプリッターマシン導入による量産体制の構築
251	合資会社寒菊銘醸	流通鮮度維持可能な新市場向け希少酒ベースの香味生酒の開発
252	株式会社山崎組	情報化施工導入によるのり面施工の短納期を目指した体制の構築
253	やちよ村株式会社	古代米普及のための生産委託システムの事業化
254	土谷ゴム化成株式会社	患者の肉体的負担を軽減できる内視鏡検査装置用ゴム部品の開発と量産化
255	株式会社カナヤ食品	食の安心・安全に応える製造工場への挑戦
256	株式会社井浦製作所	地域のものづくり企業の特注品ニーズに応える生産工場への挑戦
257	有限会社なかや	創作ビスケット生地等の提供による製菓・製パン店向け商品施策支援への取り組み
258	しのはらプレスサービス株式会社	3Dスキャナ導入による総合的プレスメンテナンス事業の高付加価値化
259	有限会社澤地シェルモールド	新型シェルマイン等の導入により品質向上及び生産性向上を実現、主要顧客との連携強化及び更なる市場拡大を図る
260	木村プログレス工業株式会社	同質出隅用一体型加工方法の開発
261	増田工業株式会社	ライン見直しによる治具跡を付けないアルミ特殊めっきの生産性向上
262	株式会社マサキ工業	高精度三次元測定機およびラベル機導入によるプラスチック容器製造プロセスの改善
263	昌和プラスチック工業株式会社	ガス抑制による品質向上、高付加価値化した肉厚製品の生産体制構築
264	アクティブ販売株式会社	穀物の色彩区分・形状区分の判定装置及びデータ集積回路の開発
265	株式会社ニチオン	医療従事者のための医療機器マニュアルの開発と提供
266	株式会社風土食房	農家さん御用達の農産物小ロットレトルト加工サービス

267	株式会社大野紙器	貼箱の価値の再発見と生産プロセスの革新による事業拡大
268	吉山プラスチック工業株式会社	特殊な複合成形品を安価かつ高品質で提供する生産システムの構築
269	プラネットコム株式会社	E Cサイトが無くても来店客にネット販売が可能なりアル店向け”どこでも販売”システム
270	株式会社フジテック	特殊船舶(救命ボート等)向け防護塗装と複合材料の開発とその施工方法の開発
271	システムエンジニアサービス株式会社	低コストと環境負荷軽減を実現する普及型
272	株式会社ハニック・ホワイトラボ	高機能な新規口腔保湿ジェルの開発及び商品化
273	有限会社ミカタ	言語聴覚士によるクラウド型『認知症脳リハビリ教材』の開発
274	有限会社日本豆腐大和屋	新たな製造工程と新機能冷却機の開発による冷凍豆腐、冷凍豆腐惣菜品の販売
275	株式会社アーティエンス・ラボ	導光板型3Dフルカラーホログラムの開発、及び製造システム構築
276	明和プラスト株式会社	樹脂一体成形の製造工法改善による品質向上及び低コスト生産技術の開発
277	トラストワン株式会社	太陽光パネルリフォームの無料診断とリフォームによるエネルギー事業参入
278	黒船	地域初の多品種中量生産体制構築による手土産市場への販売拡大
279	Genomedia株式会社	熟練技術者の人手不足を解消する、スマートサンプル調製システムの試作開発
280	京葉プラントエンジニアリング株式会社	豚疾患PRRSの発症を抑制する粘膜免疫系の賦活化システムの開発
281	株式会社いしだ屋	電子レンジによる加熱・保温可能な身体拭き用ウェットタオルの試作品開発・製造
282	株式会社吉野機械製作所	高圧力発生装置の画期的最新鋭機種開発および増産にむけた量産体制の確立
283	青柳食品株式会社	低塩低糖且つロングライフの新商品開発
284	株式会社東京螺旋鋌	多品種・少量生産・難作材に対応した完全自動の横穴自動機の開発
285	中央ビルト工業株式会社	プラス10センチで現場作業が劇的改善！枠組足場用ジョイントの試作開発
286	有限会社岩井製作所	内視鏡手術用処置具の開発による医療機器製品製造分野への進出
287	白金樹脂工業株式会社	顧客の成形品質安定ニーズに対応するための生産体制の革新

平成27年度補正

ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

採択事業者一覧(全172件)

1次公募分(168件)

NO	申請者名称	事業計画名
1	大成ファインケミカル株式会社	小型プラント導入による試作と小ロット向上による原価低減と短納期の実現
2	株式会社東栄	プリザーブドフラワーの新加工溶液の開発と観賞用植物の新花材の試作
3	クレイドルカンパニー株式会社	ワイヤカット加工速度の向上による食品用ロボットアーム部品の増産計画
4	精技金型株式会社	高意匠化した金型の短納期対応の実現
5	執行工業株式会社	オリジナル溶接マシン導入による新型ボイラーの量産化対応
6	株式会社E S L 研究所	IoT用プログラマブルスマートデバイスの試作開発
7	株式会社小黑組	建設生産プロセスにおけるICTの活用によるリアルタイムロジスティックの構築
8	鍋店株式会社	日本酒の香味向上による製品価値の向上と、海外への販路拡大
9	東京螺旋工業株式会社	切削加工のリードタイム削減による送電線用特殊ボルトの増産計画
10	株式会社サヤ	“土中水分水位計”による土砂崩れリスク判断装置の開発
11	共立速記印刷株式会社	最先端精密検査装置導入による機密情報印刷物の品質保証と競争力強化
12	橋田機工株式会社	省エネで誰が使っても均質な『あん』製造が出来る自動さらし機の試作
13	有限会社彩侍	千葉県産日本酒を使用したプレミアムチョコレートの開発及び輸出
14	シティライフ株式会社	業界の常識を変える！名入れカレンダーの内製化による超短納期生産
15	株式会社タカマサ	新型穴あけ、切断加工機を導入した製造ラインの改善による納期半減と人時生産性30%向上への挑戦
16	株式会社平田精機	CNC旋盤導入による腹腔鏡下用巾着縫合器の早期製品化
17	株式会社協同工芸社	ショッピングモール型店舗の品質要求に応じた亚克力文字の25%納期短縮
18	株式会社幼稚園給食	新容器を用いメニューの拡充を図る事で、子育て支援へ貢献を行う
19	太田工業株式会社	耐震・免震性の強化に伴う複雑形状加工技術の高精度化・効率化
20	有限会社川田工業所	スチールコンテナ用コーナー金具の改良等による受注拡大

21	オールセンサーズアジアパシフィック株式会社	環境開発における独自開発した高精度圧力センサを用いた多点風洞実験システムの事業化
22	株式会社オブティ	高出力レーザ用光コネクタの高品質化
23	ニッポー株式会社	おいしく楽しく健康に貢献できる機能性おやつと包装技術の開発
24	株式会社谷村製作所	鉄骨製作において1次加工ライン導入による多種多様な製作物および短納期対応の生産体制の確立
25	YKM商事株式会社	高感度CCDによる蛍光撮影でカビ被害粒の自動除去装置を開発
26	株式会社小沼製作所	三次元測定器導入による高精度真空部品製造体制の確立
27	株式会社A-Traction	手術技量のばらつきを低減させるための手術ロボット制御手法の開発
28	東薫酒造株式会社	千葉県を代表する銘酒である東薫酒造謹製「純米吟醸酒・純米大吟醸酒」の研究開発・輸出事業
29	フクバデンタル株式会社	マイナスイオン歯ブラシ用ブラシヘッド部分の植毛加工の自動化と内製化
30	オーム技研工業株式会社	顧客ニーズに対応するための設備導入と生産体制構築による競争力強化
31	株式会社大和鉄工所	食品分野に特化した包装容器用口金の試作開発
32	木戸泉酒造株式会社	独自製法で醸造した銘酒「木戸泉 アフス」の輸出拡大事業
33	有限会社福山火花工場 株式会社ネクストリビューション 風鈴堂	CGを活用した花火大会のビジュアル化による顧客満足度の向上
34	株式会社バースヴィジョン	梱包作業の効率化による廃プラスチック残渣の有効活用の促進
35	株式会社P. R. A	半導体製造装置向け「高周波整合器」互換機の開発製造および新規販売方法の実現
36	株式会社食器プロ	飲食店向け業務用食器・調理器具をワンストップで提供するインフラの構築
37	株式会社日本クロス圧延	航空宇宙・医療分野等で使用される超小型部品製造に貢献する高精度平坦度の金属箔の連続生産方法の開発
38	株式会社オチアイ	材料コスト低減及び生産能力向上に対応する最新サーボマルチプレス機の導入
39	有限会社長谷屋商店	地域資源認定品である「鯖」を活用した製品の生産性向上について
40	株式会社ケイオー	最先端のUV印刷機等の導入によるケースのプリント技術の高度化
41	株式会社ヘクセンハウス	試作・製造工程の高度化による「お菓子の家」の多品種化・高付加価値化と販路拡大
42	株式会社パール技研	A T C式複合旋盤の活用による、難形状歯車の短納期化と高精度化
43	株式会社ビスト	車載クレーン脚部に使用される新型油圧逆止弁の開発のための新設備の導入
44	チヨダエンジニアリング株式会社	自動車製造環境(ロボット溶接)タクトタイムを大幅に短縮達成する革新的高耐久プラスチック継手の量産化
45	ナノキャリア株式会社	精密製造で体内送達を高精度化する革新的な癌標的型複合材料技術の開発

46	株式会社天野産業	環境に配慮した多様な被覆電線破砕による銅ナゲット加工販売事業
47	スミテック株式会社	電気自動車等に搭載するバスバー部品の大型化・複雑化に対するプレス加工技術の向上計画
48	有限会社中台製作所	IT技術を活用した革新的な神輿提案ツールの開発と祭り・神輿文化の振興
49	村岡ゴム工業株式会社	日本のタイヤ生産を革新する新素材再生ゴムの開発
50	有限会社塚越製作所	新プレス機導入による生産性・効率性の向上および技術の標準化
51	しのはらプレスサービス株式会社	プレス機械点検データのデジタル化によるプレスメンテナンス事業の高付加価値化
52	株式会社河野製作所	ネットおよびIT活用によるカスタム仕様の医療機器製造システム
53	はちどり先生の接骨院	妊婦向け治療サービスによる付加価値化と新設備導入による効率化
54	サンレイ工機株式会社	独自のカーボンロール技術を高度化し、併せてプロペラシャフトの一貫製造技術の確立
55	株式会社テクノプローブ	高周波IC測定に用いる、Bias Tee付き導波管プローブ(75～110GHz)の開発と事業化
56	株式会社レジナ	屋内配線から発生する電磁波(電場)対策としての日本初の導電性壁材・下地材の開発
57	株式会社メガテック	屋根壁材に使用するめっき及びカラー鋼板の波板製造・施工・販売事業
58	株式会社センターラボ京葉	5年後の歯科技工界ショックを見据えた、将来の海外展開視野の革新的遠隔地歯科補綴物提供サービス体制の確立
59	日本機材株式会社	カメラマウント市場における世界シェアの奪還
60	株式会社藤井製作所	オーダーメイド医療器具を安価に提供する生産プロセスの開発
61	株式会社イワサテック	最新鋭複合加工機を用いた高精度小中型歯車の加工法の開発
62	ロイヤルエンジニアリング株式会社	極薄肉樹脂成形体の合理的手法による製造技術の開発
63	日本クロイド工業株式会社	ギヤポンプの特殊シャフト加工技術開発による柔軟なカスタム対応体制確立
64	マルヤス機工株式会社	パーティクルボード加工対応のあらゆる超硬チップソーに対応できる再研磨サービスの確立
65	フルトラム株式会社	医師の要求に速やかに応える、スマート・スコープホルダーの開発
66	株式会社福山医科	人工骨インプラントの量産化に向けた製造工程の確立と医療機器製造承認戦略
67	テシマ歯科医院	CTを用いた歯牙再植、自家移植及び難治性根管治療の飛躍的な成功による非抜歯治療の拡大
68	平野コンクリート工業株式会社	養生設備導入によるセミフラット型側溝の量産体制の構築と事業化
69	鳥海製作所	同時5軸制御システム導入による等速ボールジョイント用金型の作成
70	有限会社西原電子	レーザ発振モジュール対応高速制御プログラマブルコントローラの開発

71	東京機工株式会社	建設現場の工期短縮に貢献するスマート建材の一貫生産技術の開発
72	千葉オイレッシュ株式会社	処理困難性廃油(酸・アルカリ性廃油)のリサイクル燃料化プロセスの確立
73	株式会社ヤマトメタル	ホワイトメタルの置き注ぎ鋳造作業に代わる革新的接合技術開発による生産性の向上
74	株式会社ホンダ	ガスタービン用ダクト製造におけるカット工程の生産性向上事業
75	アシザワ・ファインテック株式会社	未然に故障を防ぐ高付加価値保守サービスの提供
76	株式会社ダイナコム	ビッグデータにおける組合せ数爆発的増加を解決する新最適化法による判別分析サービス提供
77	株式会社ムラオ	貴金属・宝飾品向けチェーンの高度化とプロセス革新による生産能力増強の実現
78	小澤産業株式会社	極厚鋼材における高精度溶断加工技術確立による生産性向上事業
79	株式会社三栄興業	高コスト強化プラスチックを低コスト化するための炭素繊維強化ポリプロピレンの開発
80	根本企画工業株式会社	部品加工の改良による革新的管路曲り測定装置の高性能化ならびに製造期間短縮
81	生田精密研磨株式会社	映像系非球面レンズの非成形研磨による高度加工技術の研究開発
82	株式会社大真金型	金型の修理方法を開発することによる市場シェア拡大の実現
83	株式会社宮崎工業	使用済み型枠を用いたバイオマス燃料によるリサイクル事業の立ち上げ
84	小野莫大小工業有限会社	光沢感があり肌触りが良く洗濯が可能な新たなウール生地の開発
85	有限会社浅草ギ研	ロボット用静音アクチュエータの開発によるロボット関連事業の拡大
86	株式会社デクシス	多品種小ロット品や異形状品検査に最適な双腕外観検査ロボットの開発
87	株式会社トリマティス	精密加工に適したレーザ加工機用大電流短パルスLDドライバの開発
88	福井電化工業株式会社	IoTを活用しためっき設備の異常早期発見と対応体制の構築
89	株式会社フォレスト・ワン	睡眠時無呼吸症候群患者が毎日使いやすく治療効果を向上させる口腔内装置の開発
90	株式会社北辰	鮮魚不快臭分解に供する天然由来の安心・安全な分解酵素の生産
91	株式会社農亜	千葉県産のこだわり卵を使った本格スイーツプリンの開発
92	ハッピーバウムショップ&カフェ	世界初!卵形のバウムクーヘンの開発、君津銘菓としての販路拡大
93	株式会社ヤマトマネキン	短納期かつ安価で高付加価値造形物を提供可能とする生産プロセス革新
94	株式会社ジィ・シィ企画	堅牢性が高く安価に導入できるカード会社向けクレジット決済システムの構築
95	ちば醤油株式会社	液体調味料主カラインの生産プロセス革新を図る

96	株式会社NEMCO	環境負荷の少ない素材を用いた屋外広告、看板等の新規印刷技術の開発
97	特殊技研金属株式会社	トップライトの生産プロセス改革による先進的大型建築産業への貢献
98	株式会社菱興社	円筒研削盤導入による特殊工具「巻芯」製作の競争力強化
99	エム・エム・プラスチック株式会社	容器包装プラスチック(P P)廃棄物の資源化生産プロセスの革新化
100	岡田工業株式会社	ユニット鉄筋の最新製造ライン導入による建築職人不足支援と生産拡大
101	大明貿易株式会社	廃プラの国内資源循環リサイクルの強化
102	有限会社ベルグ	新型オープン等の導入による「ハードパン」製造への対応
103	アドバンスト・ソフトマテリアルズ株式会社	超分子技術を応用した高復元性軟質ウレタンフォームの製品開発のスピードアップ
104	習志野化工株式会社	顧客からの希望や要望を解決できる！トータル塗装システムの確立
105	ファオン株式会社	無指向性スピーカ テナムの加工工程の機械化と新モデルの試作開発
106	株式会社飯沼本家	清酒製造における最新モデルの冷却設備および充填ラインの導入による圧倒的な競争力強化と多様化する顧客ニーズへの対応強化
107	飯島・東洋株式会社	モータコアのプレス内仮溶接技術の開発
108	万星食品株式会社	入口出口工程への最新型X線検査装置と遠心分離機能付きチョッパーの投入によるIoTを活用した異物除去システムの構築
109	東商ゴム工業株式会社	大口径対応の押出成形機導入による、一貫生産体制の強化と生産技術の革新
110	株式会社サラヤ保崎商店	勝浦で水揚げされる高鮮度な魚を使用した新製品開発及び生産ライン向上計画
111	金高水産株式会社	生産性向上及び安心・安全の追及を目指した生産ラインへの改善に向けた取り組み
112	株式会社丸北工業	建設業界ニーズに応える高精度鋼材部品の短納期生産体制の確立
113	日進化成株式会社	精密電装部品めっき製造用電極の製造プロセスの確立と事業化
114	有限会社小宮水産	微細気泡生成技術を取り入れた活魚輸送の長距離化
115	株式会社西川	最新設備導入による主力商品(銀鮭切り身加工)の生産性向上計画
116	株式会社岩瀬商店	地元いすみ市の地域資源を活用した高付加価値商品の提供について
117	スズキ機工株式会社	自社ブランド潤滑剤の小型化と潤滑性能の見える化による訴求力向上
118	株式会社木村食品	タイ国の消費者をターゲットにした日本産及びタイ産米の切り餅販売事業の開始
119	菊川工業株式会社	個別受注生産工場におけるIoT活用管理・改善システムを用いた生産性向上対策
120	有限会社高木商店	地元産原材料をメインに活用した高品質な干物製造のための生産体制の構築

121	武蔵オイルシール工業株式会社	低トルク薄肉オイルシール開発と最新複合機導入による高度生産性向上
122	株式会社阪上製作所	独自ヘール技術開発による全金型の一体彫り2枚型化と生産性向上への挑戦
123	株式会社ハニック・ホワイトラボ	口腔ケア商品の販路開拓を含めた新しい受託製造販売サービス
124	鶴岡食品株式会社	地元原魚を活用した高品質な新製品提供のための生産ライン設置
125	株式会社川越屋	落花生下処理加工廃液の浄化工程強化とその濃縮液の活用
126	木村プログレス工業株式会社	担い手減少と集中する需要に対応できる生産ラインへの革新
127	株式会社アバン設計	制震の低コスト化と性能をアップさせるハイパーボウシンの開発
128	武田紙器株式会社	多目的製函機による小型から中大型までの段ボール量産
129	有限会社岩井製函	輸出品の流通速度の促進と新しいシール受注生産システムの構築
130	有限会社ぼうまた水産	ドリップ漏出防止により美観の維持と簡易包装を実現した干物製造
131	合資会社寒菊銘醸	香味・旨味と食の安心ニーズに応える、地域食材を活かしたプレミアムエールビールの開発
132	株式会社ケイ・チーム	世界初！ビーズ刺繍への着色技術の開発による革新的装飾技法の確立
133	株式会社Eプラン	金属加工分野の生産環境を改善するスーパーアルカリ洗浄装置の開発
134	京葉バンド株式会社	CNCパイプベンダーと3次元測定器のシステム連携による自動曲げ加工修正システムの開発
135	LIMITEX株式会社	回路基板用銅張積層板のコストを画期的に低減するポリイミド接着剤の開発
136	コスモテック株式会社	水素社会に対応した高強度大型パネルを生産可能な工場に革新する
137	株式会社内山電機製作所	成長分野に貢献できる高度な溶接技術導入と高付加保守サービスを構築
138	株式会社アステック	次世代エアバックを実現する高精度・高生産性プレス加工技術の開発
139	スペクトラ・クエスト・ラボ株式会社	小型・簡便・省エネタイプの広帯域・高分解能テラヘルツ分光システム実用化
140	株式会社セリッシュエフディー	乳癌等の核酸医薬治療効果の評価用試薬の試作開発
141	株式会社大菜技研	高機能型・高性能レオメーターの性能向上
142	株式会社関口ゴム製造所	ゴム製品の金型製作から製品品質保証までの一貫生産体制の完成による企業価値の向上
143	株式会社山田技研	鷹型ドローンの開発による鳥害問題の解決
144	株式会社ベルリング	消火活動用ホース延長機材のボディー、足回りの研究・試作品開発
145	株式会社 オーエックスエンジニアリング	『設計の3D化』による開発委託業務の効率化と販路拡大事業

146	有限会社丸十スポーツ	最新型刺繍機の導入による、新たな付加価値生産性を秘めたものづくりへの挑戦
147	株式会社アクティブ・21	ホテルの客室稼働率向上に貢献する画期的な香水消臭剤の開発
148	株式会社新領域技術研究所	ヘリウムガス用大容量高純度精製器の開発
149	マック株式会社	労働災害を抑制するための山岳トンネル無人掘削システムの開発
150	有限会社山崎清八商店	高性能精米機と顧客管理システム導入による新規顧客の獲得
151	株式会社キヨシゲ	ロボット溶接設備の導入および加工技術の標準化による一貫生産体制の強化
152	株式会社農 有限会社橋村商店 ハム工房ささ木	千葉中心の純国産食材を使ったハラルフードの開発と海外展開
153	株式会社高橋マシニング	熱影響抑止機能付きマシニングセンタ導入と専用治具による溶接後の切削加工と生産体制の高度化
154	東京フェライト製造株式会社	磁場配向装置の開発による射出成形フェライト磁石の品質向上と生産性効率化
155	守屋酒造株式会社	観光蔵としての九十九里の地酒「舞桜」の劇的な品質向上と品質安定化のための機械設備導入
156	有限会社エムエスイー	農地で再エネを活用する電力完全自給・遠隔制御型植物工場の開発
157	株式会社黒澤製作所	セパレート式ダクトの開発による顧客ニーズの充足と生産の効率化
158	株式会社村上製作所	面板加工技術の高度化と効率化による顧客ニーズ充足と新市場進出
159	ウィンテック有限会社	高圧用油圧シリンダ向け特殊パッキンの開発と耐久性試験等の実施
160	株式会社オルガノサーキット	低コストカラーデジタルポスター用大判電子表示シートの開発
161	株式会社ニチオン	ハプティック機能を有する低侵襲内視鏡下手術用油圧式鉗子の開発
162	F I T 株式会社	認知症徘徊行動における介護者負担を画期的に改善する自律型追跡システムの開発
163	株式会社市ノ澤精機	「特注品から量産品まで」職人技と最新設備による加工メニュー拡大
164	株式会社吉野機械製作所	加圧性能大型プレス機の短期納入に係る金型加工設備導入事業
165	有限会社イース	神社仏閣のお守りの鈴の製造接合工程における職人の手作業からの自動化
166	サムライヌードル株式会社	オリジナルライスヌードル製麺機の開発及び販売
167	株式会社共進ペーパー&パッケージ	極小ロットの紙パッケージ製造のIoT化による革新的サービスの実現
168	ピア・デンタルクリニック	歯周病菌の治療の精度と患者満足度を高めるための最新設備の導入

平成28年度補正

革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

採択事業者一覧(全140件)

1次公募分(140件)

NO	申請者名称	事業計画名
1	株式会社日本クロス圧延	軽量と高強度の特性から電子、航空宇宙、医療分野への活用が期待される高抗張力鋼板の薄板の生産方法の開発
2	有限会社ワイピーシー	屋外で使える子ども向けブロックの安全性強化と量産体制構築
3	有限会社ジャスト販売	最新型NCフライス導入による既存事業の生産性向上及び革新的インテリア事業の設計開発
4	株式会社ニッチュー	次世代軽量化部材対応・精密亜鉛球粒製造システムの開発
5	株式会社糸川製作所	世界的な慢性疾患を改善するための血液分析装置部品の生産性向上
6	株式会社サヤ	加速度計一体型インフラサウンドセンサーの面的多点配置による津波観測システムの構築
7	F・ヒロタキ株式会社	建築ラッシュに対応する2次加工済み厚鋼板建材の増産及び短納期体制の確立
8	ニホンハンダ株式会社	メカニカル分散製法によるはんだペーストの高性能化
9	株式会社シーティージャパン	農業用ポリエチレンフィルムリサイクル事業の生産性向上
10	スピック株式会社	溶接ロボットの導入および特殊治具開発による鉄骨等の革新的生産方法の確立
11	山本歯科医院	頭頸部がん治療病院との地域医療連携によるがん治療早期化の取組み
12	三水鐵工株式会社	地域のインフラ整備に資するロボット・IoT技術活用による次世代鉄骨生産体制の構築
13	株式会社テクノプローブ	ダイヤモンドニッケル接点のPCBを使った次世代光通信機用測定治具の開発と事業化
14	株式会社協同住宅	洗剤レス&IoT利活用!最新コインランドリーモデル店舗の開発
15	有限会社オサダ	最新式畳製作機械の導入により生産性の向上・品質の安定化・省力化と新型畳開発による事業の拡大
16	株式会社ア・ファン	メーカー保証が切れたAIBO及びビンテージ機器の修理部品の内製化
17	株式会社アガツマ	地域密着で超短納期、当日納品枠の拡大を実現するIoT導入と運用
18	有限会社朝山工業	開先角度25°溶接の導入による短納期、低コスト、低環境負荷の実現
19	株式会社ケーヨーハード	ロール製品製作に対応する研磨技術の高精度化への取組み
20	有限会社宇田川鋳金工業	「裏方の下請工場」から「速さと技を見せる工場」へ。業界とエンドユーザーに訴求するサービス工程の開発

21	有限会社朋友	正確な時間管理の導入による生産性と内製化率の向上
22	株式会社小川屋味噌店	最新式全自動殺菌冷却機の導入による麹菌由来の「あま酒・もろみ」製品の生産性向上と事業拡大
23	株式会社トーテック	車載用基板の膜厚均一化Niめっき技術の開発
24	銅店株式会社	輸出市場拡大に対応した日本酒生産ライン見直しによる生産性向上
25	有限会社チバテック	最新型レーザー加工機等とIoTを活用した、生産プロセス革新による、再生医療アイソレーター事業確立
26	株式会社カネコ	複雑形状ネジ製造における生産プロセスの革新による高精度化、短納期化計画
27	泉ベーカリー	地元産米を用いた「ぶどうパン」のハラル認証取得と海外展開
28	有限会社中村材木店	在来工法用3DCADによる新たなサービスの展開
29	有限会社フカサク	銚子港に水揚げされる鮫の皮を活用した「本鮫おろし板」の生産・輸出事業
30	有限会社西村製作所	コンパクトでプライバシーに配慮した介護専用おむつ交換車の試作品開発
31	有限会社コスモス環境サービス	産業廃棄物処理施設の新設による野田市内の処理施設
32	株式会社仁風	ハイパー空師オリジナルブランド促進計画
33	有限会社文明軒	生麺製造における恒常的衛生課題を解決し高品質・少量多品種生産の実現
34	株式会社バースヴィジョン	再生プラスチック材の高品質化・多様化に対する乾燥工程改善による製造コスト削減と省CO2の実現
35	ミックスコア	ファッション動画上で洋服の“着まわし”を体験できるサービスの実現
36	ビットジュール合同会社	中小施設園芸向けオールインワン環境制御IoT機器の試作開発と商品化
37	株式会社ユーデント	歯科材料をルアーロック式注射筒へ充填するシステムの技術開発
38	有限会社陽だまり	病気の後遺症からの回復を助ける新たな複合介護
39	シフトアップ株式会社	展示会ブースの3Dシミュレーターの導入による新規出展者向けサービスの展開
40	株式会社中村総業	PETボトルリサイクルシステム装置に破袋・除袋機導入による生産性の向上
41	高压化工株式会社	紫外線プロテクト樹脂ボトルを開発し、容器内製品劣化から守り、鮮度維持・廃棄を減少させ、環境改善に寄与する
42	古川オール株式会社	複雑な断面形状加工かつ短納期対応が可能なサッシ製造の実現
43	マック株式会社	建設工事生産性向上のための山岳トンネルモニタリングシステムの開発
44	株式会社デクス	IoT・AI・ロボットを用いたバイアル粉末異物検査装置の開発
45	株式会社P. R. A.	当社開発の半導体製造用周辺機器の量産体制構築と生産管理

46	株式会社Eプラン	飲食店向けの食の安心安全を支援するサービスの開発
47	株式会社平田精機	超音波凝固切開装置を構成する部品の開発及び輸出
48	株式会社wash-plus	全国展開に向けたセントラルランドリー／機器システム開発
49	株式会社BAN-ZI	油性塗料並みの対候性・防錆性を実現する水性サビ止め塗料の開発
50	高橋金属株式会社	長尺鋼板における延ばし・切断・曲げの付加価値加工技術の開発
51	しのはらプレスサービス株式会社	溶射工法を確立して高付加価値なプレスメンテナンスを提供する
52	株式会社アミンファーマ研究所	AI解析導入による脳梗塞リスク評価事業の効率化および海外市場進出
53	開発化学工業株式会社	コスト削減・CO2排出削減に貢献する画期的なVOC焚きキット
54	株式会社ケイエフ	産業用鉛蓄電池の延命化を可能にする噴霧器の開発
55	株式会社関口ゴム製造所	ロボット及びIoTを活かした監視システムの導入によるロスのない生産体制・監視体制の確立
56	株式会社ナノテック	ナノレベル超鏡面仕上げ研磨機導入による商業生産実施
57	株式会社塚本ゴム	長尺複雑形状のゴム製品製造のための金型分割式真空プレス成形工法の開発
58	株式会社フテロシステム	スマホとIoT技術を活用したゴルファーの利便性を高めるクラウドサービスの構築
59	株式会社須藤本家	100%蕎麦焼酎“花白kajiro”の量産化による販売ルート拡大と海外展開
60	株式会社實埜邑	6次産業化ネットワークを活用した「大豆茶・大豆コーヒー」の製造・販路開拓
61	株式会社光製作所	地盤改良工事用無溶接継手溶接加工プロセスの抜本改善への取り組み
62	株式会社アクトラインイーエフ	スマート端末を活用した人材派遣事業の高生産性業務サービス実現
63	執行工業株式会社	ブランク・曲げ・溶接・切削の全工程のIoT化対応による生産性革新
64	有限会社大塚機械	大径長尺金属製品加工のQCD革新化と技術伝承を図る大型CNC正面旋盤の導入
65	株式会社ろくや	旅館自慢の新鮮な南房総の魚料理を、鮮度そのままに贈り物にする事業
66	株式会社エスコアール	言語聴覚士との連携による言語障害者支援ネットワークサービスの立上
67	エクセレント株式会社	最新型印刷物用逆ピロー包装機の革新的活用による売上高50%アップ計画
68	株式会社井浦製作所	飛行機整備機具等の大型の特注品ニーズに応える生産工場への革新
69	株式会社タイセー	「ドローン自律飛行用衝突防止レーダ」アンテナの開発
70	株式会社真田製作所	医療機器分野への新規進出に向けたエンブラ材の高精度加工の確立

71	株式会社パール技研	同時5軸加工の活用による複雑形状特殊ネジ加工のコスト削減と高精度化
72	亀田酒造株式会社	自社独自開発による高品質低価格な日本酒を海外展開するための増産体制の強化
73	有限会社岩井製作所	多軸ジョイント構造を活用した多機能外科手術器具の試作開発
74	飯島・東洋株式会社	新構造油圧プレスでの生産方式の開発による生産性の向上
75	ガラスリソーシング株式会社	使用済み飲料用容器を資源物ととらえ、徹底したコスト削減を実現し、資源物化するサービス
76	株式会社さかえ屋	OEMカステラ製品の積極的な展開による新規顧客の開拓
77	株式会社ナルビー	経営力向上に資する熱処理工程の連続運転を可能とする生産体制の革新
78	株式会社タチバナ製作所	当社独自EV・PHEV向け充電ボックスの製造と販売及びIT化
79	株式会社商和	国内産原材料を使用した餃子の新製品開発による新規販路開拓
80	Green Earth Institute株式会社	木質バイオマス由来の化粧品用エタノールの試作開発
81	株式会社リオ	燻製調味料の香り操作の確立と革新的流用法
82	有限会社エムエスイー	太陽光発電で自動充電と定期駆動制御を行うドローン
83	おもて歯科医院	手術用顕微鏡を活用した歯科治療の高精度化と見える化による新サービスの構築
84	株式会社エーアンドエム	観光施設・ホテル向け立体造形デザイン高品質量産化システム確立
85	京英株式会社	グラスウールを使用した耐熱保温ジャケット/シートの新規製造体制の構築
86	東葛テクノ株式会社	配管用「伸縮継手」の寿命診断技術と耐震・長寿命製品の開発
87	株式会社ネクストファーム	栄町の地域資源「どらまめ」(黒大豆)の枝豆選別代行の革新的サービス展開
88	株式会社三共合金鋳造所	革新的鋳造・切削技術による特殊鋼圧延機大型精密部品の量産体制の確立
89	アクティブ販売株式会社	深紫外LEDによる菌被害粒除去機能搭載品質管理選別装置の新規開発
90	株式会社キャッチ	オールインワンタイプの新たなコンテナハウスの提案
91	株式会社セリッシュエフディー	マイクロフロー系を利用した世界初の病理組織切片多色蛍光染色装置の試作開発
92	島村工業株式会社	顧客ニーズの高いサービスパーツの即時納品に対応する生産体制の構築
93	株式会社ミノダ	自分のデザインが刺繍になる!街角デザイナーが集う、自由デザイン刺繍Webサービス
94	大和田オフィス株式会社	熟練講師の指導を自動化し、手厚いケアを可能にする学習塾システム
95	なかよし歯科医院	二割の人が違和感を持つ顎関節障害に3Dプリンタでマウスピース治療

96	株式会社いっぷく堂	ベタつかずに、一口サイズでどこでも簡単、食べきれ、個別包装干し芋の提案
97	小澤産業株式会社	リフティングマグネットの利活用による生産プロセス改善による生産性向上事業
98	アドユニバース株式会社	IoT、AIによる子供向け写真館の自動画像選定・編集
99	株式会社信英精工	CNC旋盤装置の導入によるニードルベアリング部品の多品種小ロット製造工程の開発
100	株式会社太陽堂印刷所	定形外封筒に対応したIoT搭載フレキシブルフルフィルメントシステムの開発
101	東原産業株式会社	即切り対応の生産プロセス改革による超短納期・競争力強化の実現
102	株式会社アイエスエイ	E-Learningシステムの拡充による新しいIT教育の確立
103	株式会社アクティブブレインズ	教育の情報化によるICT支援員不足を改善するサポートサービスの開発
104	株式会社フレックス・エス・ピー	最新設備ランニングソーの導入による生産プロセスの改善と競争力の強化
105	株式会社ディッジ	3DCGの技術を用いたオーダーメイド玩具の創作サービスの構築
106	株式会社 commons	天然の香りと消臭・抗菌効果で上質なトイレ空間を作る衛生サービスの商品化
107	高橋製粉株式会社	食品安全管理の国際基準を満たし、海外出荷に向けて増産体制を構築する
108	株式会社ビスト	弊社初の大型部品の精密加工技術開発とケーシングの改良開発（ケーシングとは、油圧ポンプの重要な構成部品を収納し、稼働させるための容器のこと）
109	株式会社ダイニッセイ	閉鎖圧着技術の導入によるレディメイド方式の革新的工法の確立
110	株式会社川越屋	ネットワークを活用した給袋自動包装ラインの導入と生産システム変革の基礎作り
111	株式会社イズズフーズ	横芝光町発・解体～加工まで一貫生産の牛モツの鮮度アップと即納化
112	株式会社飯田本家	清酒蔵が作る健康を意識したディアベティカ・ワインの生産
113	湘南機工株式会社	設備導入による内製化率向上と高精度加工ノウハウの他業界への転用
114	張替鉄筋工業株式会社	超高強度コンクリートに対応する鉄筋加工機導入と生産性向上計画
115	インターメディック株式会社	新規試薬開発に資する自動化測定器の開発導入と新規試薬の開発
116	株式会社ファソテック	胸腔鏡手術トレーニングのための国内外普及版胸郭シミュレータの開発
117	フェノバンス・リサーチ・アンド・テクノロジー合同会社	『チック症』の人工知能型診断支援システムの開発
118	小野莫大小工業有限会社	抗菌性・消臭性の高い高機能生地の開発及び新生地専用設備の導入
119	株式会社国際情報ネット	病院と患者の負担を低減する院内ロボット・サービスの構築
120	有限会社デフィ	高精度NC旋盤導入による絶縁ハイブリッドプーリーの開発・製造

121	サトー熱処理工業株式会社	浸炭焼入で薄物ワークが面接触しない自動投入装置の技術開発
122	株式会社農	千葉県産食材を使った機内食「ムスリムミール」の製造体制構築
123	アシザワ・ファインテック株式会社	確実な結果をタイムリーに提供する粒子評価サービスの構築
124	株式会社村上製作所	金属加工のIoT化によるコスト削減と自動化、新規加工分野進出
125	株式会社エムズファクトリー	「水引」を利活用した手芸用素材の開発と少量多品種加工体制の構築
126	株式会社グリーンアース	最新型破砕機導入によるNETIS新工法の施工体制の確立
127	木村プログレス工業株式会社	集合住宅・店舗用出隅の需要に対応できる製造ラインへの革新
128	サンキ植物工場株式会社	独自開発した水耕栽培システムによる発芽にんにくの高品質かつ大量生産の実現化
129	日本クロイド工業株式会社	エリクロイドポンプのギア精度向上による効率向上技術開発
130	有限会社ミカタ	言語機能向上と介護職員不足を解決するマルチプログラム動画教材の開発
131	株式会社光機械製作所	ガラス基板を高精度・高効率に切断するレーザ加工技術の開発
132	株式会社プランツファクトリー・インザイ	生分解性ネットを活用した培土培地とロックウールプラグの生産
133	太平洋印刷株式会社	特殊インクを用い複製・偽造不能なバーコードなどを生成する。
134	株式会社北販食品	ふっくら・やわらか・臭みがない骨取り切身漬魚の製造体制の確立、EC市場への参入
135	吉野酒造株式会社	品温管理システムの確立による食用米を使った純米吟醸酒の安定生産
136	有限会社桐栄製作所	多種多様な顧客ニーズに応えるためのセラミックス加工による生産性向上
137	株式会社ヤマナカゴーキン	高硬度材の高効率直彫り加工技術による生産性の向上
138	ユリシーズ株式会社	低価格な食品温度管理システムの試作
139	インテリジェント・サーフェス株式会社	生体親和性材料の産業応用に向けた大量合成法の確立
140	関東タイヤ株式会社	タイヤ整備機器のリニューアルにより次世代型店舗への成長と展開

